

---

上砂川町子ども・子育て支援に関するアンケート調査  
報告書

---

令和6年10月  
上砂川町



---

---

## 目 次

---

---

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査地域	1
3. 調査対象者	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	1
6. 配布件数・回収状況等	1
7. 集計上の留意点	1
II 調査結果(意識調査:就学前・小学生の保護者)	2
お子さんご家族の状況について	2
お子さんの保護者の就労状況について	7
お子さんの平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について	13
地域の子育て支援サービスの利用状況について	17
土曜日・休日の「定期的」な教育・保育サービスの利用希望について	21
病気の際の対応について(認定こども園などで、平日の教育・保育を利用する方のみ)	23
不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	25
お子さんの放課後の過ごし方について	28
育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について伺います。	30
小学生対象の事業について	37
現在の暮らしについて	40
子育て環境について	46
町の子育て環境について	49
III 調査結果(意識調査:小学4～6年生、中学生、高校生)	51
あなたのことについて教えてください。	51
ふだんの生活について	55
家庭や家族のことについて	67
ヤングケアラーについて	77
将来について	79
日常生活の中で感じていることについて	83



# I 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、町民の皆様の子育てに関する状況や上砂川町の子育て支援サービスに対するご要望・ご意見、保育ニーズ、子育て世帯の生活状況等について把握し、令和6年度に策定する子ども子育て支援事業計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2. 調査地域

上砂川町内

## 3. 調査対象者

上砂川町在住の「就学前児童」の保護者

上砂川町在住の「小学生」の保護者

上砂川町在住の「小学生(4～6年生)」

上砂川町在住の「中学生」

上砂川町在住の「高校生」

## 4. 調査方法

郵送発送、WEB 回答による無記名回答方式

## 5. 調査期間

令和6年6月～7月

## 6. 配布件数・回収状況等

調査種類	配布件数	WEB 回答数	有効回答率
就学前児童調査（保護者）	34	21	61.8%
小学生調査（保護者）	49	18	36.7%
小学生（4～6年生）調査	42	38	90.5%
中学生調査	39	26	66.7%
高校生調査	41	10	24.4%

## 7. 集計上の留意点

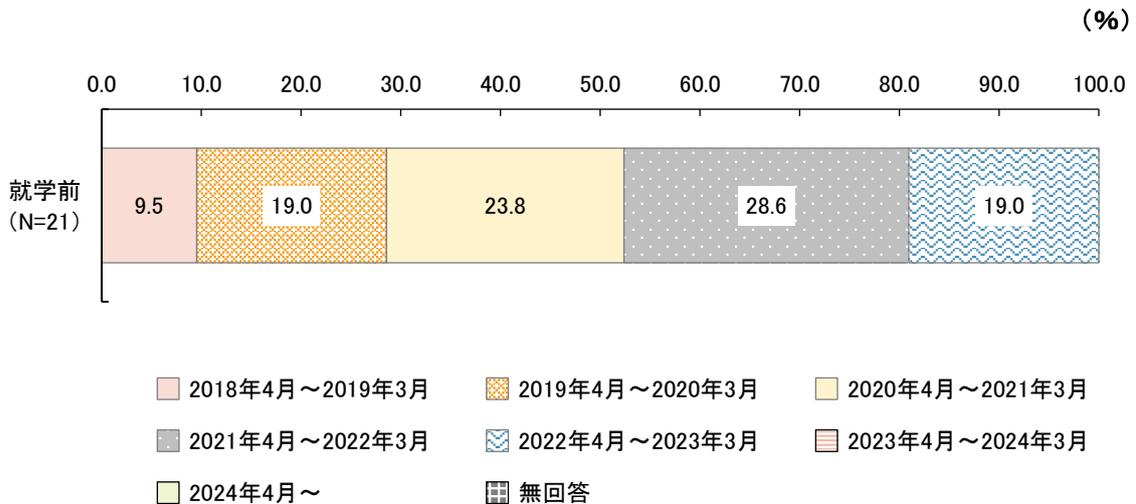
- ①グラフ中の「N=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- ②集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ③複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。

## Ⅱ 調査結果(意識調査:就学前・小学生の保護者)

### お子さんご家族の状況について

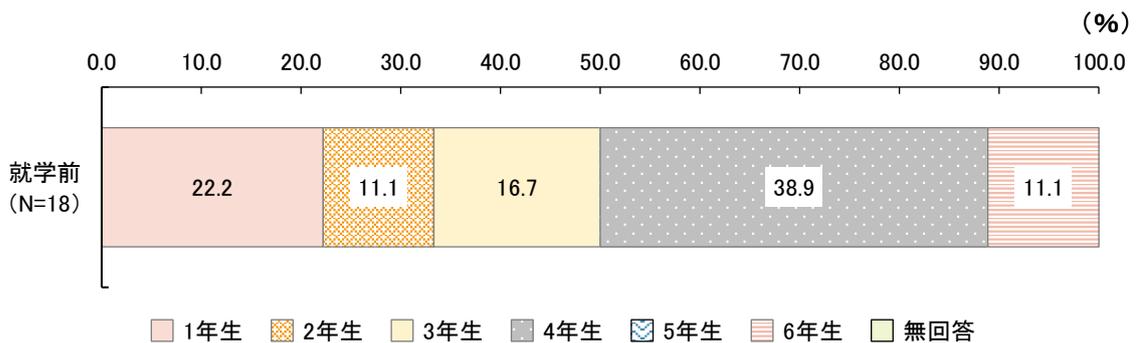
お子さんの生年(西暦)月を数字でご記入ください。(就学前:問1)

就学前の生年月についてみると、「2021年4月～2022年3月」が28.6%と最も高く、次いで「2020年4月～2021年3月」が23.8%、「2019年4月～2020年3月」「2022年4月～2023年3月」がともに19.0%となっています。



お子さんの学年をご記入ください。(小学生:問1)

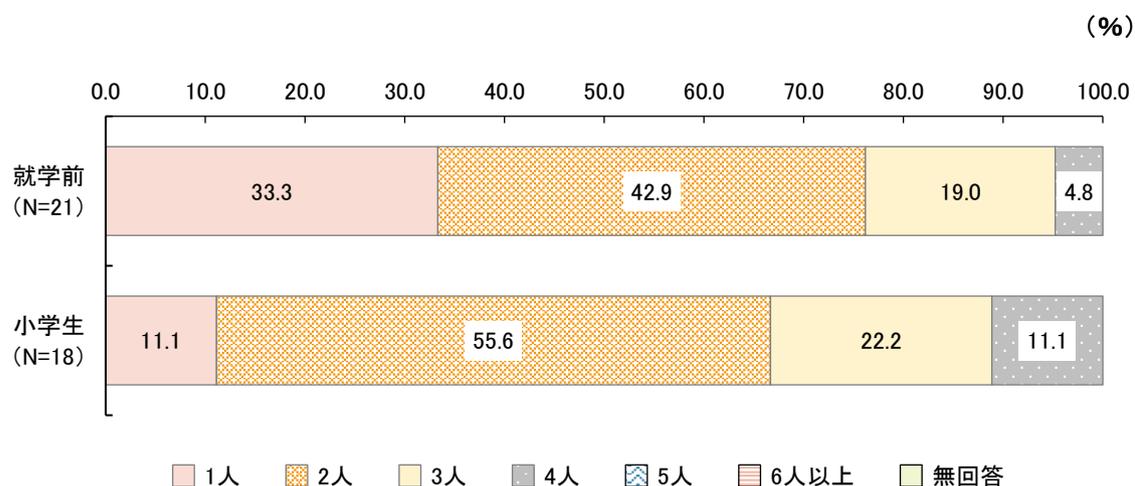
小学生の学年についてみると、「4年生」が38.9%と最も高く、次いで「1年生」が22.2%、「3年生」が16.7%となっています。



そのお子さんを含めてきょうだいは何人ですか。(就学前:問2、小学生:問2、)

子どもの人数についてみると、就学前では「2人」が42.9%と最も高く、次いで「1人」が33.3%、「3人」が19.0%となっています。

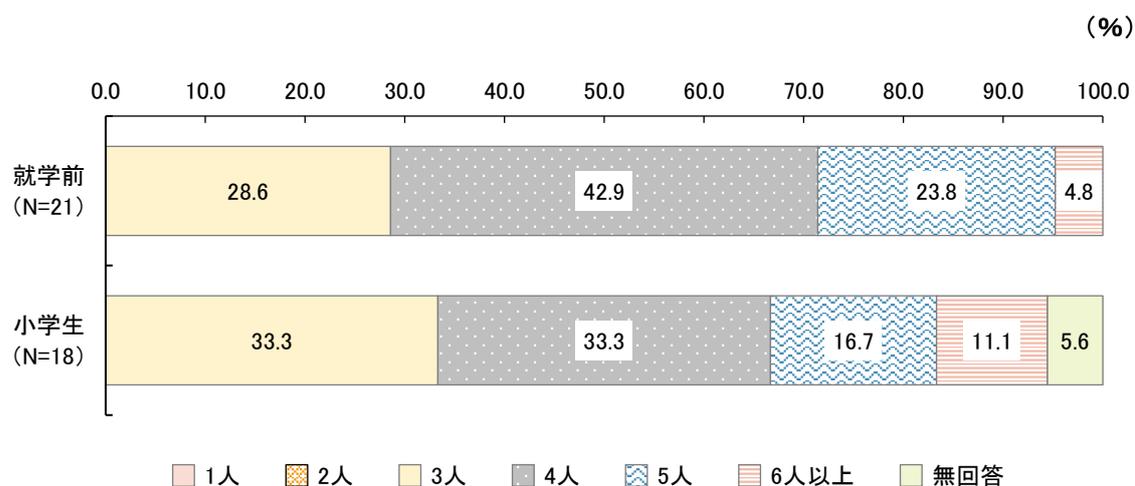
小学生では「2人」が55.6%と最も高く、次いで「3人」が22.2%、「1人」「4人」がともに11.1%となっています。



世帯員の人数は何人ですか。(就学前:問3、小学生:問3)

家族の人数についてみると、就学前では「4人」が42.9%と最も高く、次いで「3人」が28.6%、「5人」が23.8%となっています。

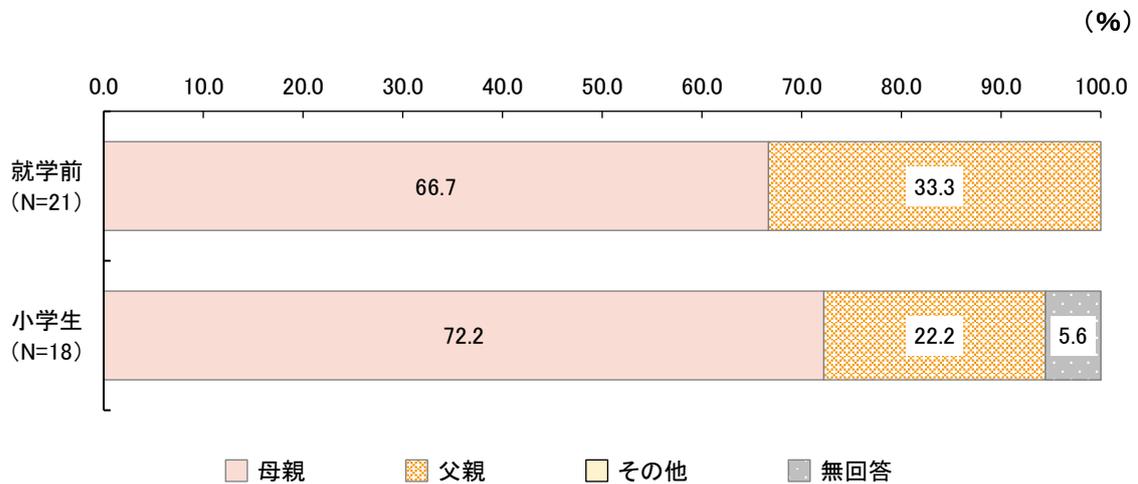
小学生では「3人」「4人」がともに33.3%と最も高く、次いで「5人」が16.7%、「6人以上」が11.1%となっています。



この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。(就学前:問4、小学生:問4)

調査票の回答者についてみると、就学前では「母親」が66.7%と最も高く、次いで「父親」が33.3%となっています。

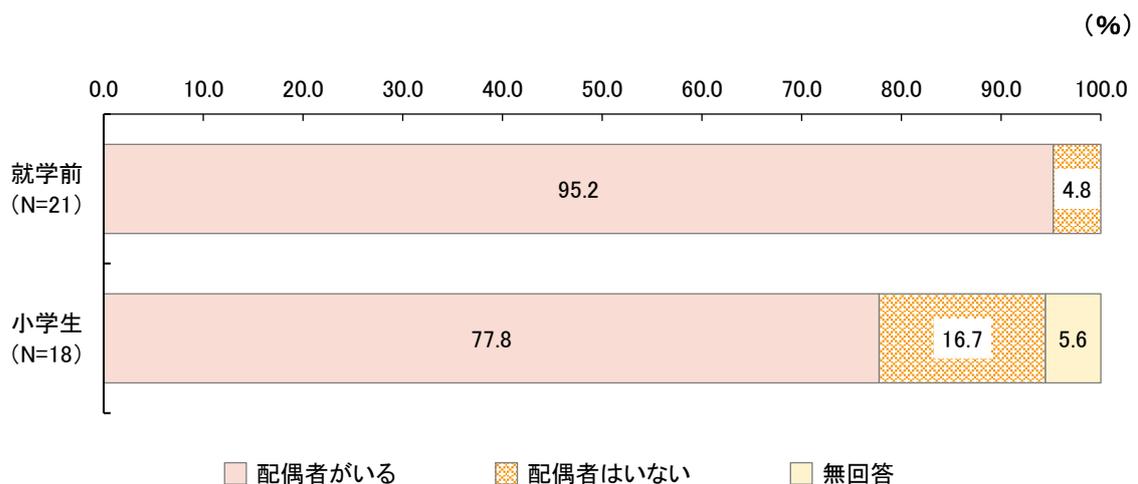
小学生では「母親」が72.2%と最も高く、次いで「父親」が22.2%となっています。



この調査票にお答えいただいている方の配偶関係についてお答えください。(就学前:問5、小学生:問5)

回答者の配偶関係についてみると、就学前では「配偶者がいる」が95.2%、「配偶者がいない」が4.8%となっています。

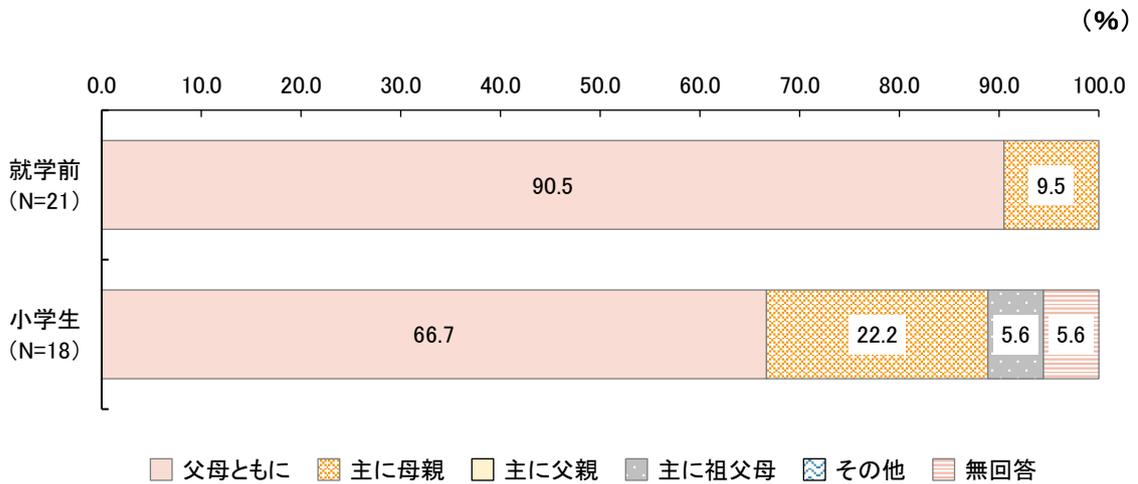
小学生では「配偶者がいる」が77.8%、「配偶者がいない」が16.7%となっています。



お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。(就学前:問6、小学生:問6)

子育てを主に行っている方についてみると、就学前では「父母ともに」が90.5%と最も高く、次いで「主に母親」が9.5%となっています。

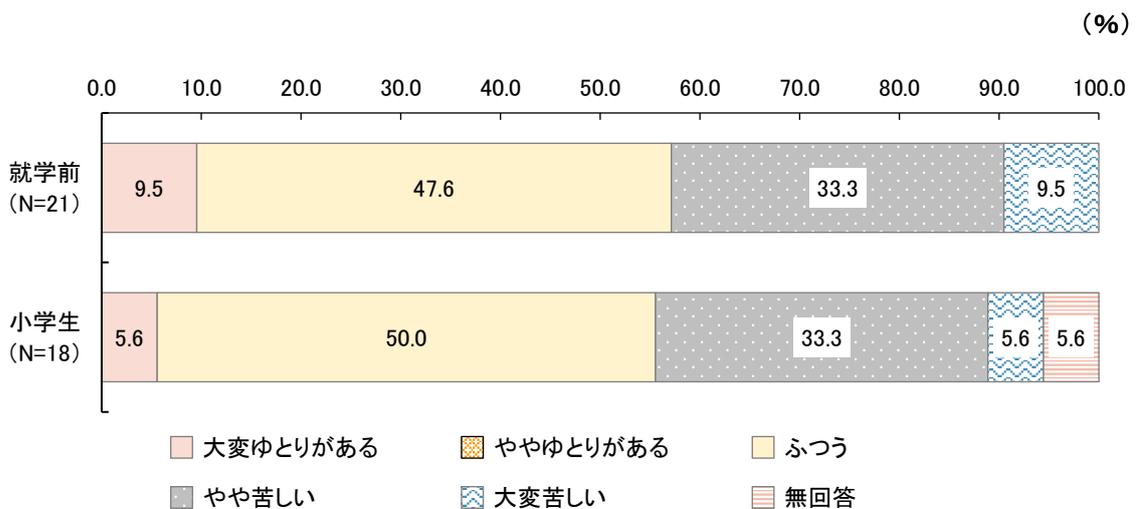
小学生では「父母ともに」が66.7%と最も高く、次いで「主に母親」が22.2%、「主に祖父母」が5.6%となっています。



現在の生活について、経済的な状況をどのように感じますか。(就学前:問7、小学生:問7)

現在の経済的な状況についてみると、就学前では「ふつう」が47.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」が33.3%、「大変ゆとりがある」「大変苦しい」がともに9.5%となっています。

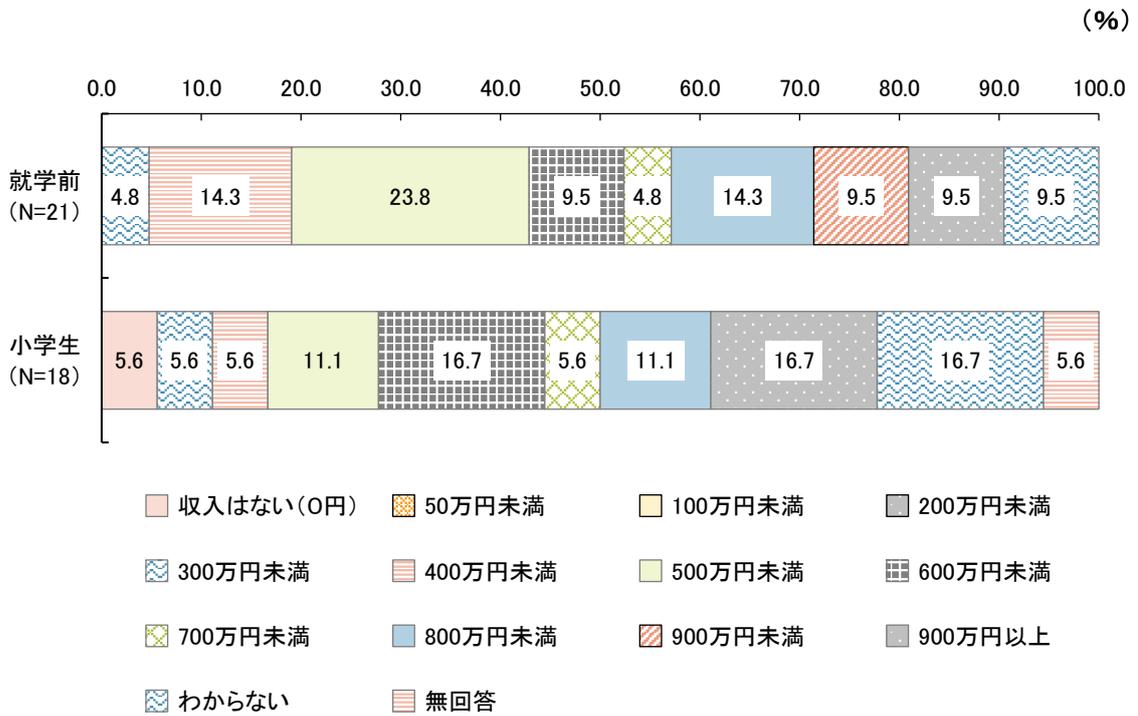
小学生では「ふつう」が50.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が33.3%、「大変ゆとりがある」「大変苦しい」がともに5.6%となっています。



世帯の年収は次のうちどれにあたりますか。(就学前:問8、小学生:問8)

世帯の年収についてみると、就学前では「500 万円未満」が 23.8%と最も高く、次いで「400 万円未満」「800 万円未満」がともに 14.3%、「600 万円未満」「900 万円未満」「900 万円以上」「わからない」がいずれも 9.5%となっています。

小学生では「600 万円未満」「900 万円以上」「わからない」がいずれも 16.7%と最も高く、次いで「500 万円未満」「800 万円未満」がともに 11.1%、「収入はない(0円)」「300 万円未満」「400 万円未満」「700 万円未満」がいずれも 5.6%となっています。

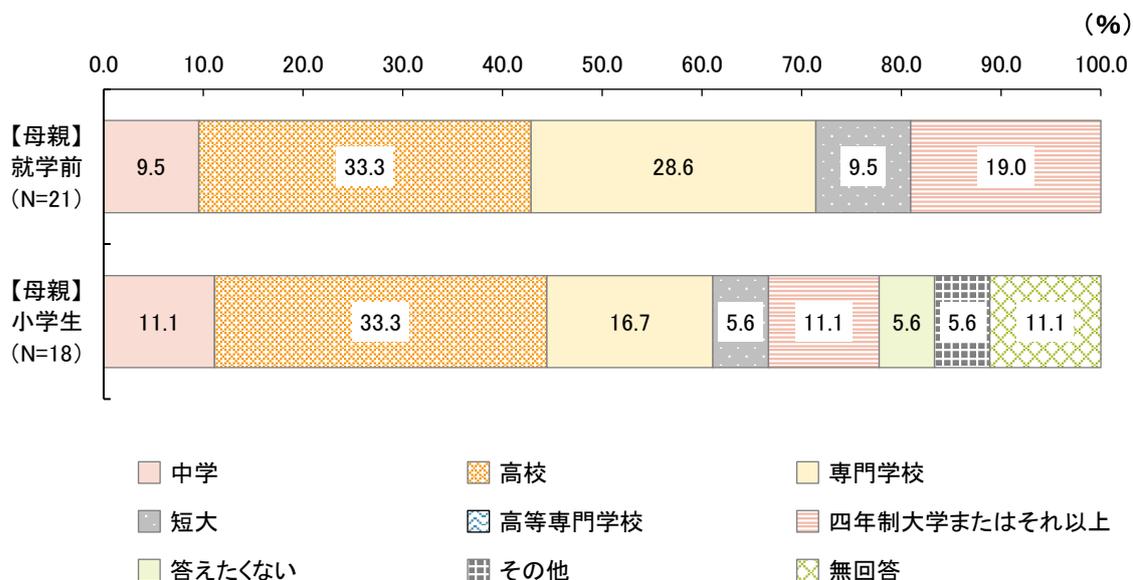


## お子さんの保護者の就労状況について

お子さんの保護者の最終学歴を教えてください。(就学前:問 10、小学生:問 10)

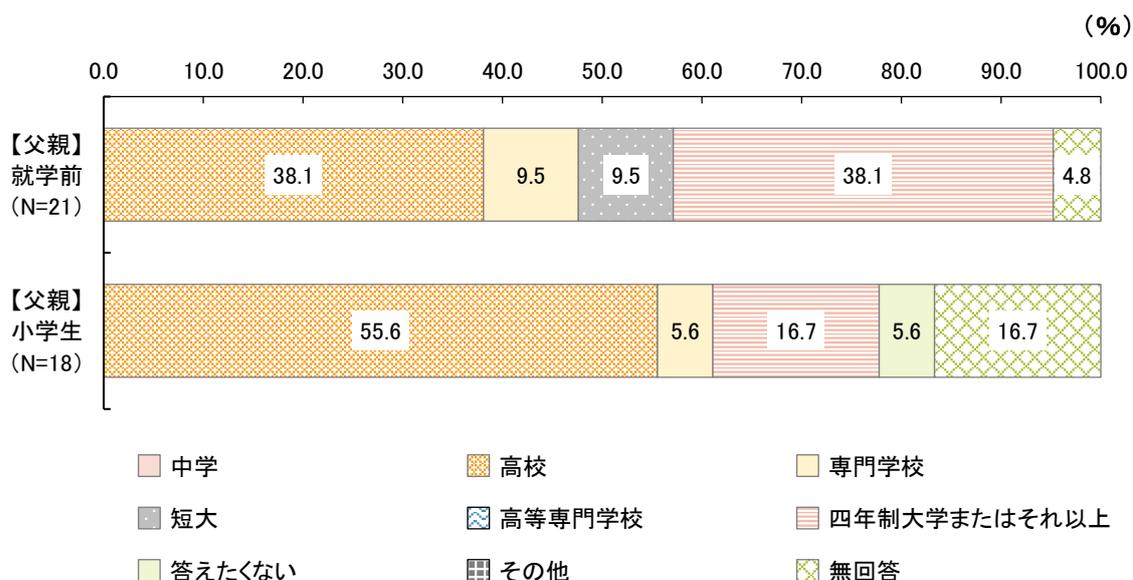
母親の最終学歴についてみると、就学前では「高校」が 33.3%と最も高く、次いで「専門学校」が 28.6%、「四年制大学またはそれ以上」が 19.0%となっています。

小学生では「高校」が 33.3%と最も高く、次いで「専門学校」が 16.7%、「中学」「四年制大学またはそれ以上」がともに 11.1%となっています。



父親の最終学歴についてみると、就学前では「高校」「四年制大学またはそれ以上」がともに 38.1%と最も高く、次いで「専門学校」「短大」がともに 9.5%となっています。

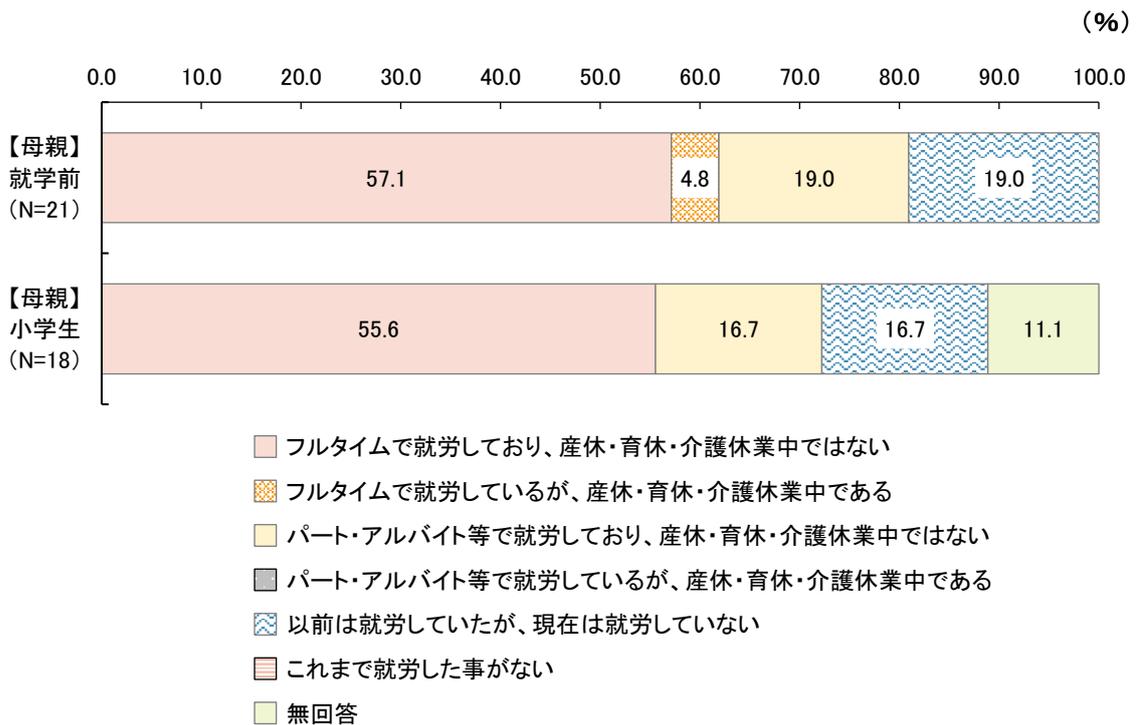
小学生では「高校」が 55.6%と最も高く、次いで「四年制大学またはそれ以上」が 16.7%、「専門学校」「答えたくない」がともに 5.6%となっています。



お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(就学前:問 11、小学生:問 11)

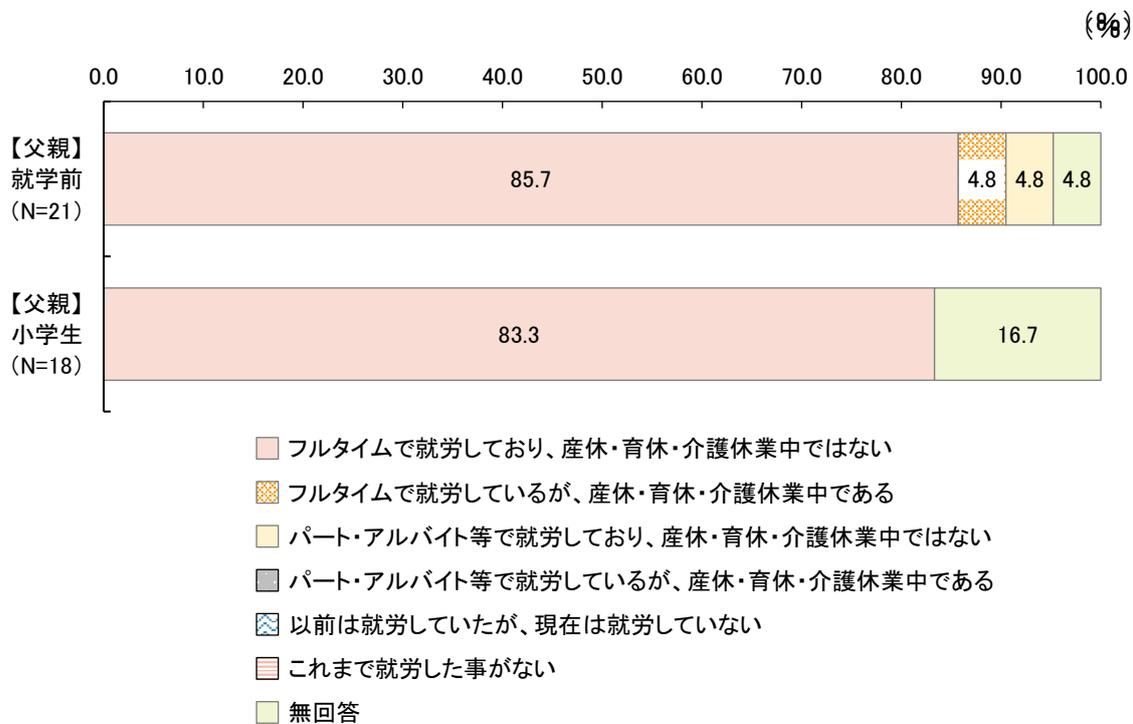
母親の就労状況についてみると、就学前では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 57.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに 19.0%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 4.8%となっています。

小学生では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 55.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに 16.7%となっています。



父の就労状況についてみると、就学前では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が85.7%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がともに4.8%となっています。

小学生では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が83.3%と最も高くなっています。



※問 11 で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方のみお答えください

フルタイムへの転職希望はありますか。(就学前:問 11-3、小学生:11-3)

母親のフルタイムへの転職希望についてみると、就学前では「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がともに 50.0%と最も高くなっています。

小学生では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 100.0%と最も高くなっています。



父親のフルタイムへの転職希望についてみると、就学前では「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている」が 100.0%と最も高くなっています。

小学生では該当者はありませんでした。

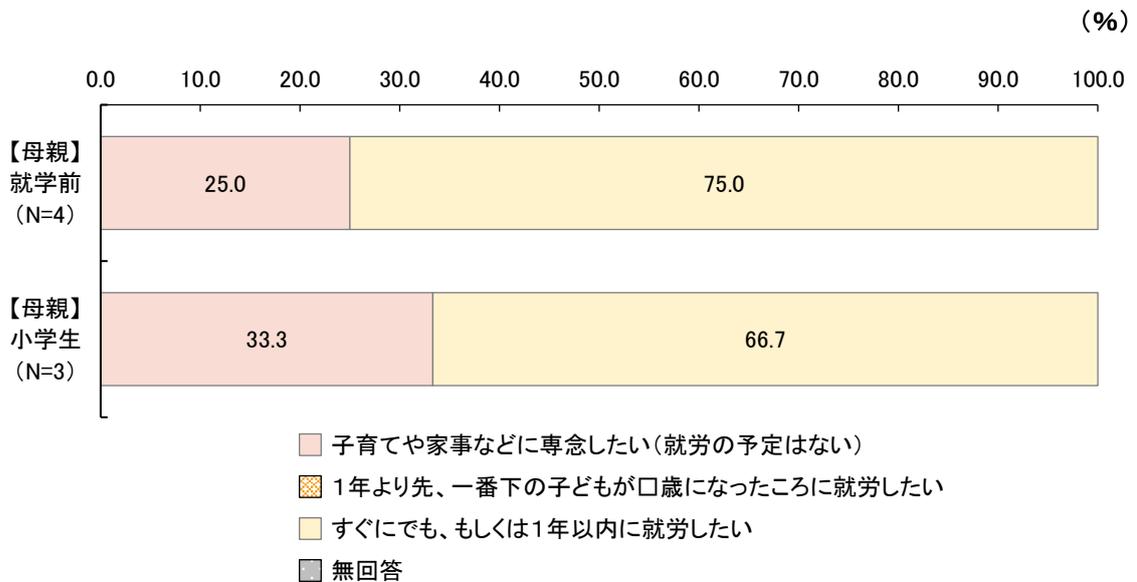


※問 11 で「5」または「6」(就労していない・就労したことがない)と回答した方のみお答えください

就労したいという希望はありますか。(就学前:問 11-4、小学生:問 11-4)

母親の今後の就労希望についてみると、就学前では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 75.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 25.0%となっています。

小学生では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 66.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 33.3%となっています。



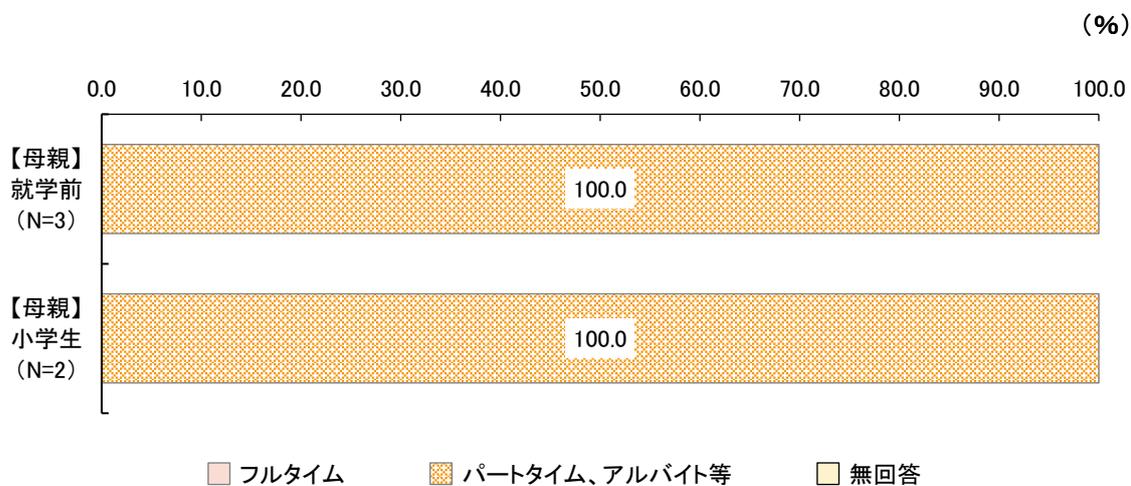
父親の今後の就労希望についてみると、就学前、小学生ともに該当者はありませんでした。

【1年より先、一番下の子どもが□歳になった頃に就労したい】の子どもの年齢について、就学前の母親、小学生の母親ともに該当者はありませんでした。

【1年より先、一番下の子どもが□歳になった頃に就労したい】の子どもの年齢について、就学前の父親、小学生の父親ともに該当者はありませんでした。

母親の希望する就労形態についてみると、就学前では「パートタイム、アルバイト等」が 100.0%となっています。

小学生では「パートタイム、アルバイト等」が 100.0%となっています。



父親の希望する就労形態についてみると、就学前、小学生ともに該当者はありませんでした。

1週当たりの希望就労日数についてみると、就学前、小学生ともに該当者はありませんでした。

1週当たりの希望就労時間についてみると、就学前、小学生ともに該当者はありませんでした。

## お子さんの平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

お子さんは平日教育・保育事業サービスを「定期的」に利用していますか。(就学前:問 12)

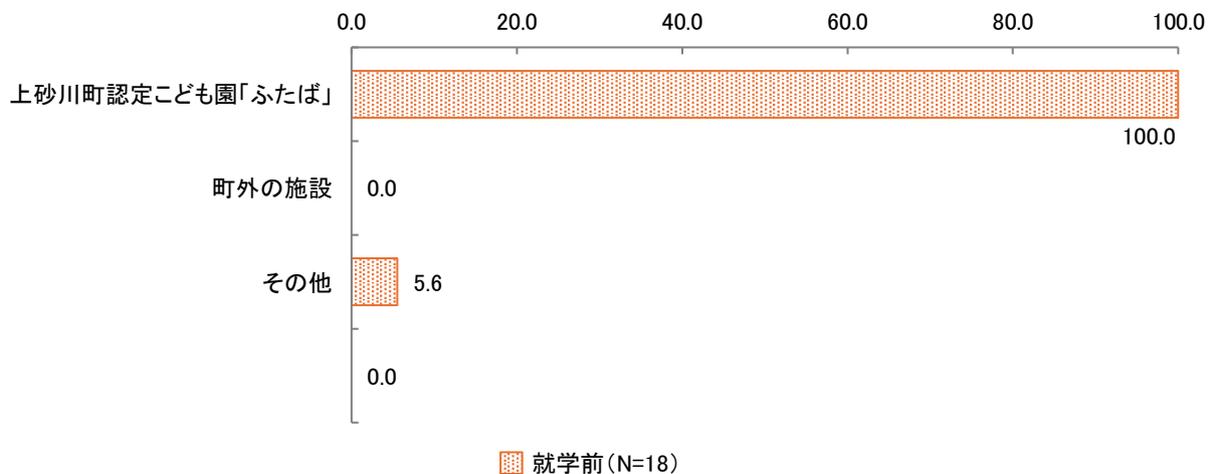
定期的な教育・保育事業サービスの利用についてみると、「利用している」が85.7%、「利用していない」が14.3%となっています。



※問 12 で「1. 利用している」と回答した方に伺います

お子さんは、平日どのような教育・保育のサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用しているサービスをお答えください。(就学前:問 12-1)

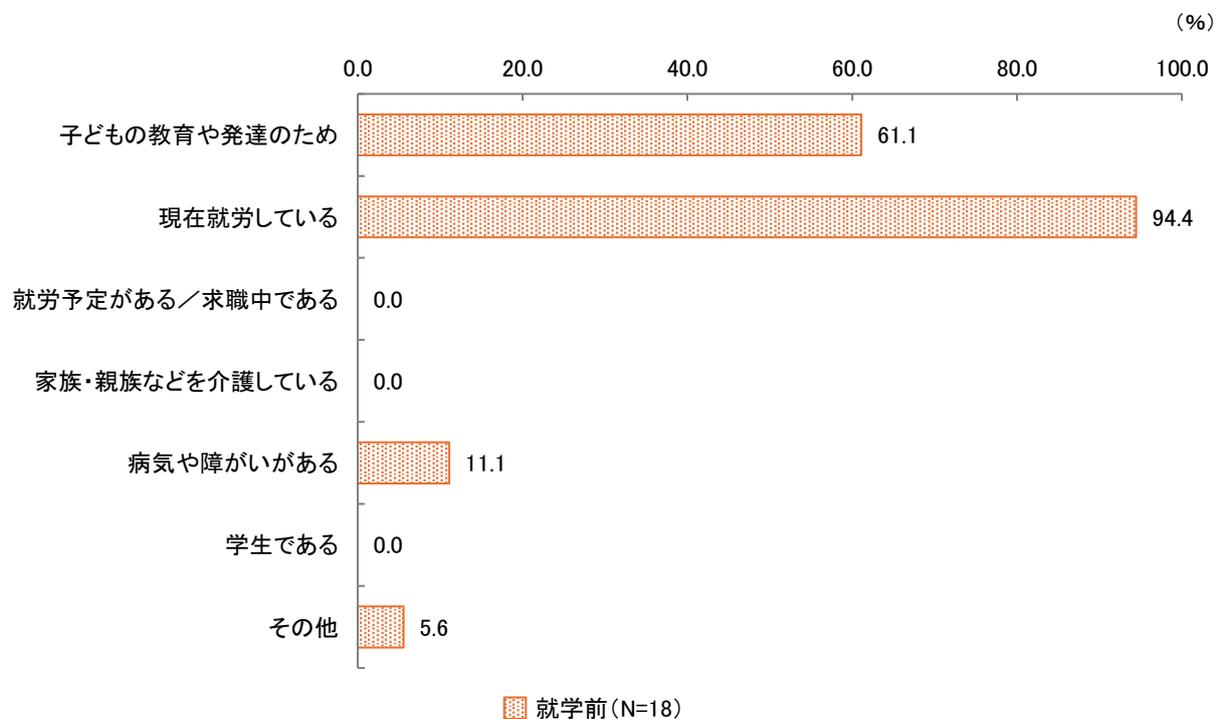
平日に利用している教育・保育事業サービスについてみると、「上砂川町認定こども園「ふたば」」が100.0%と最も高く、次いで「その他」が5.6%となっています。



※問 12 で「1. 利用している」と回答した方に伺います

平日に定期的に教育・保育のサービスを利用されている主な理由は何ですか。(就学前:問 12-3)

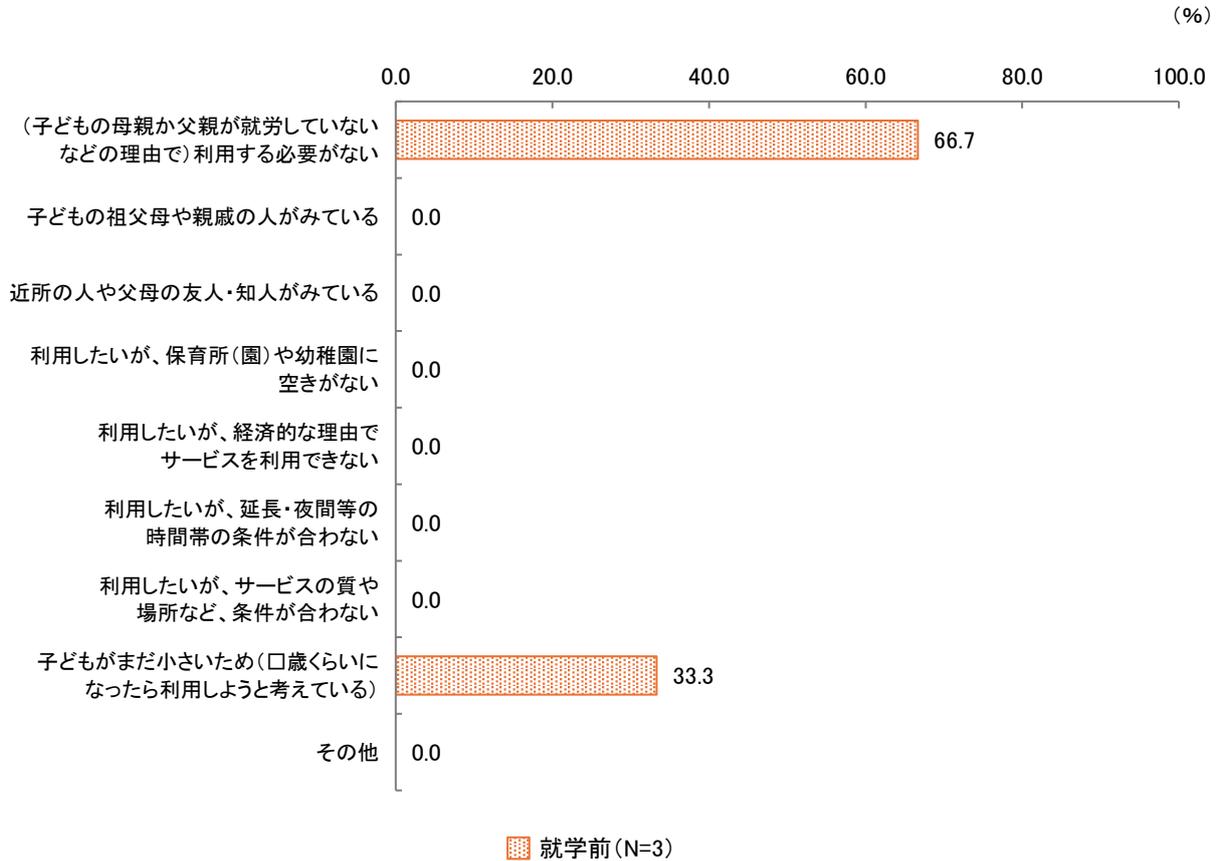
平日に定期的に教育・保育のサービスを利用している主な理由についてみると、「現在就労している」が 94.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 61.1%、「病気や障がいがある」が 11.1%となっています。



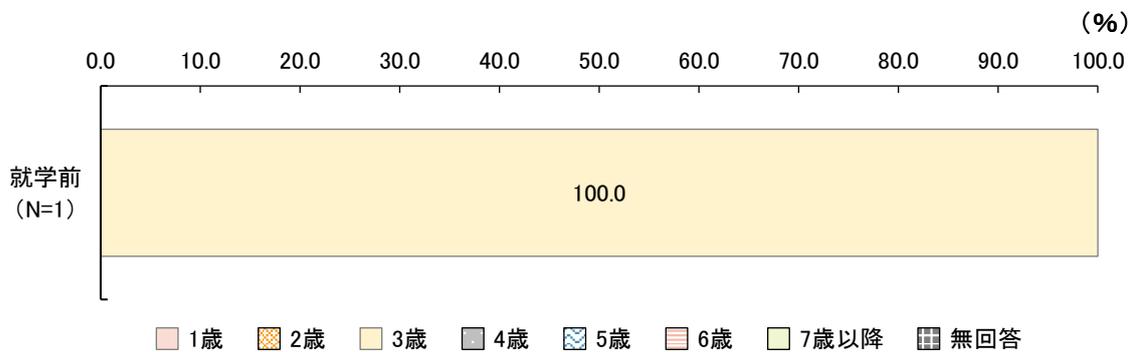
※問 12 で「2. 利用していない」と回答した方に伺います

利用していない主な理由は何ですか。(就学前:問 12-4)

教育・保育のサービスを利用していない理由についてみると、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が 66.7%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 33.3%となっています。

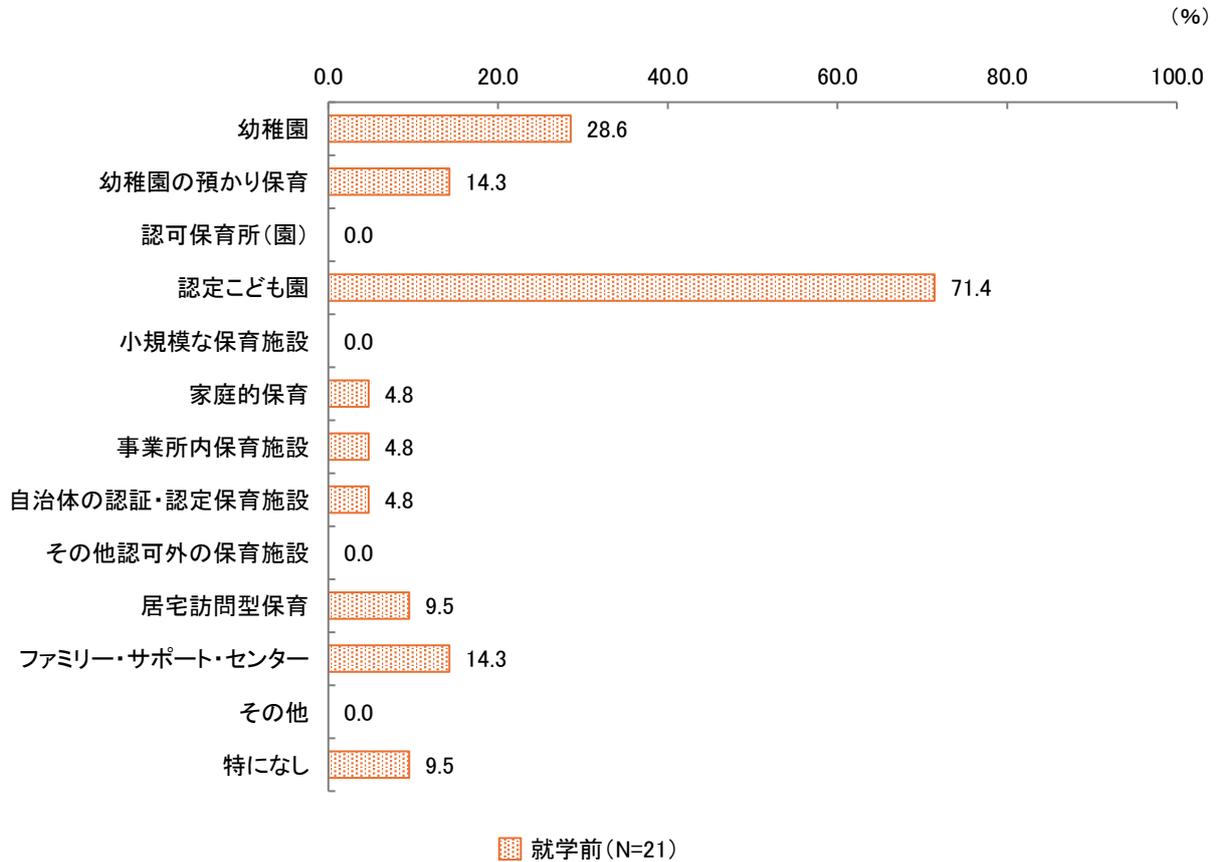


【子どもがまだ小さいため□歳になったら利用したい】の子どもの年齢について、「3歳」が 100.0%と最も高くなっています。



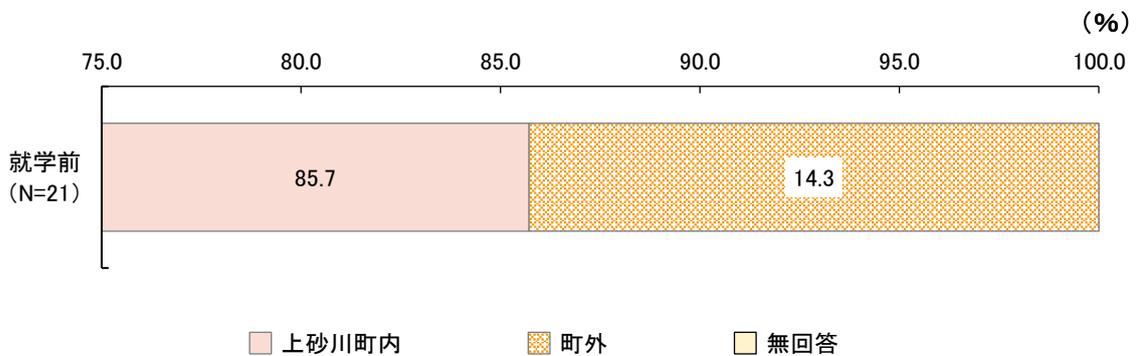
現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育のサービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。(就学前:問 13)

定期的に利用したい教育・保育のサービスについてみると、「認定こども園」が 71.4%と最も高く、次いで「幼稚園」が 28.6%、「幼稚園の預かり保育」「ファミリー・サポート・センター」がともに 14.3%となっています。



教育・保育サービスを利用したい場所についてうかがいます。(就学前:問 13-1)

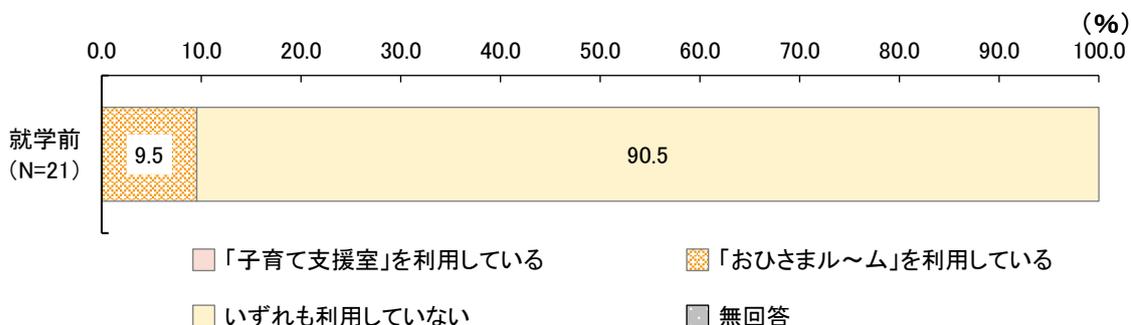
教育・保育サービスを利用したい場所についてみると、「上砂川町内」が 85.7%、「町外」が 14.3%となっています。



## 地域の子育て支援サービスの利用状況について

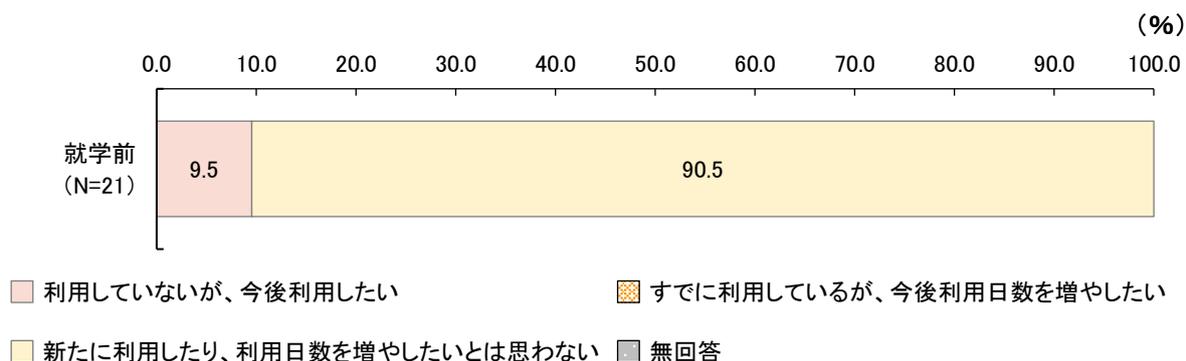
現在、「子育て支援室」、「おひさまル〜ム」を利用していますか。(就学前:問 14)

地域子育て支援拠点事業の利用の有無についてみると、「いずれも利用していない」が 90.5%と最も高く、次いで「おひさまル〜ム」を利用している」が 9.5%となっています。



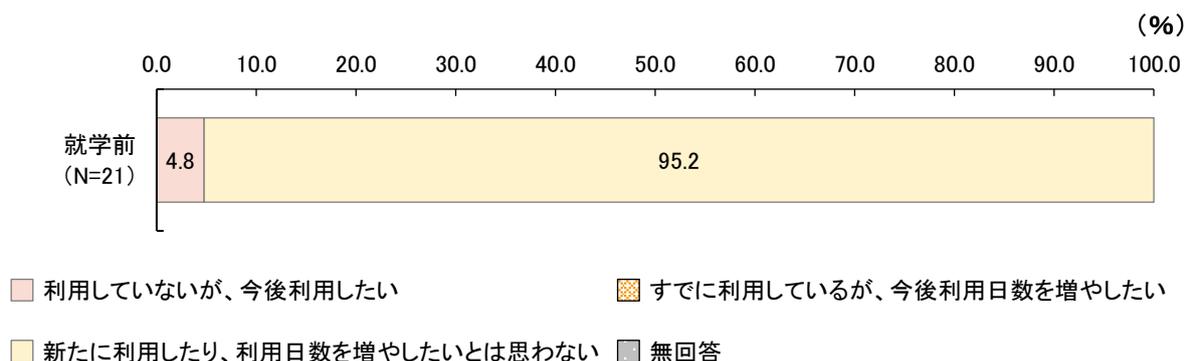
「子育て支援室」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。(就学前:問 15)

「子育て支援室」の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 90.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 9.5%となっています。



「おひさまル〜ム」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。(就学前:問 16)

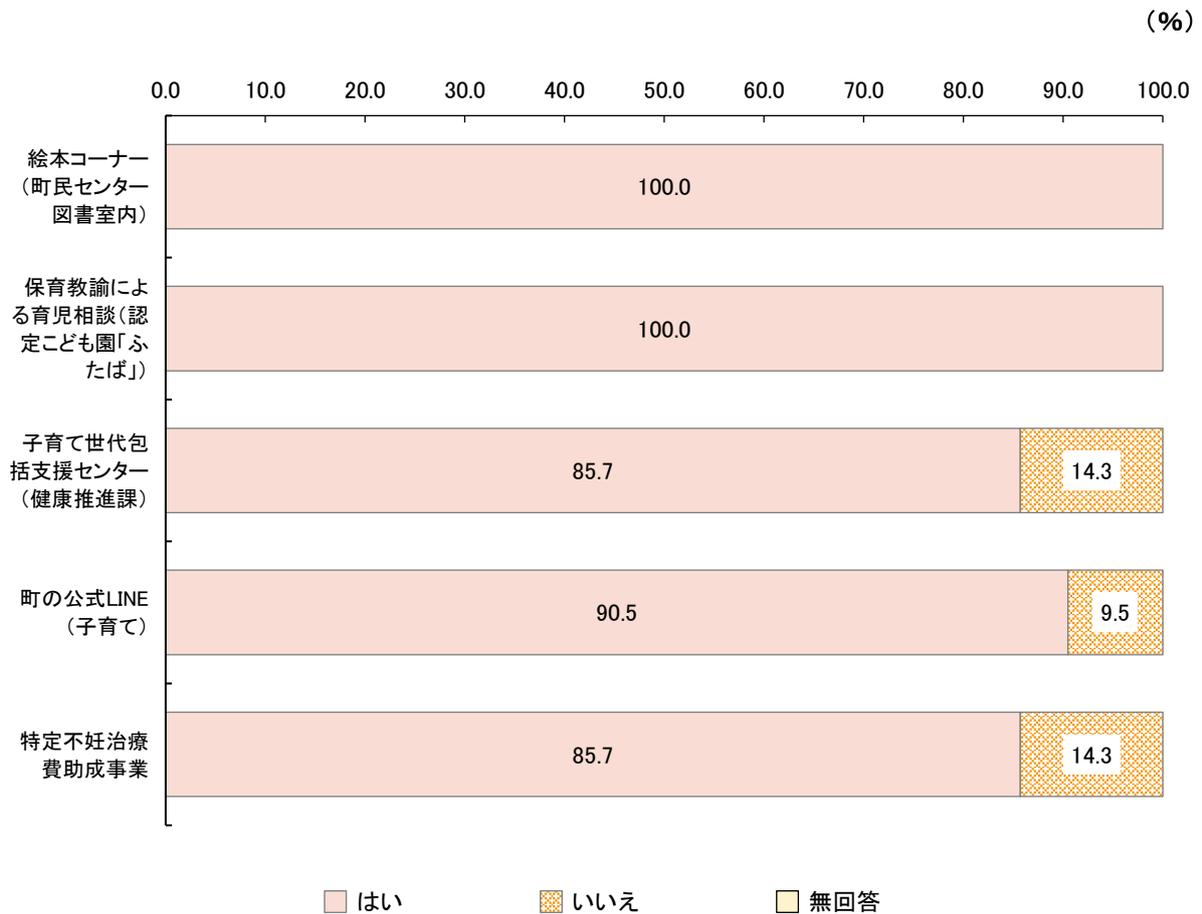
「おひさまル〜ム」の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 95.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 4.8%となっています。



下記のサービスで知っているものや、これまでに利用した事があるもの、今後、利用したいと思うものについて、サービスごとにお答えください。(就学前:問 17)

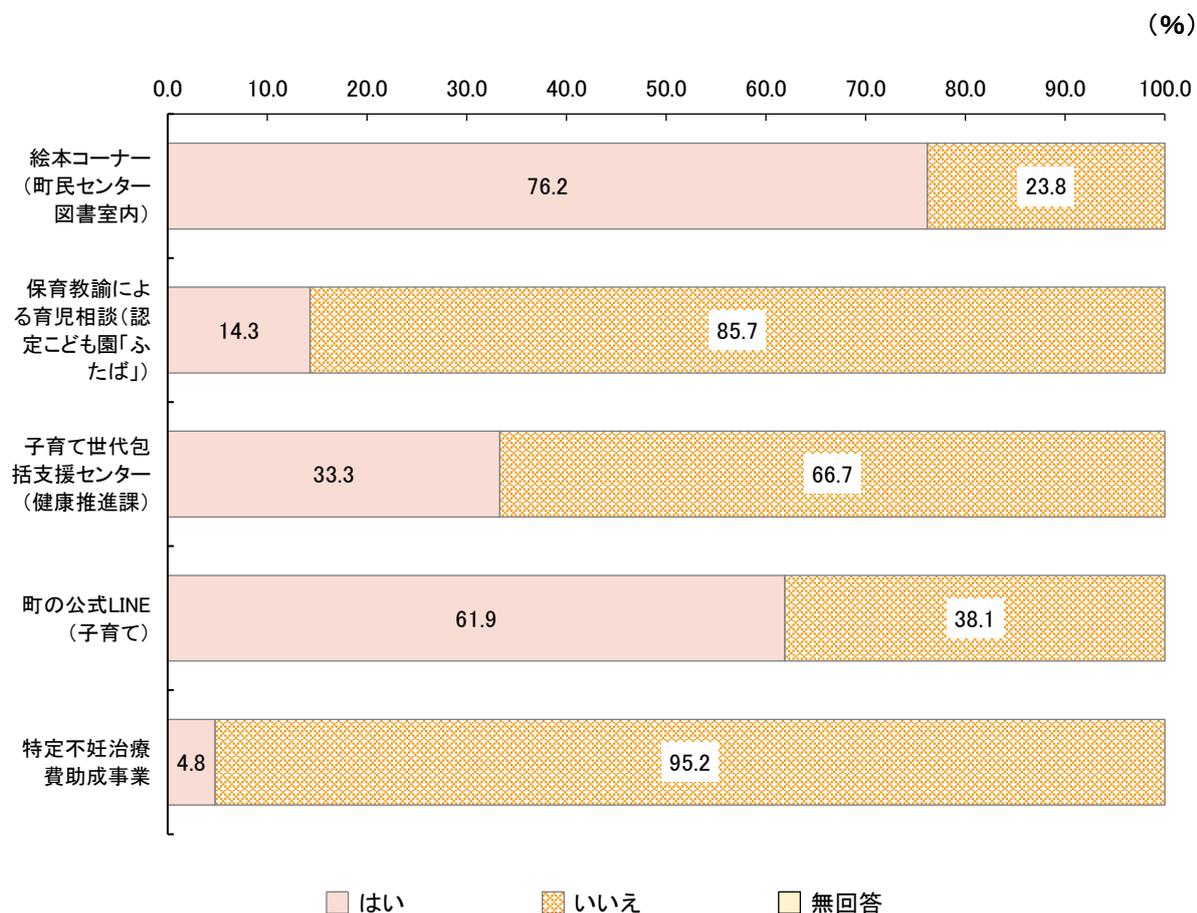
【認知度】

サービスの認知度についてみると、「はい」の割合が「絵本コーナー(町民センター図書室内)」「保育教諭による育児相談(認定こども園「ふたば」)」では 100.0%、他の項目でも8割以上を占め、全体的に認知度は高くなっています。



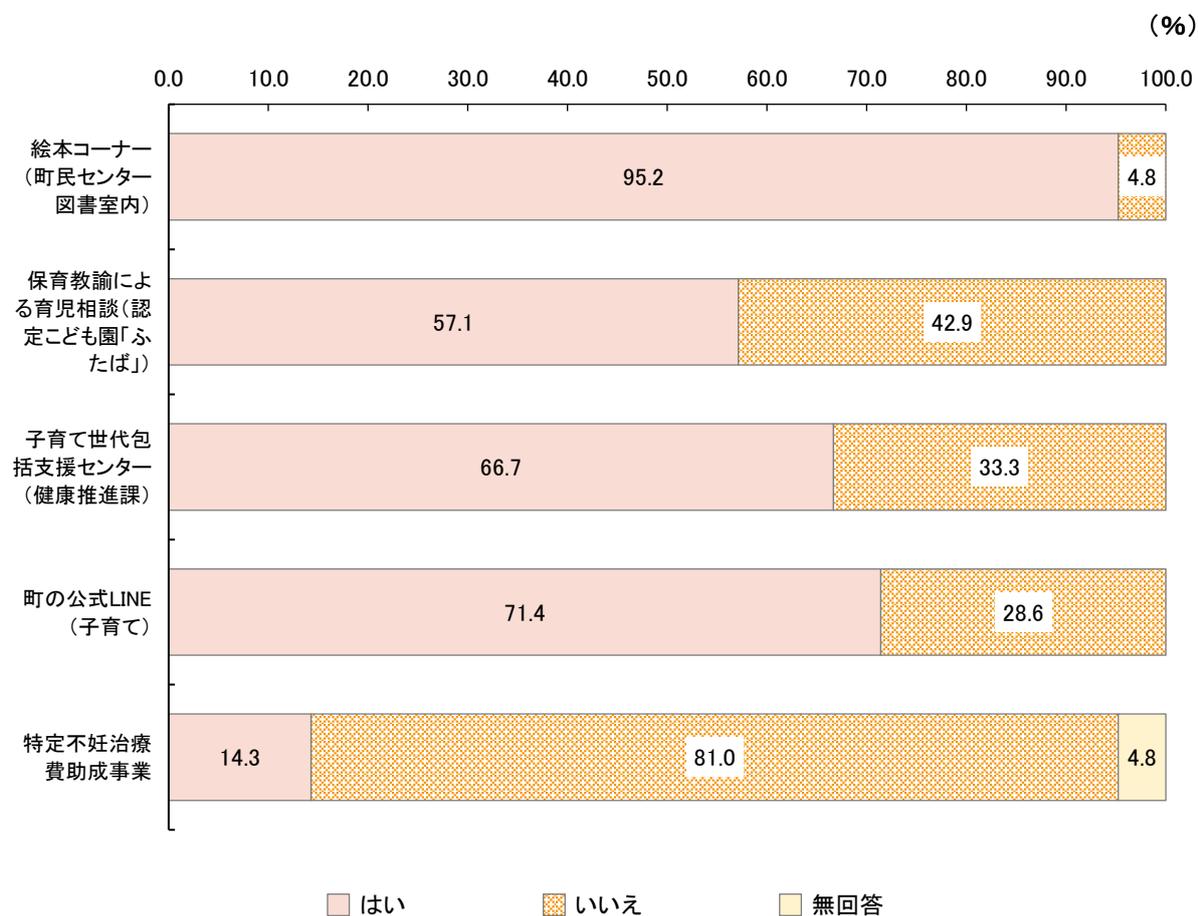
## 【利用実績】

サービスの利用実績についてみると、「絵本コーナー(町民センター図書室内)」「町の公式 LINE(子育て)」では「はい」の割合が6割台以上あるものの、他の項目では「いいえ」の割合が6割台以上となっています。



### 【利用意向】

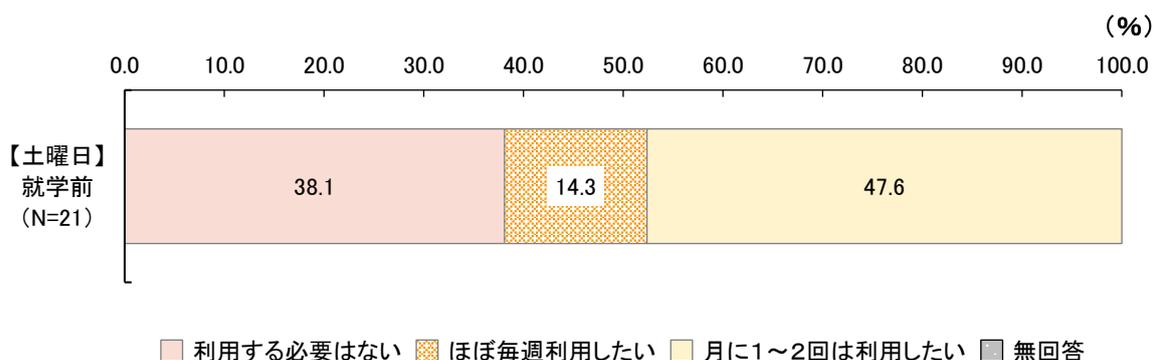
今後の利用意向についてみると、「絵本コーナー(町民センター図書室内)」「保育教諭による育児相談(認定こども園「ふたば」)」「子育て世代包括支援センター(健康推進課)」「町の公式LINE(子育て)」では「はい」の割合が5割台以上あるものの、「特定不妊治療費助成事業」では1割台と他の項目に比べて低くなっています。



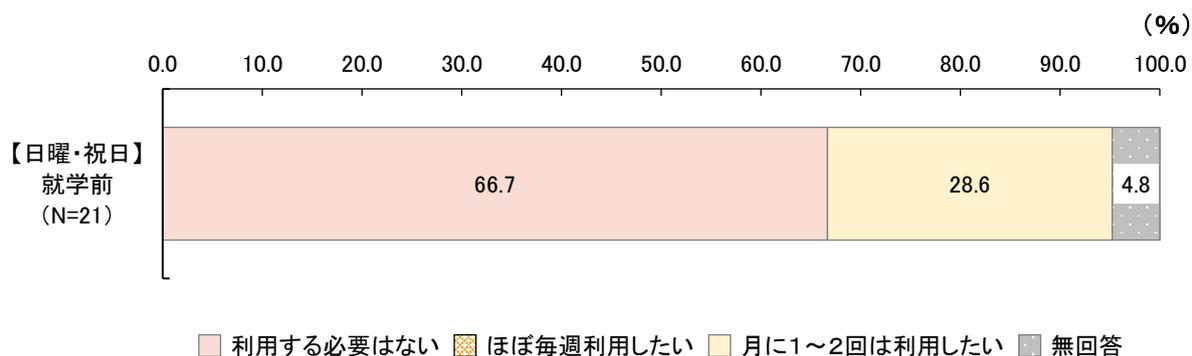
## 土曜日・休日の「定期的」な教育・保育サービスの利用希望について

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービスの利用希望(一時的な利用は除きます)はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。(就学前:問 18-1、18-2)

定期的な教育・保育サービスの利用希望についてみると、土曜日では「月に1～2回は利用したい」が 47.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 38.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 14.3%となっています。

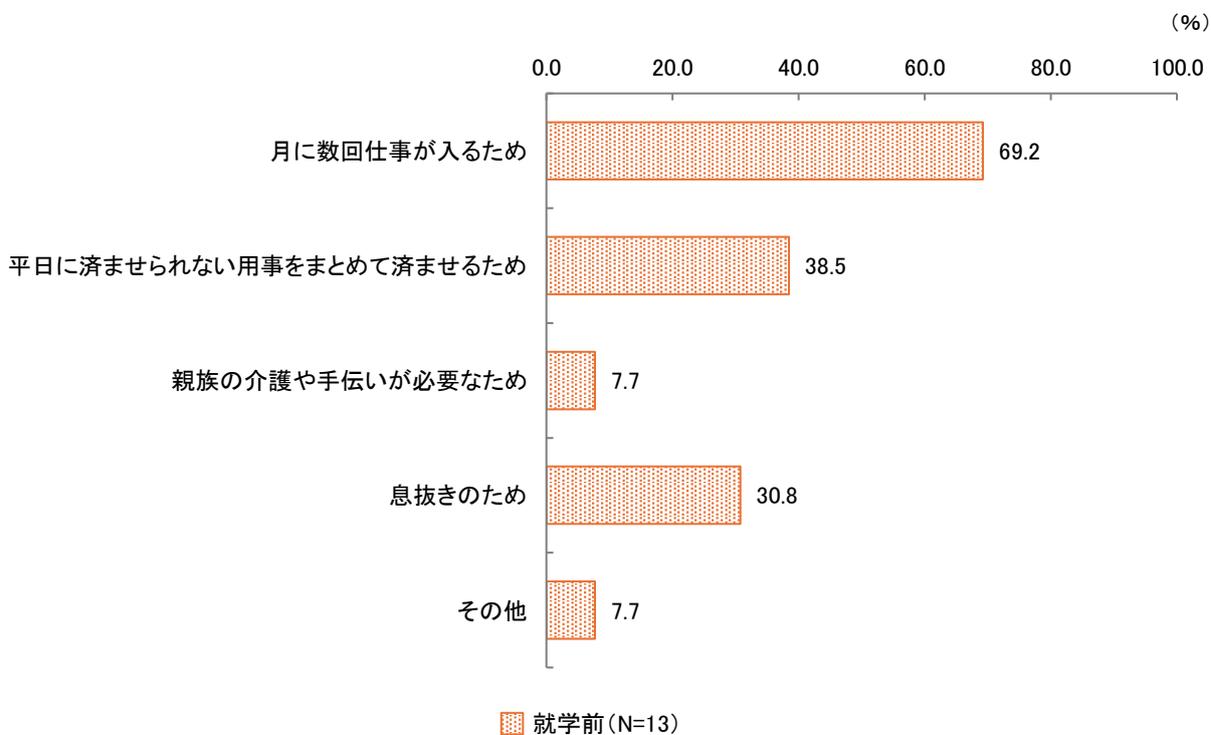


日曜日・祝日では「利用する必要はない」が 66.7%と最も高く、次いで「月に1～2回利用したい」が 28.6%となっています。



毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(就学前:問 18-3)

定期的な教育・保育サービスをたまに利用したい理由についてみると、土曜日では「月に数回仕事が入るため」が 69.2%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 38.5%、「息抜きのため」が 30.8%となっています。



病気の際の対応について(認定こども園などで、平日の教育・保育を利用する方のみ)

※問8で「1」と回答した方に伺います

この1年間に、お子さんが病気やケガで認定こども園などを利用できなかったことはありますか。(就学前:問 19)

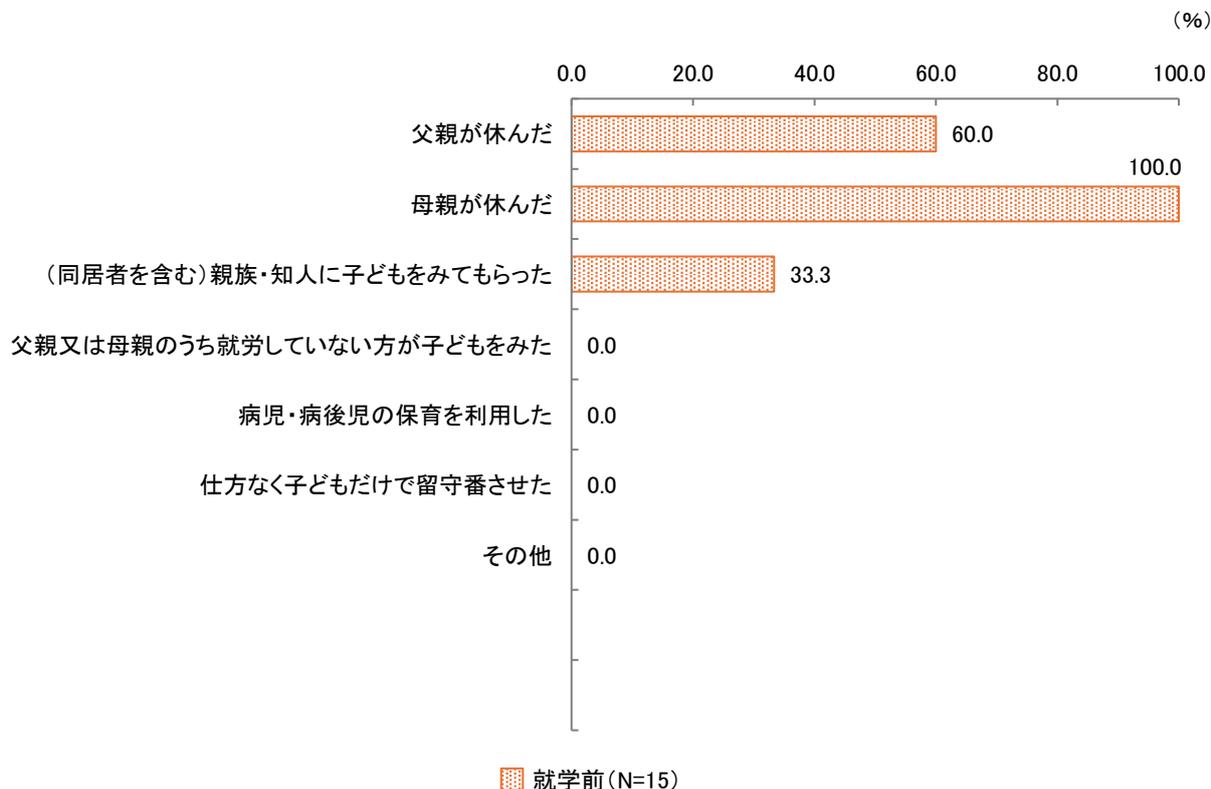
病気やケガで認定こども園などを利用できなかったことの有無についてみると、「あった」が 71.4%、「なかった」が 14.3%となっています。



※問 19 で「1. あった」と回答した方に伺います

お子さんが病気やケガで普段利用している認定こども園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法と、その日数をご記入ください。(就学前:問 19-1)

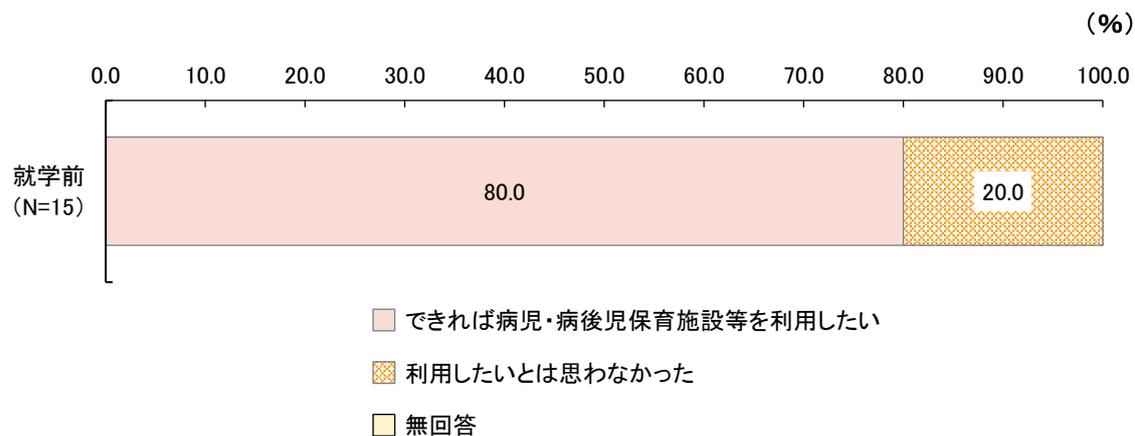
教育・保育の事業を利用できなかった時の対処方法についてみると、「母親が休んだ」が 100.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が 60.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が 33.3%となっています。



※問 19-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方に伺います

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。(就学前：問 19-2)

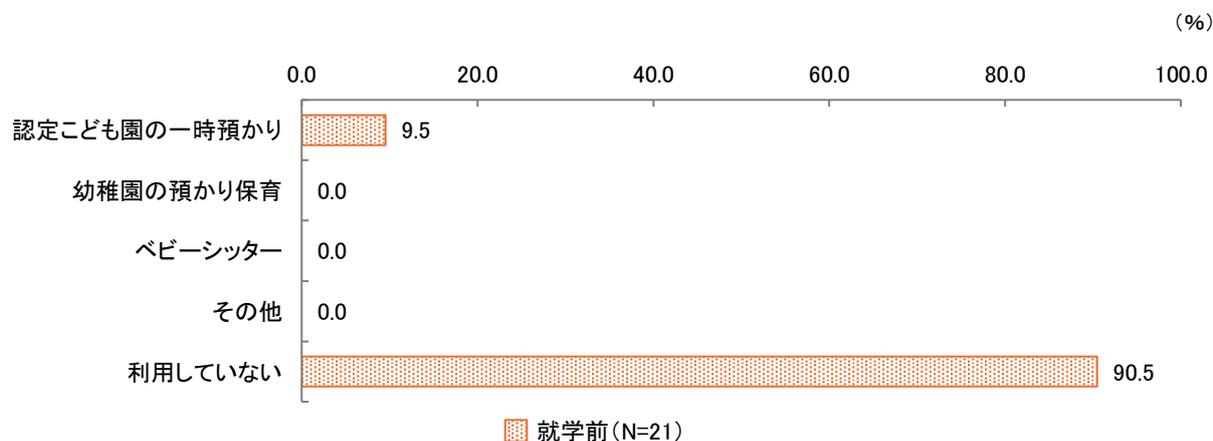
病児・病後児施設等の利用希望についてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 80.0%、「利用したいとは思わなかった」が 20.0%となっています。



## 不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。(就学前:問 20)

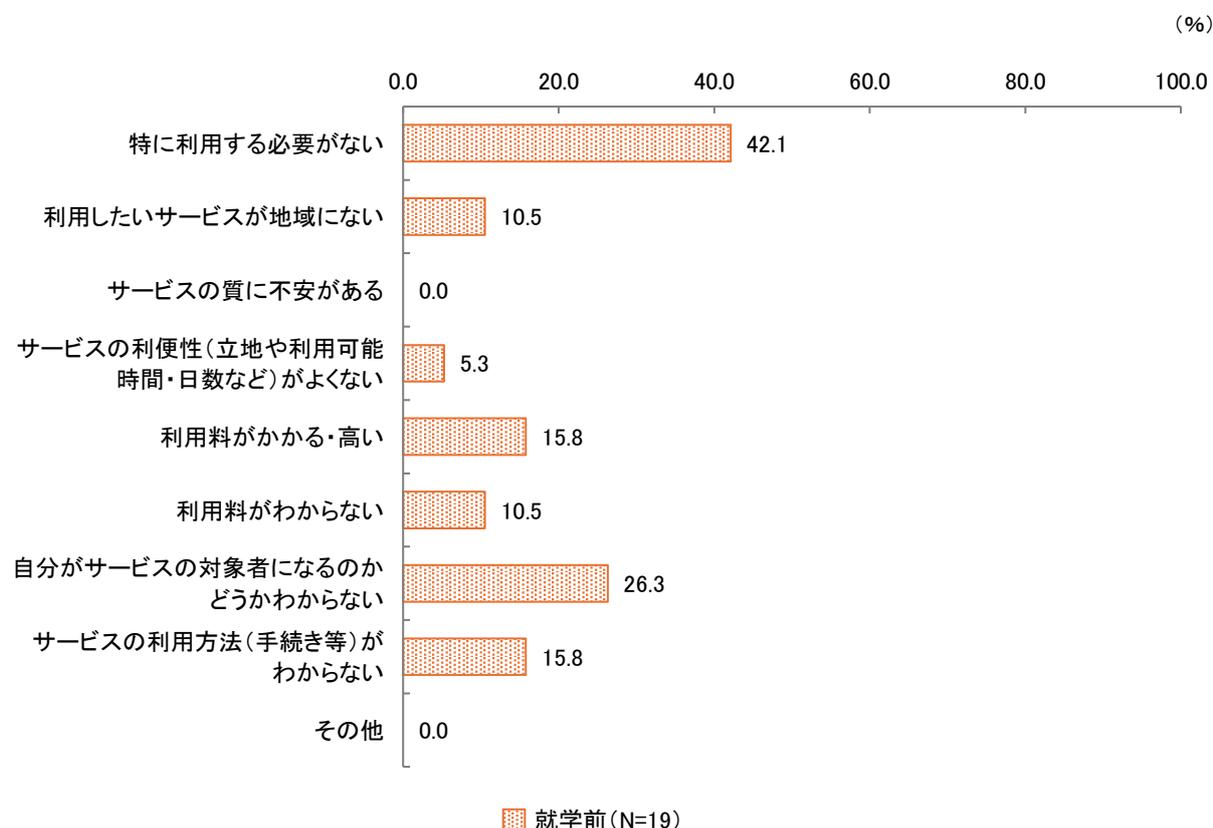
不定期に利用している事業の利用状況についてみると、「利用していない」が 90.5%と最も高く、次いで「認定こども園の一時預かり」が 9.5%となっています。



※問 20 で「5」と回答した方に伺います

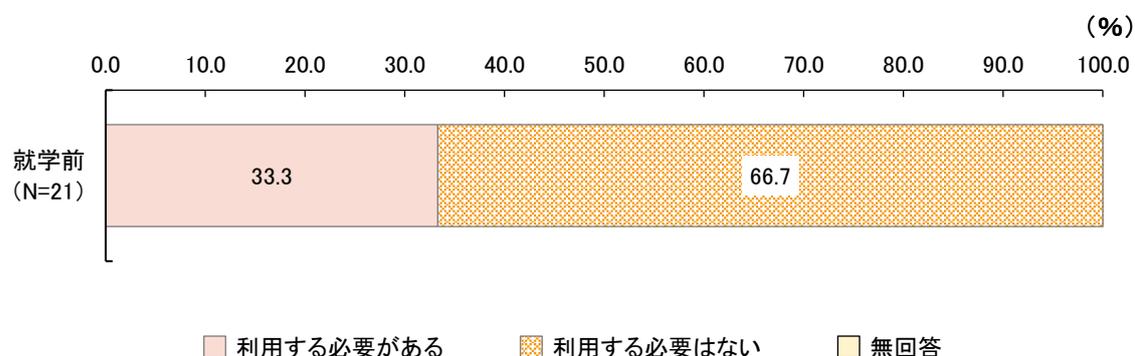
利用していない理由は何ですか。(就学前:問 20-1)

現在、不定期に事業を利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 42.1%と最も高く、次いで「自分がサービスの対象者になるのかわからない」が 26.3%、「利用料がかかる・高い」「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」がともに 15.8%となっています。

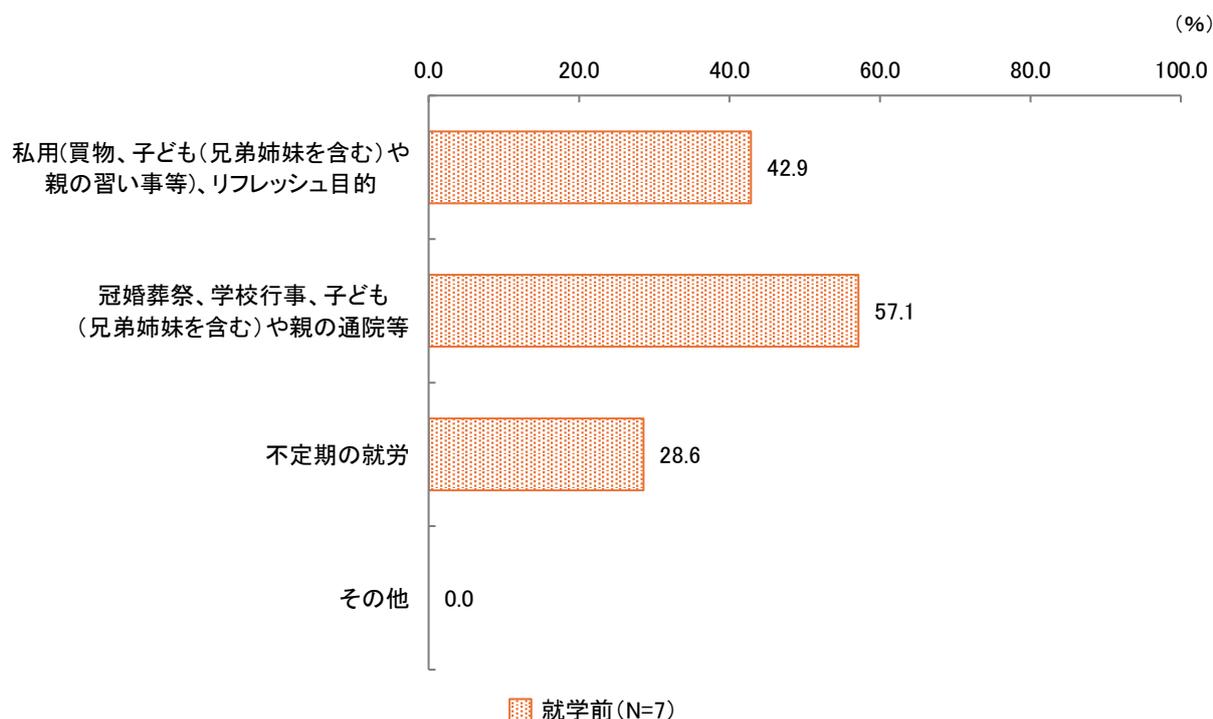


お子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。(就学前:問 21)

私用、家族の通院、不定期の就労等の目的での事業利用の必要性についてみると、「利用する必要がある」が33.3%、「利用する必要はない」が66.7%となっています。



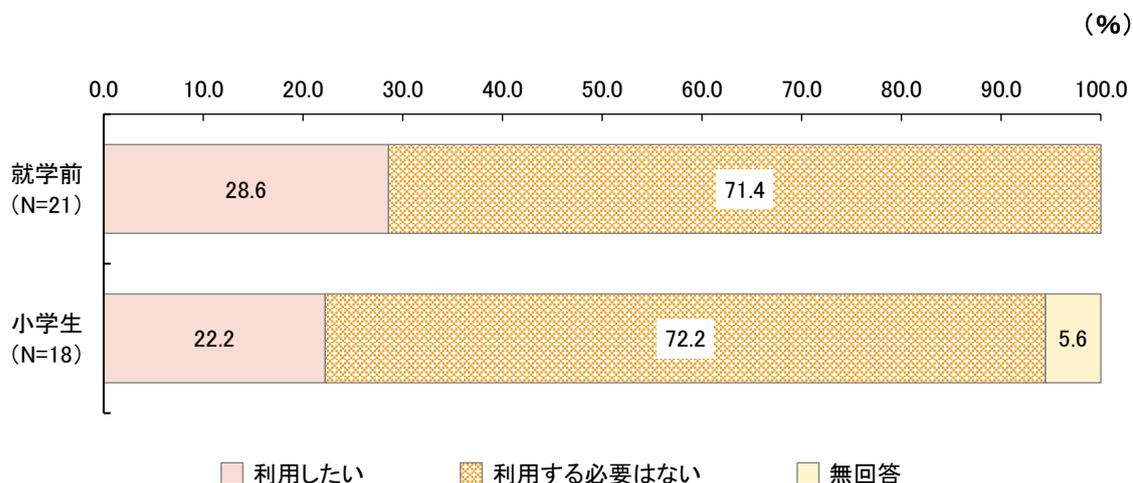
事業を利用したい理由についてみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が57.1%と最も高く、次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が42.9%、「不定期の就労」が28.6%となっています。



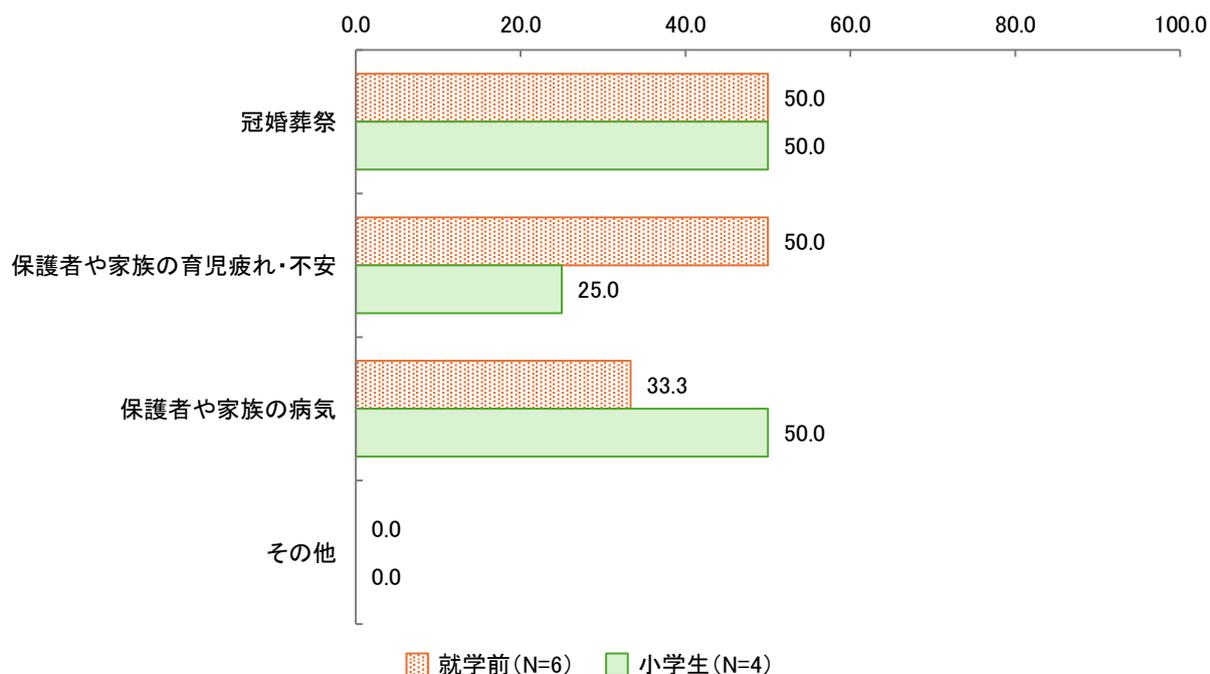
お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊まりがけで家族以外に預けることを想定してお答えください。(就学前:問 22、小学生:問 14)

保護者の用事の際の短期入所生活援助事業の利用希望についてみると、就学前では「利用したい」が28.6%、「利用する必要はない」が71.4%となっています。

小学生では「利用したい」が22.2%、「利用する必要はない」が72.2%となっています。



利用したい理由についてみると、就学前では「冠婚葬祭」「保護者や家族の育児疲れ・不安」がともに50.0%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が33.3%となっています。

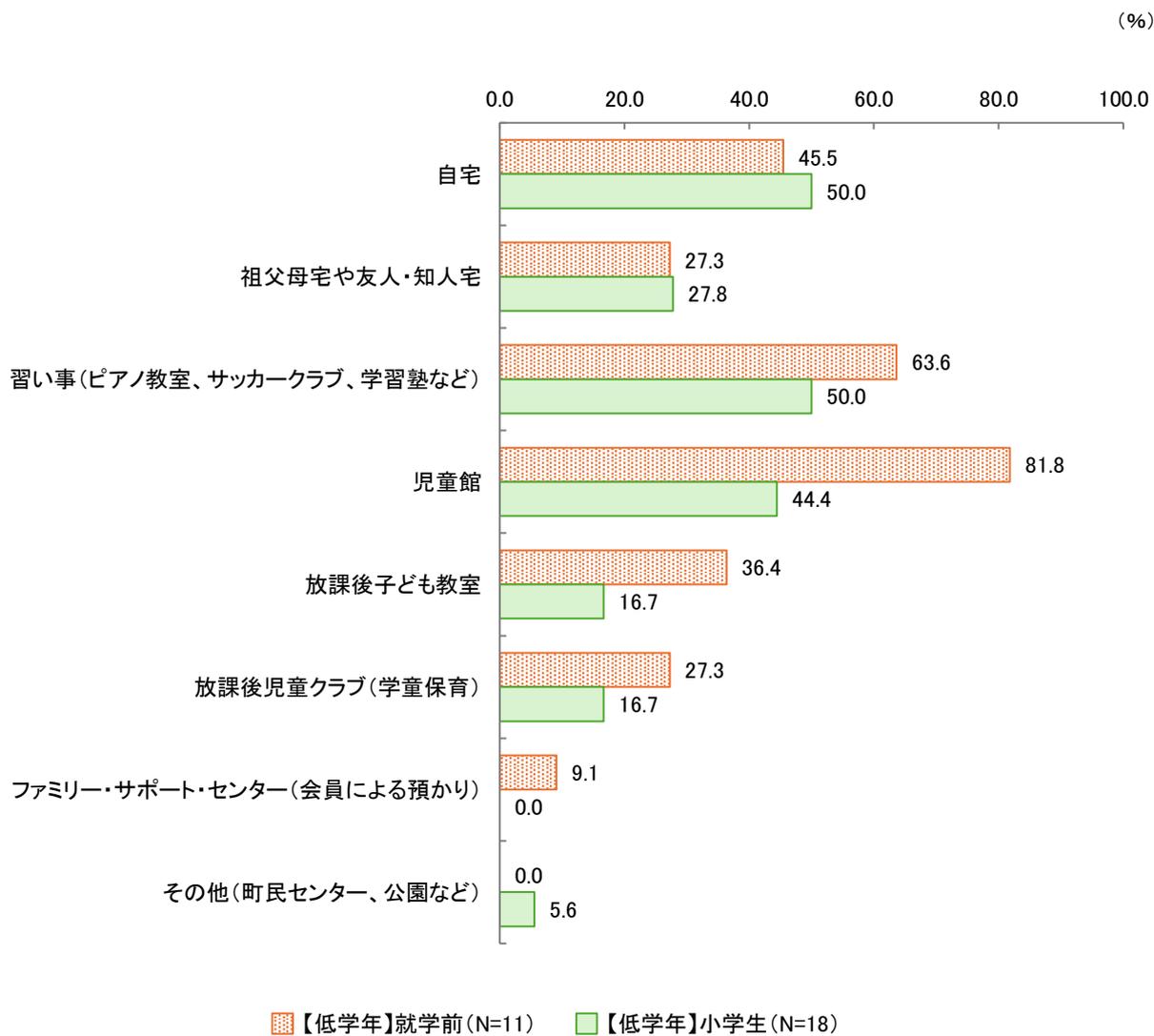


## お子さんの放課後の過ごし方について

お子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(就学前:問 23)

小学校低学年(1～3年生)のうち子どもを放課後に過ごさせたい場所についてみると、就学前では「児童館」が 81.8%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 63.6%、「自宅」が 45.5%となっています。

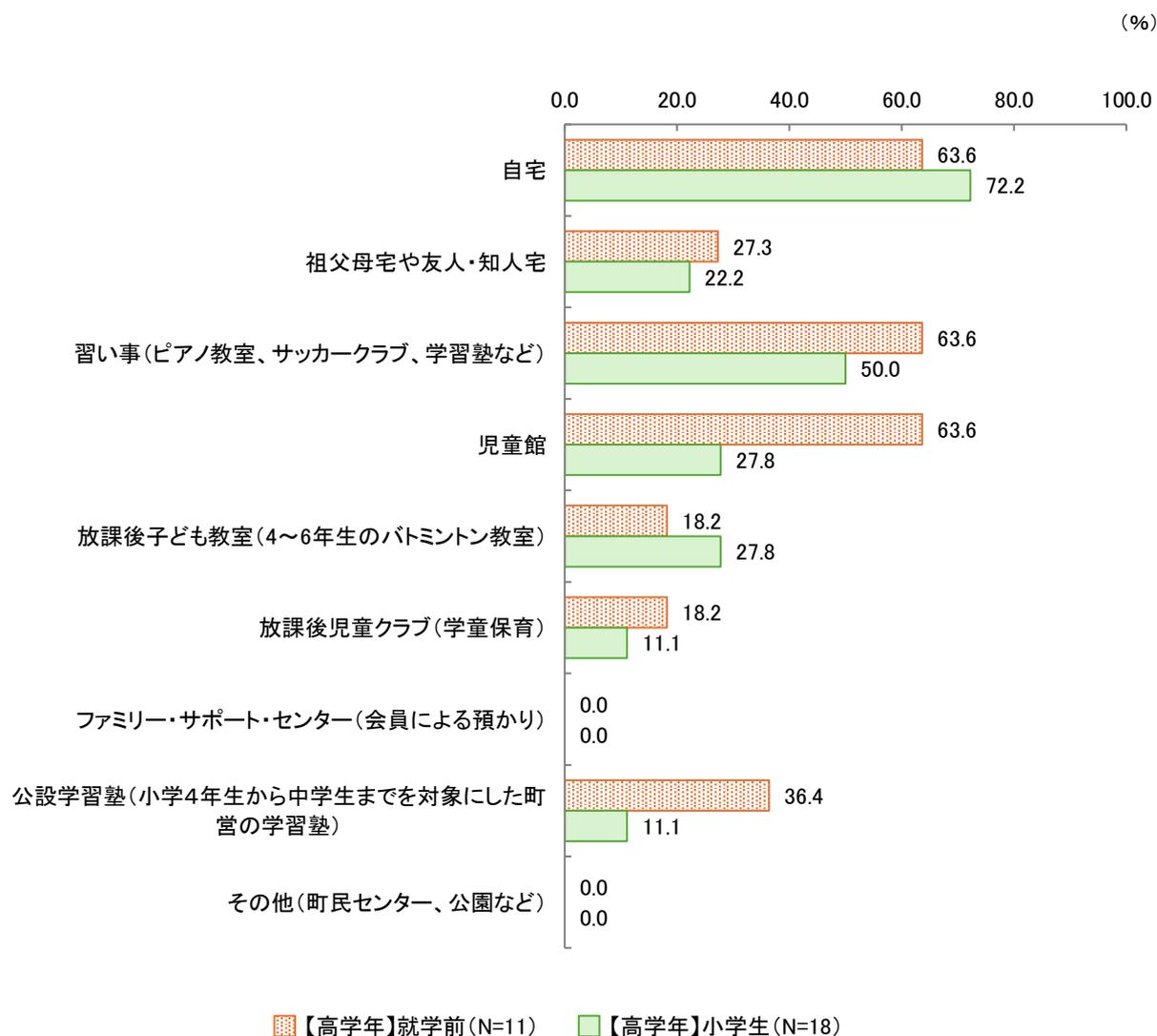
小学生では「自宅」「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」がともに 50.0%と最も高く、次いで「児童館」が 44.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 27.8%となっています。



お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。将来の話になりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。(就学前:問 24)

小学校高学年(4～6年生)になったら子どもを放課後に過ごさせたい場所についてみると、就学前では「自宅」「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」「児童館」がいずれも 63.6%と最も高く、次いで「公設学習塾(小学4年生から中学生までを対象にした町営の学習塾)」が 36.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 27.3%となっています。

小学生では「自宅」が 72.2%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 50.0%、「児童館」「放課後子ども教室(4～6年生のバトミントン教室)」がともに 27.8%となっています。

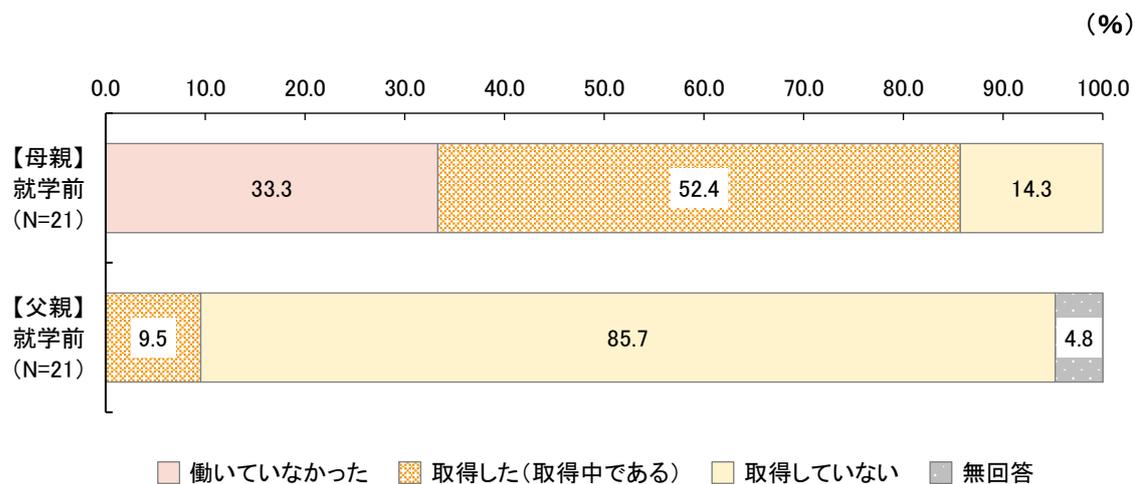


育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について伺います。

お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(就学前：問 25)

就学前の育児休業の取得状況についてみると、母親では「取得した(取得中である)」が 52.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」が 33.3%「取得していない」が 14.3%となっています。

父親では「取得していない」が 85.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が 9.5%となっています。

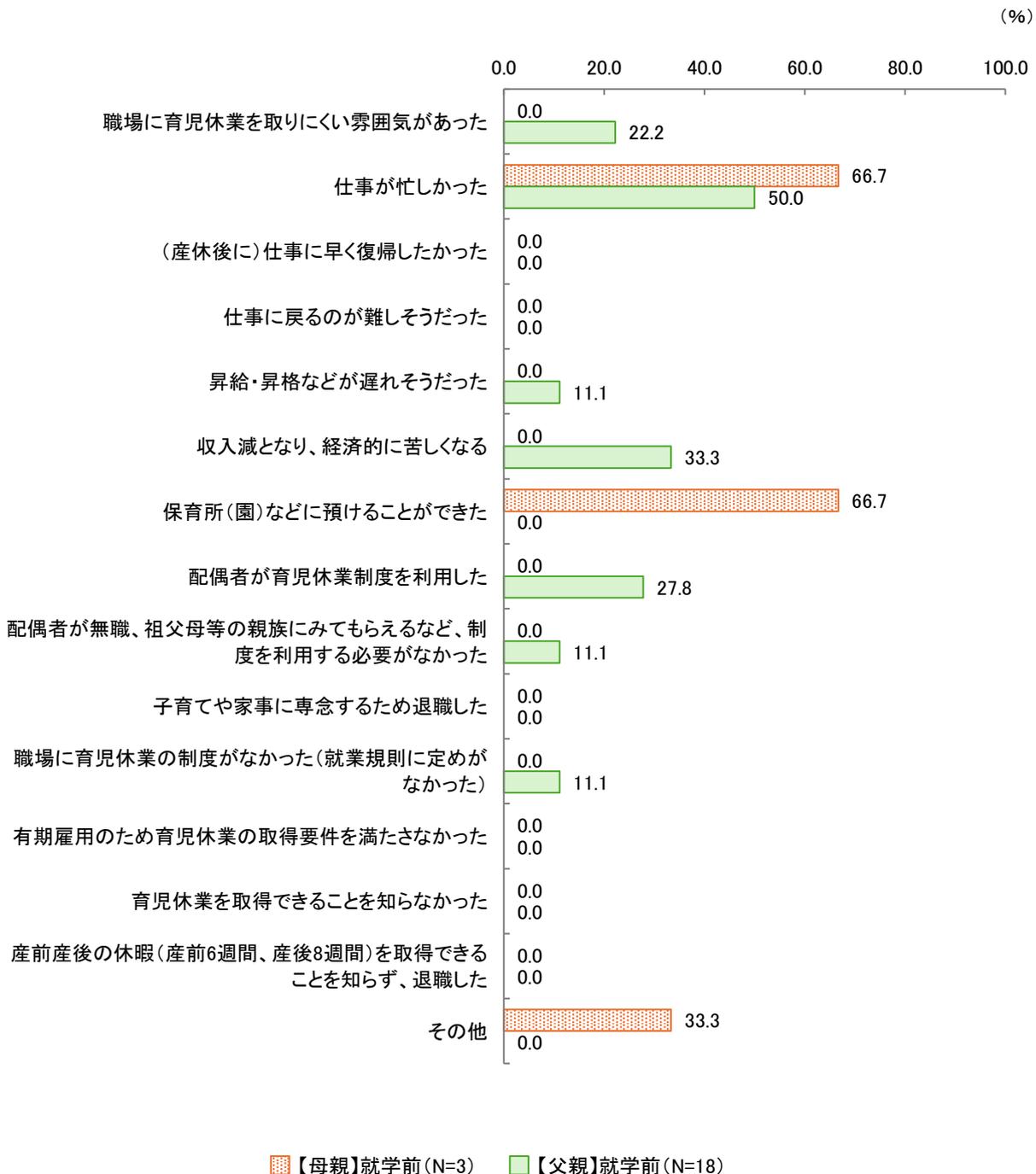


※問 25 で「3」と回答した方に伺います

取得していない理由は何ですか。(就学前:問 25-1)

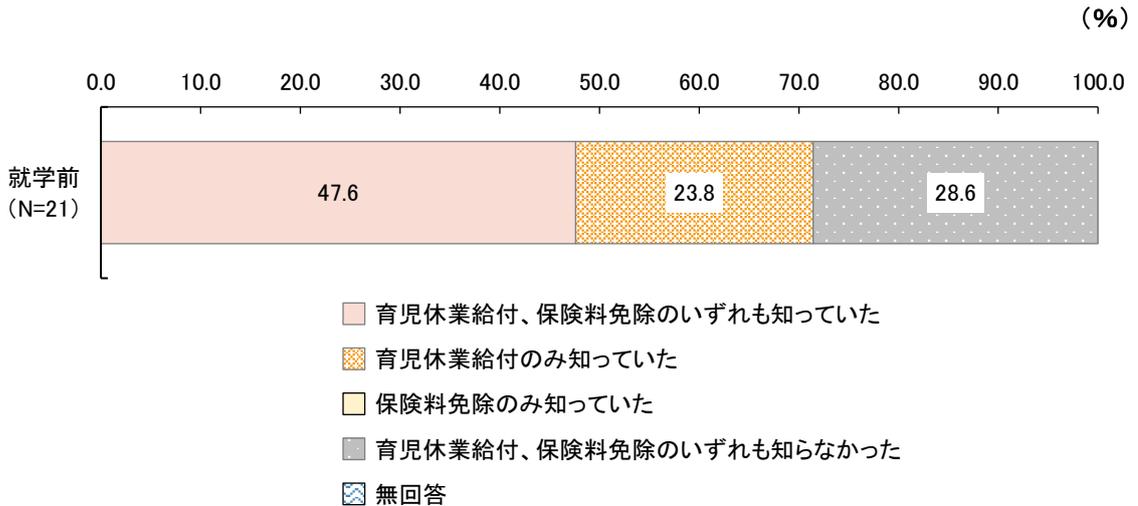
就学前の育児休業の取得状況についてみると、母親では「仕事が忙しかった」「保育所(園)などに預けることができた」がともに 66.7%と最も高く、次いで「その他」が 33.3%となっています。

父親では「仕事が忙しかった」が 50.0%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 33.3%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 27.8%となっています。



子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。(就学前:問 25-2)

育児休業給付、保険料免除についてみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が47.6%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が28.6%、「育児休業給付のみ知っていた」が23.8%となっています。

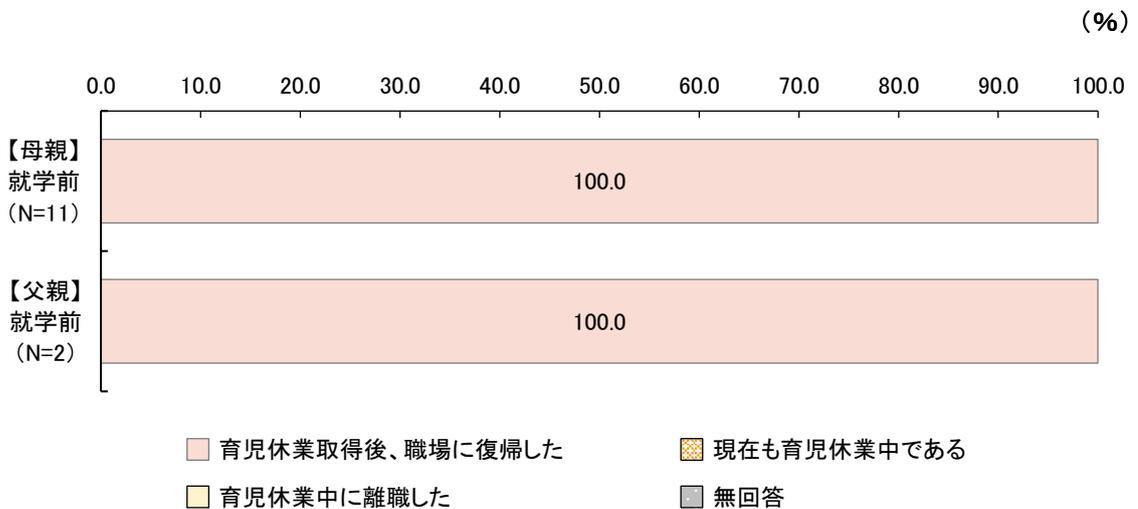


※問 25 で「1. 取得した」と回答した方に伺います

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(就学前:問 25-3)

育児休業取得後の職場復帰についてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が100.0%と最も高くなっています。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が100.0%と最も高くなっています。

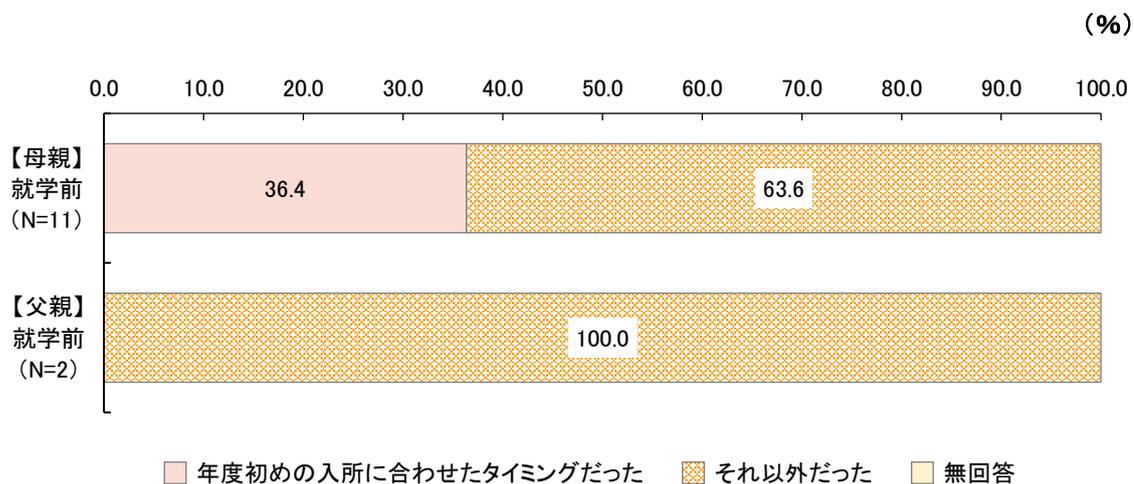


※問 25 で「1. 取得した」と回答した方に伺います

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(就学前:問 25-4)

育児休業から職場に復帰したタイミングについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 36.4%、「それ以外だった」が 63.6%となっています。

父親では「それ以外だった」が 100.0%となっています。



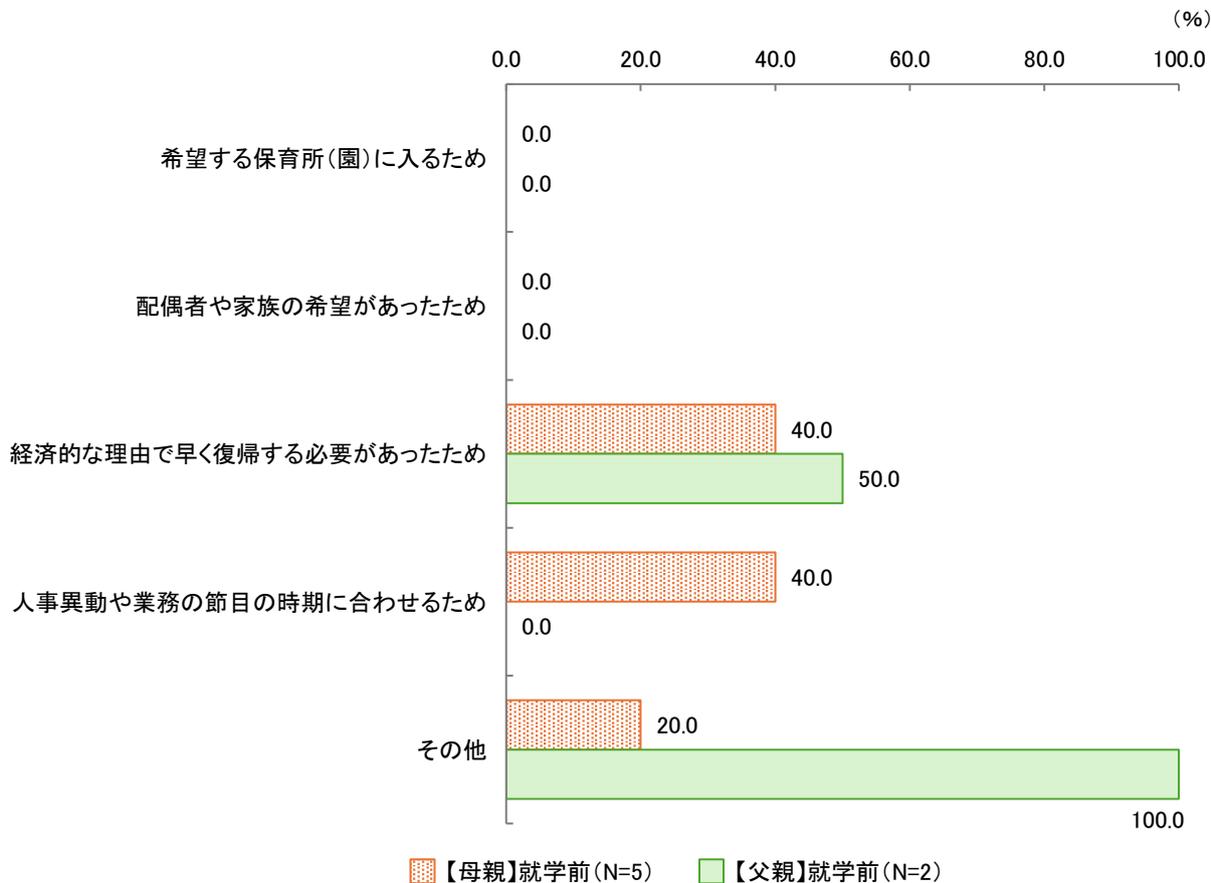
※問 25-5で実際の復帰と希望が異なる方に伺います

希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。(就学前:問 25-7)

【希望より早い】

復帰と希望が異なる理由についてみると、母親では「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに40.0%と最も高く、次いで「その他」が20.0%となっています。

父親では「その他」が100.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が50.0%となっています。



【希望より遅い】

復帰と希望が異なる理由についてみると、母親では回答者がありませんでした。

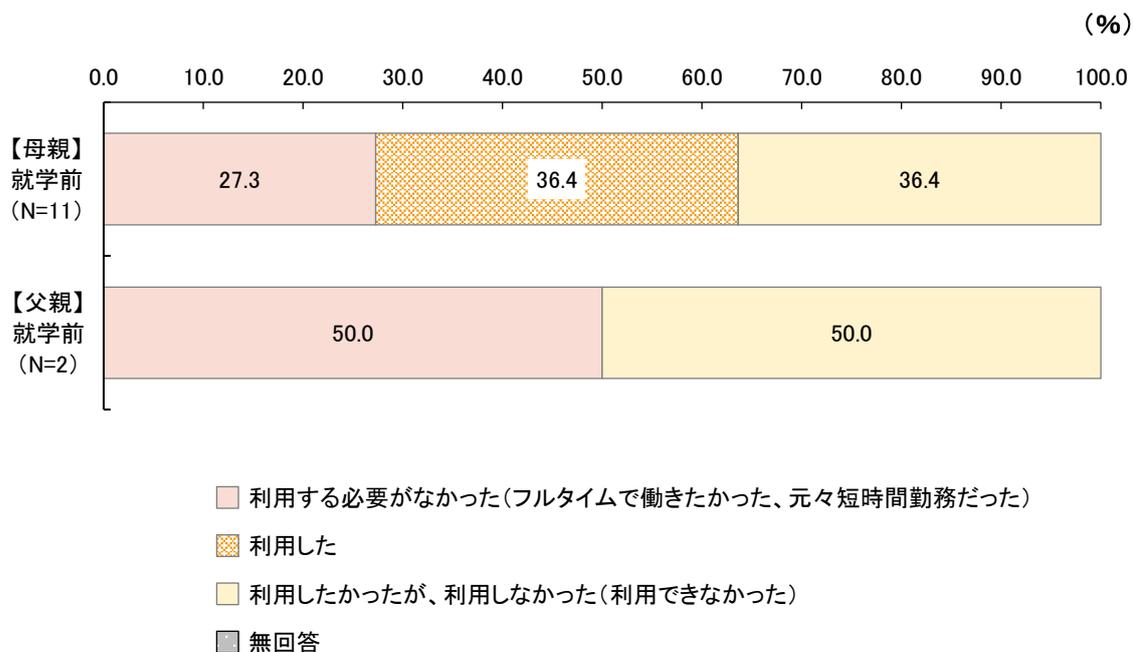
父親では該当者はありませんでした。

※問 25 で「1. 取得した」と回答した方に伺います

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(就学前:問 25-8)

職場復帰時の短時間勤務制度の利用についてみると、母親では「利用した」「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」がともに 36.4%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、元々短時間勤務だった)」が 27.3%となっています。

父親では「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、元々短時間勤務だった)」「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」がともに 50.0%と最も高くなっています。

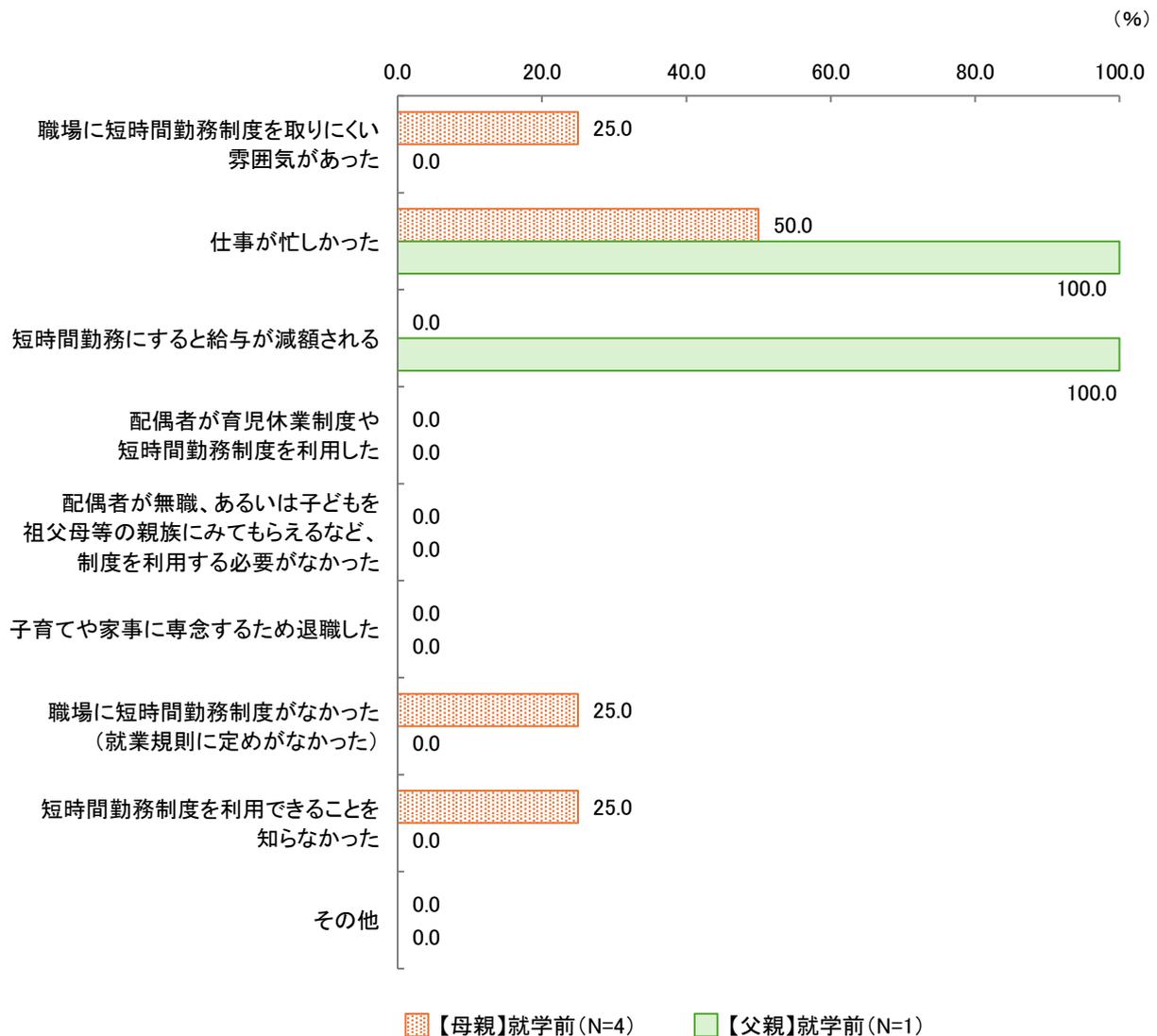


※問 25-8で「3」と回答した方にお聞きします

**短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(就学前:問 25-9)**

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由についてみると、母親では「仕事が忙しかった」が 50.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」がいずれも 25.0%となっています。

父親では「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに 100.0%と最も高くなっています。



※問 25-3で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお聞きします

**お子さんが1歳になったときに利用できるサービス(認定こども園の入園等)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。(就学前:問 25-10)**

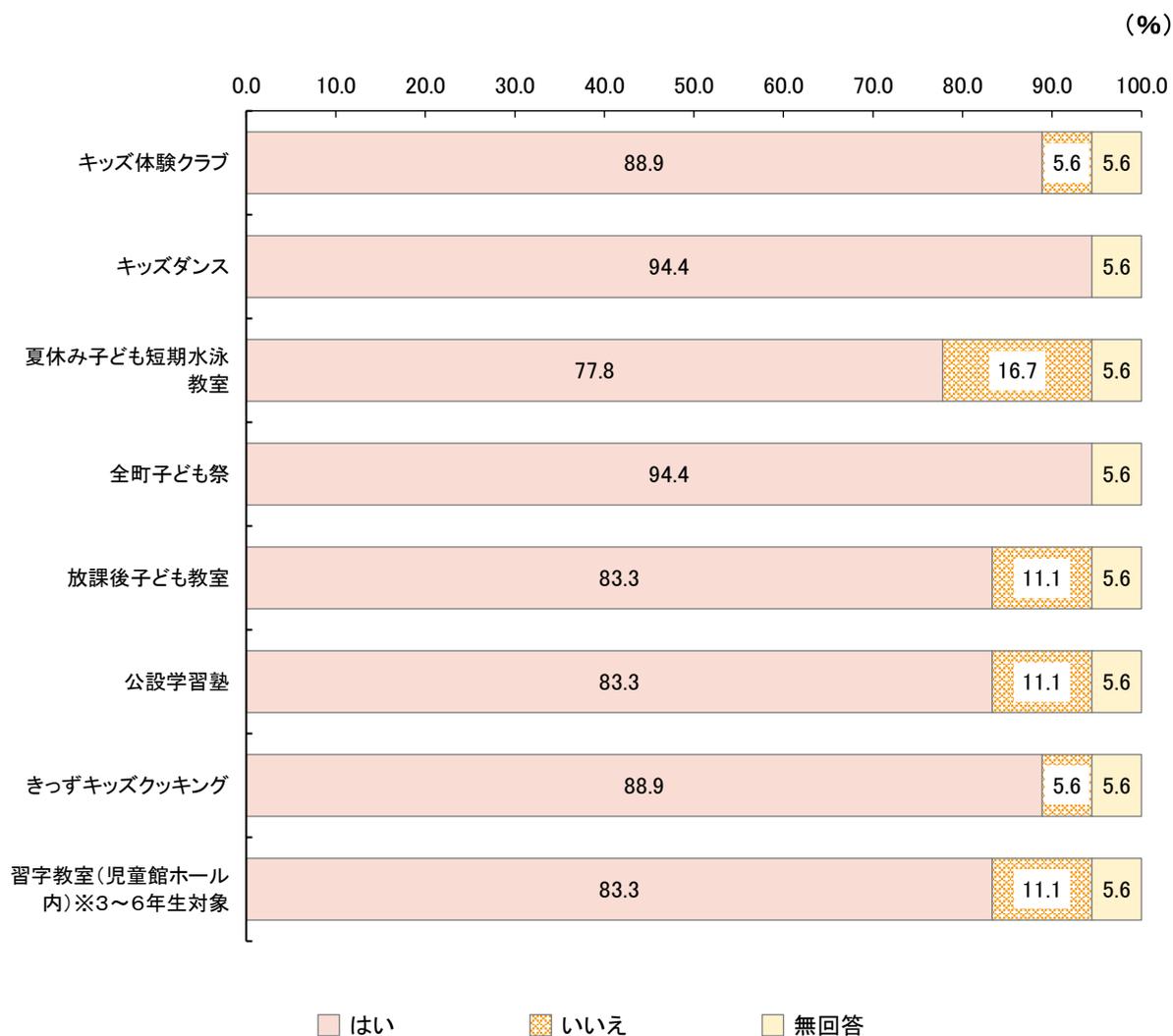
1歳になるまで育児休業を取得したいかについてみると、母親、父親ともに該当者はありませんでした。

## 小学生対象の事業について

本町で行っている下記のサービスで知っているものや、これまでに利用した事があるもの、今後、利用したいと思うものについて、サービスごとにお答えください。(小学生:問 15)

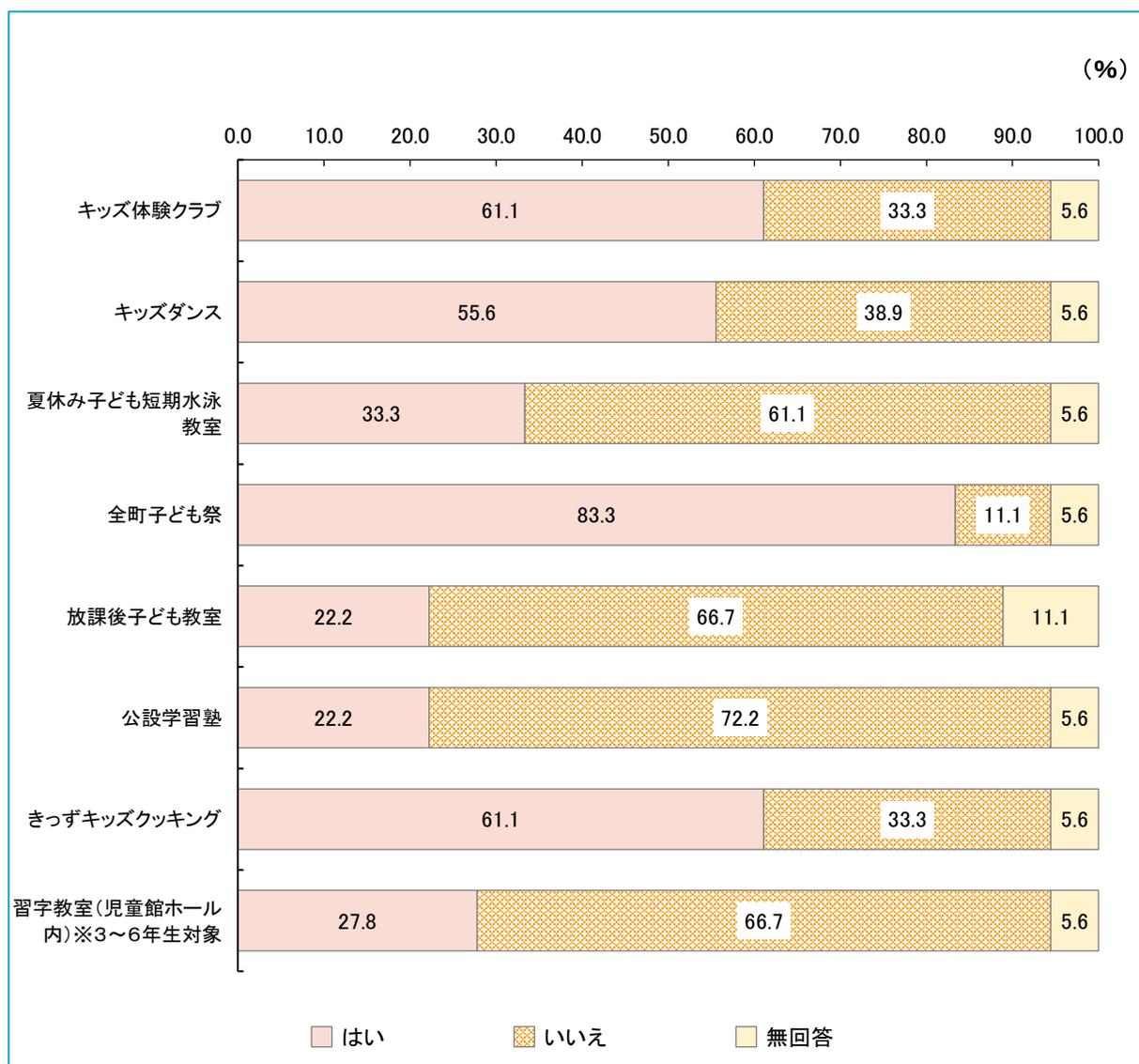
### 【認知度】

サービスの認知度についてみると、「はい」の割合が全ての項目で7割台以上を占め、全体的に認知度は高くなっています。



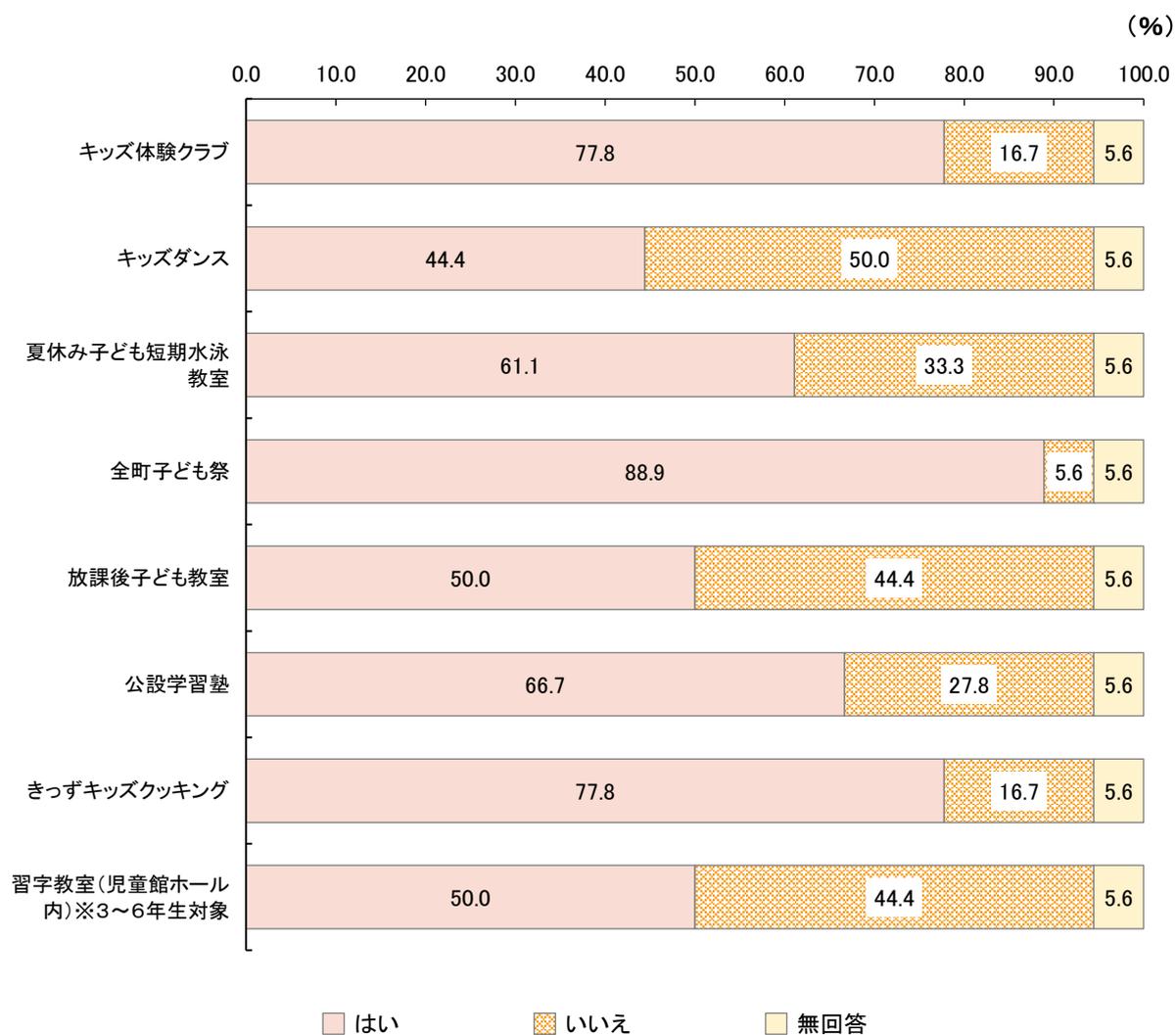
### 【利用実績】

サービスの利用実績についてみると、「はい」の割合が「全町子ども祭」で8割台、「キッズ体験クラブ」「きっずキッズクッキング」で6割台、「キッズダンス」で5割台を占めているものの、他の項目では3割台以下となっています。



## 【利用意向】

サービスの利用意向についてみると、「はい」の割合が「全町子ども祭」で8割台、「キッズ体験クラブ」「きっずキッズクッキング」で7割台、「夏休み子ども短期水泳教室」「公設学習塾」で6割台を占めているものの、他の項目では5割台以下となっています。

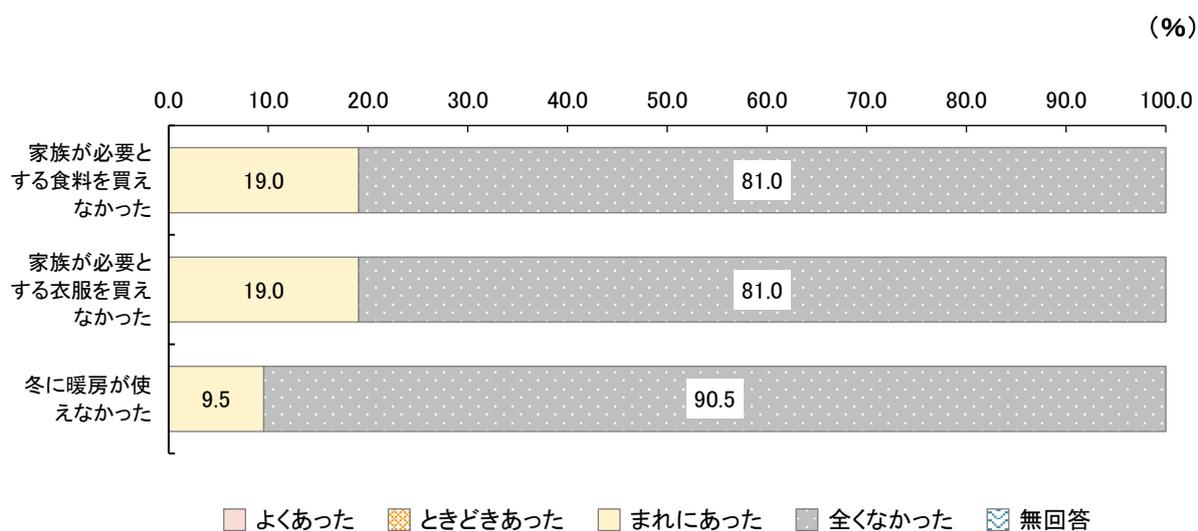


## 現在の暮らしについて

過去1年間に、経済的な理由で、次のようなことがありましたか。(就学前:問 26、小学生:問 16)

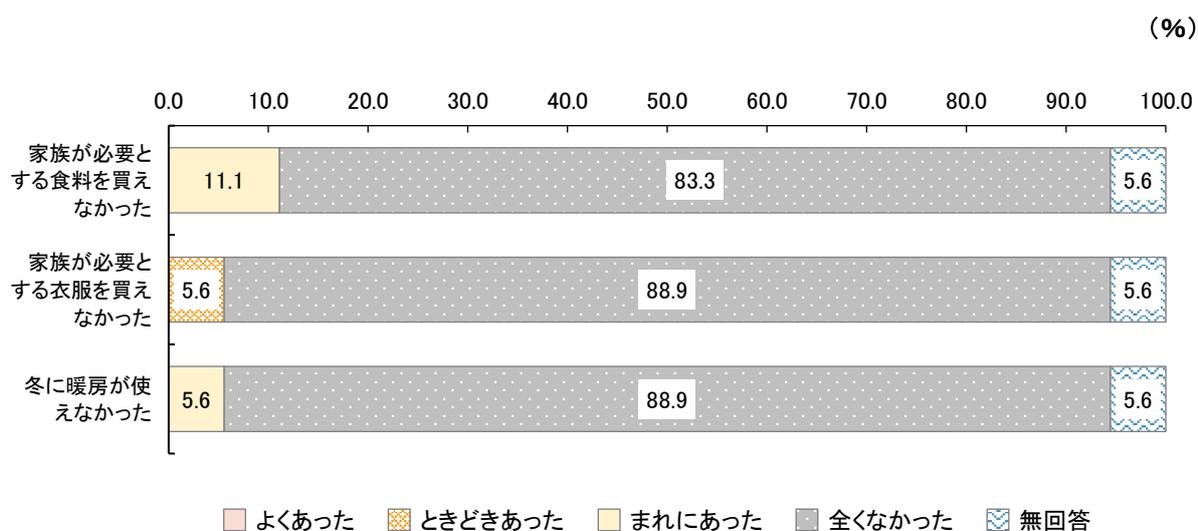
### 【就学前】

過去1年間に、経済的な理由でできなかったことについてみると、就学前では「あった(よくあった+ときどきあった+まれにあった)」の割合が、全ての項目で1割台以下となっています。



### 【小学生】

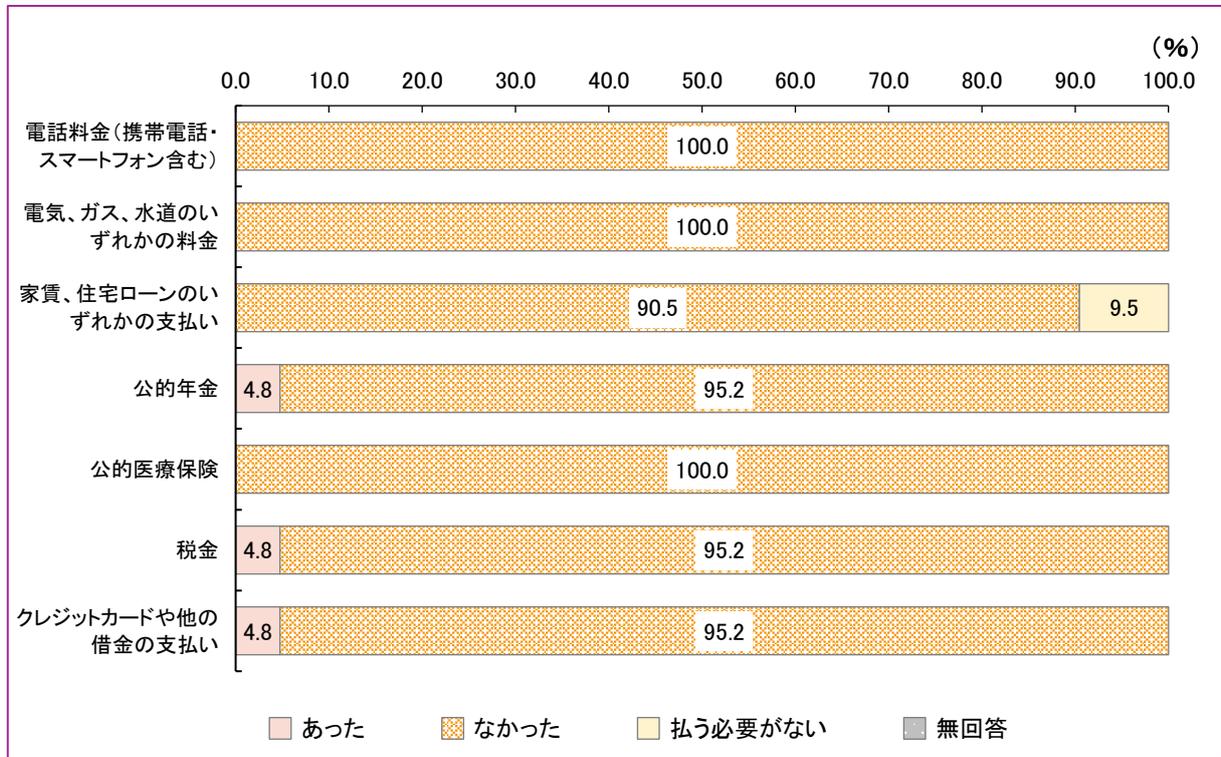
小学生では「あった(よくあった+ときどきあった+まれにあった)」の割合が、全ての項目で1割台以下となっています



過去1年間に、経済的な理由で、次の支払いができなかったことがありましたか。(就学前:問27、小学生:問17)

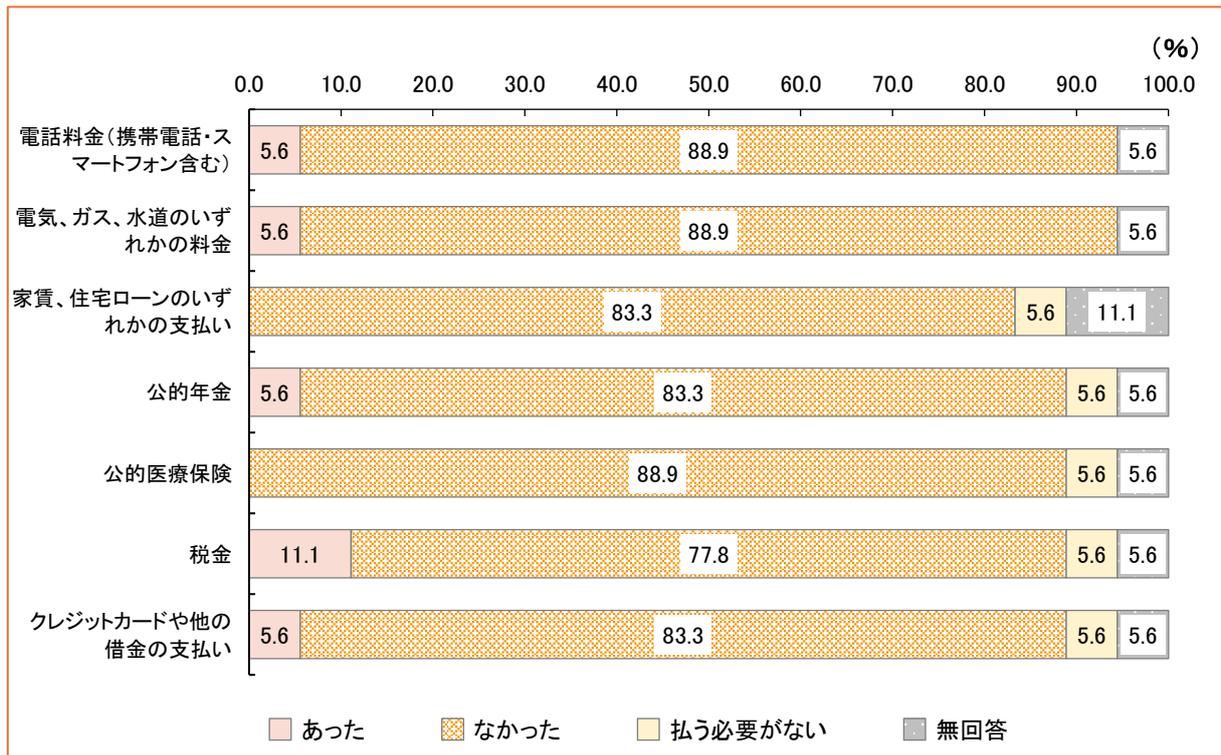
【就学前】

過去1年間に、経済的な理由で、支払いができなかったことについてみると、就学前では「あった」の割合が全ての項目で1割以下となっています。



【小学生】

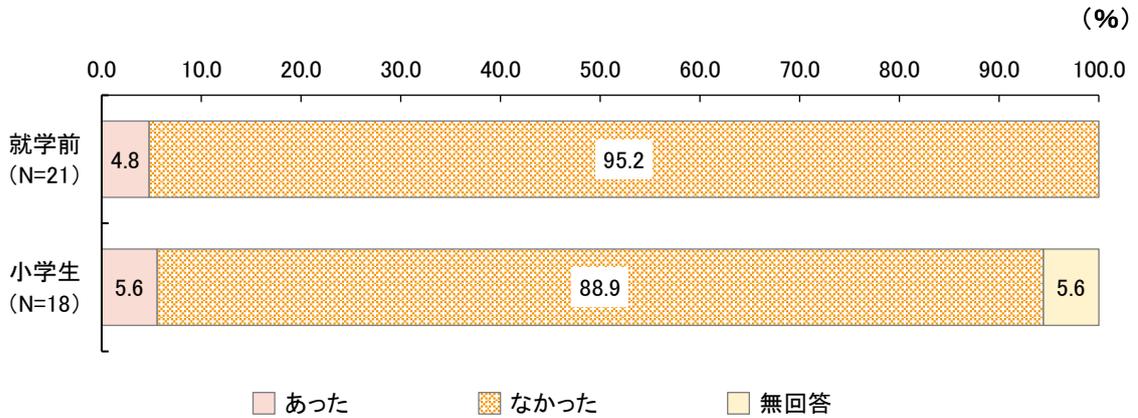
小学生では「あった」の割合が全ての項目で1割台以下となっています。



過去1年間に、お子さん(きょうだいを含む)を病院や歯医者に受診させた方が良かったと思っ  
たが、実際には受診させなかったことがありますか。(就学前:問 28、小学生:問 18)

子どもを病院受診させなかったことの有無についてみると、就学前では「あった」が 4.8%、「なかった」  
が 95.2%となっています。

小学生では「あった」が 5.6%、「なかった」が 88.9%となっています。

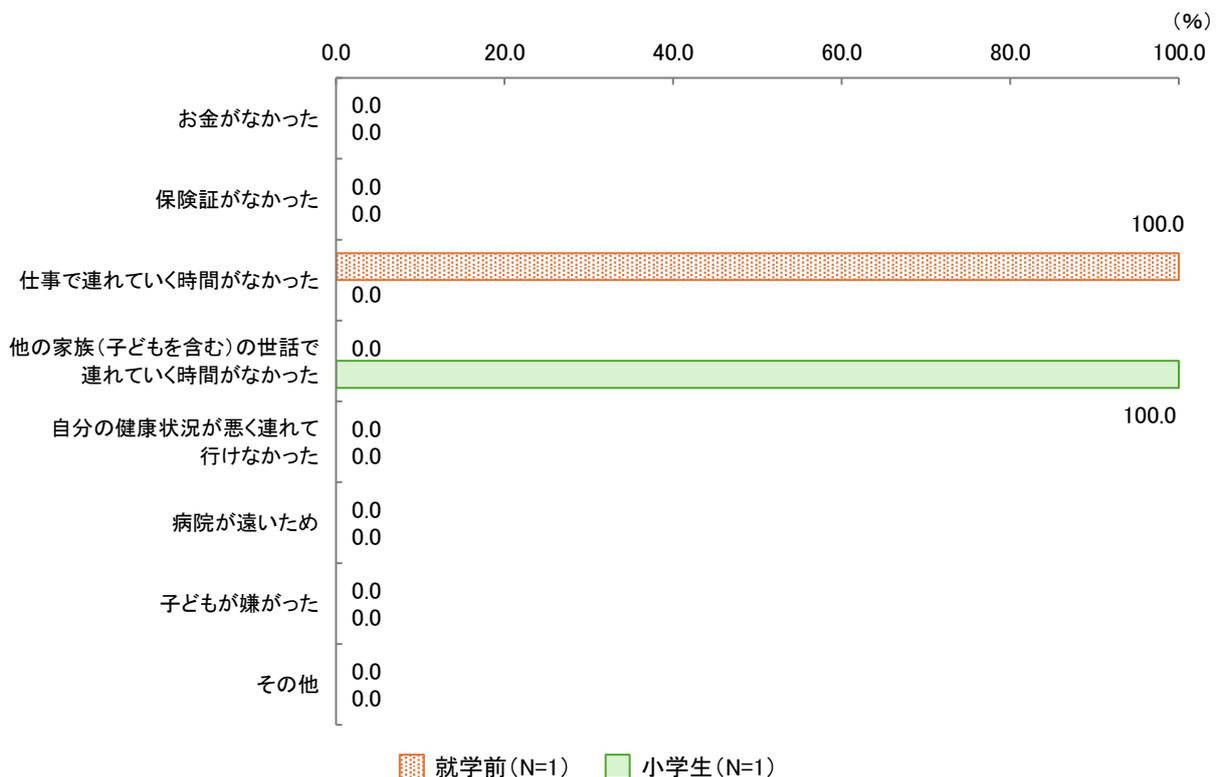


※問 28(就学前)、問 18(小学生)で「1」と回答した方におうかがいします

その理由は何ですか。(就学前:問 28-1、小学生:問 18-1)

子どもを病院受診させなかった理由についてみると、就学前では「仕事で連れていく時間がなかった」  
が 100.0%となっています。

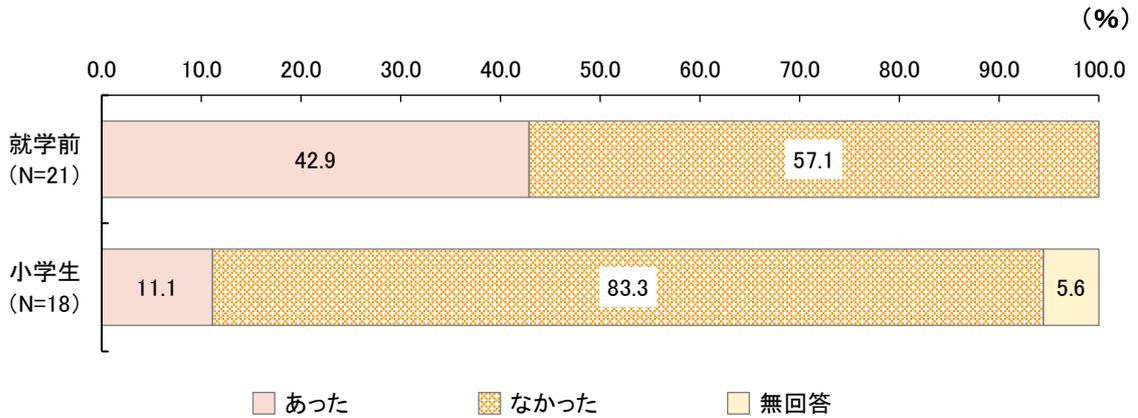
小学生では「他の家族(子どもを含む)の世話で連れていく時間がなかった」が 100.0%となっていま  
す。



過去1年間に、あなたが病院や歯医者に行きたいのに行けなかったことがありますか。(就学前:問 29、小学生:問 19)

回答者が病院や歯医者に行けなかったことの有無についてみると、就学前では「あった」が 42.9%、「なかった」が 57.1%となっています。

小学生では「あった」が 11.1%、「なかった」が 83.3%となっています。

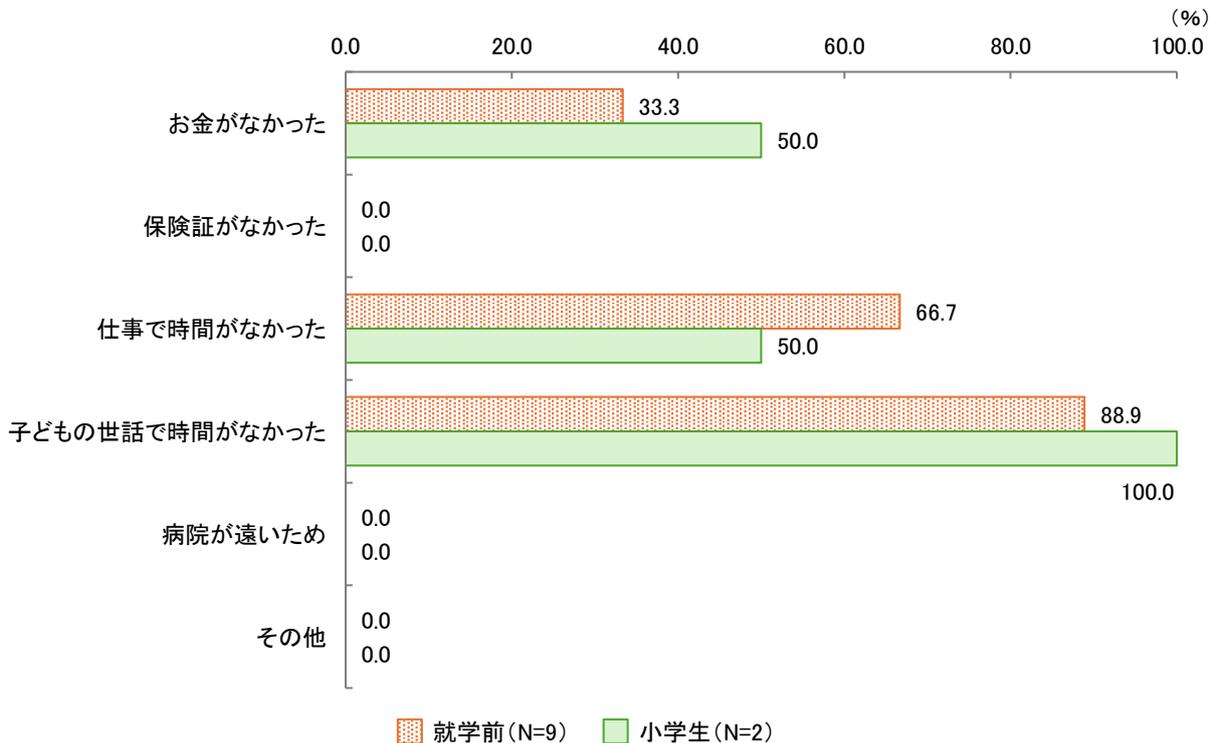


※問 29(就学前)、問 19(小学生)で「1」と回答した方におうかがいします

その理由は何ですか。(中学生:問 29-1、高校生:問 19-1)

回答者が病院や歯医者に行けなかった理由についてみると、就学前では「子どもの世話で時間がなかった」が 88.9%と最も高く、次いで「仕事で時間がなかった」が 66.7%、「お金がなかった」が 33.3%となっています。

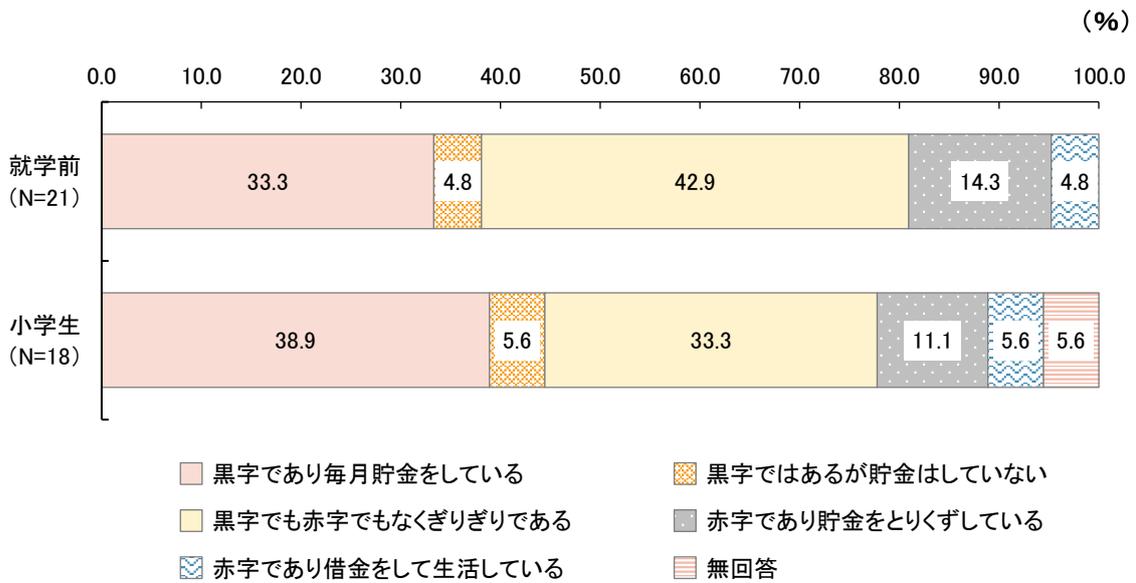
小学生では「子どもの世話で時間がなかった」が 100.0%と最も高く、次いで「お金がなかった」「仕事で時間がなかった」がともに 50.0%となっています。



あなたのご家庭の普段の家計について、最も近いものに○をつけてください(住宅ローンや車のローンなども支出に含めてお答えください)。(就学前:問 30、小学生:問 20)

普段の家計についてみると、就学前では「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が42.9%と最も高く、次いで「黒字であり毎月貯金をしている」が33.3%、「赤字であり貯金をとりくずしている」が14.3%となっています。

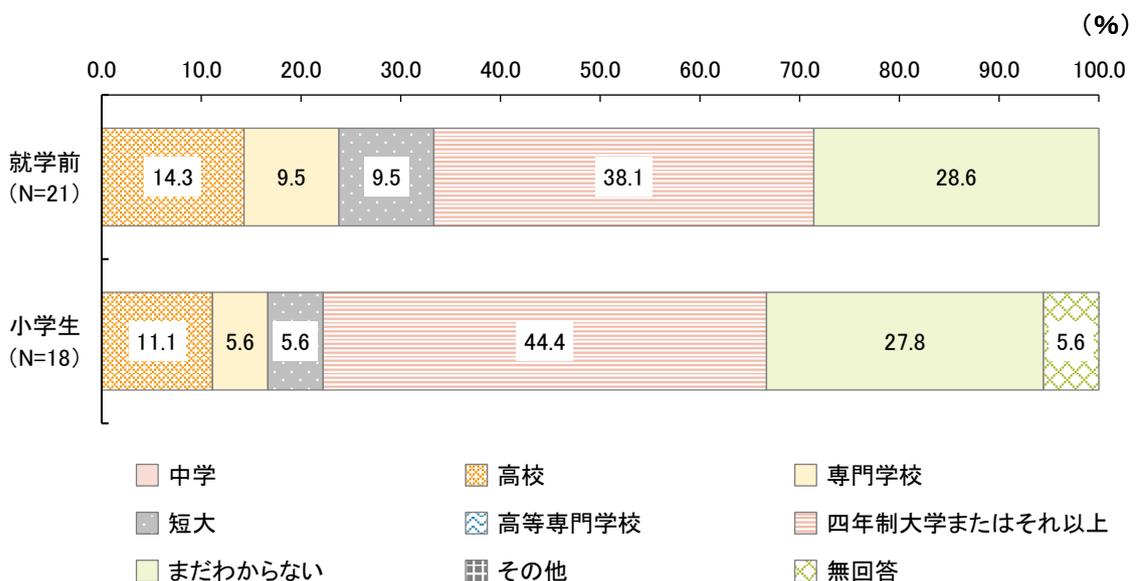
小学生では「黒字であり毎月貯金をしている」が38.9%と最も高く、次いで「黒字でも赤字でもなくぎりぎりである」が33.3%、「赤字であり貯金をとりくずしている」が11.1%となっています。



お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(就学前:問 31、小学生:問 21)

子どもに受けさせたい教育についてみると、就学前では「四年制大学またはそれ以上」が38.1%と最も高く、次いで「まだわからない」が28.6%、「高校」が14.3%となっています。

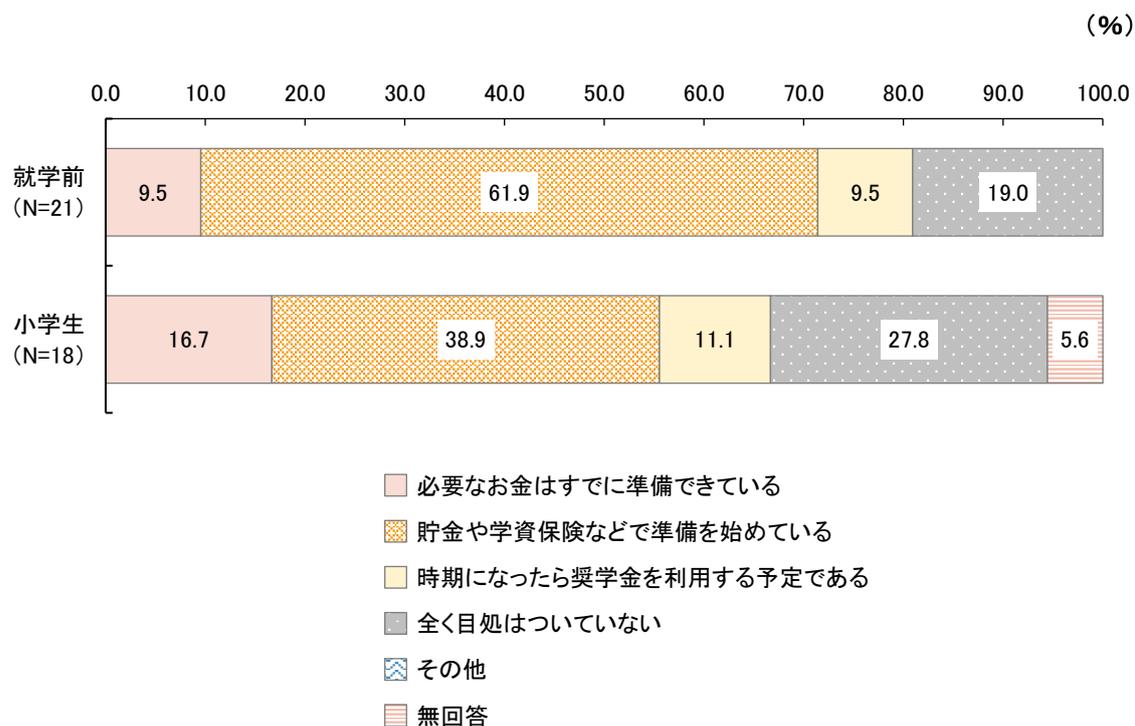
小学生では「四年制大学またはそれ以上」が44.4%と最も高く、次いで「まだわからない」が27.8%、「高校」が11.1%となっています。



問 31(就学前)問 21(小学生)の教育を受けさせるための、お金の準備の状況はいかがですか。(就学前:問 31-1、小学生:問 21-1)

教育を受けさせるためのお金の準備状況についてみると、就学前では「貯金や学資保険などで準備を始めている」が 61.9%と最も高く、次いで「全く目処はついていない」が 19.0%、「必要なお金はすでに準備できている」「時期になったら奨学金を利用する予定である」がともに 9.5%となっています。

小学生では「貯金や学資保険などで準備を始めている」が 38.9%と最も高く、次いで「全く目処はついていない」が 27.8%、「必要なお金はすでに準備できている」が 16.7%となっています。

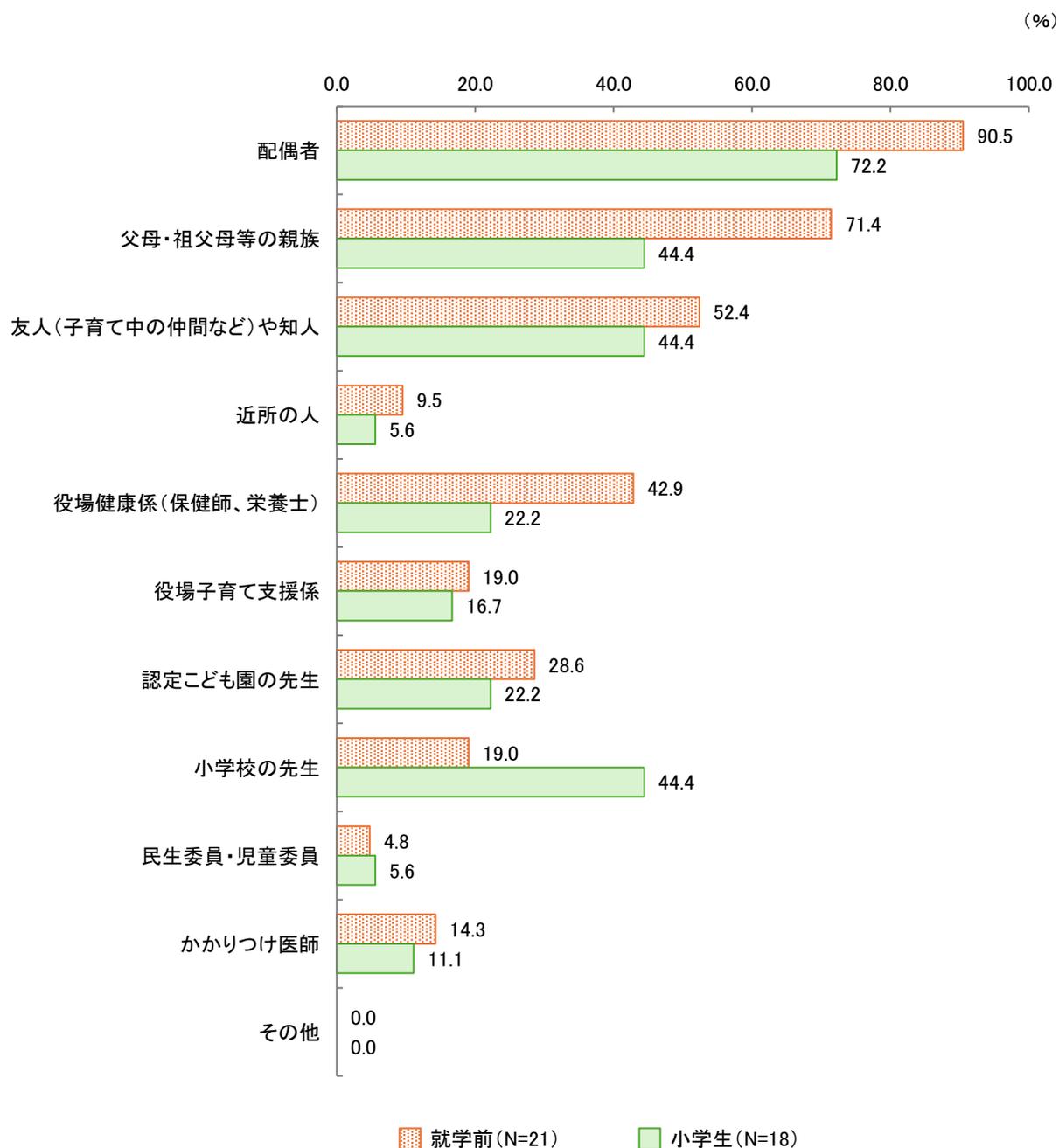


## 子育て環境について

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、相談できる先は、誰(どこ)ですか。(就学前:問 32、小学生:問 22)

子どもの悩みや困りごとを相談する人についてみると、就学前では「配偶者」が 90.5%と最も高く、次いで「父母・祖父母等の親族」が 71.4%、「友人(子育て中の仲間など)や知人」が 52.4%となっています。

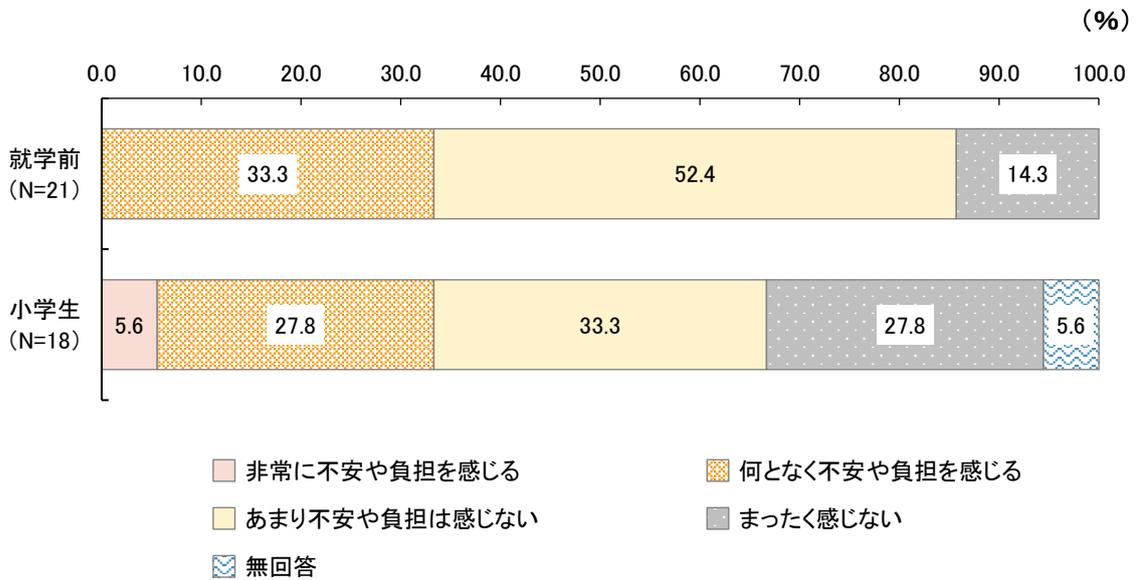
小学生では「配偶者」が 72.2%と最も高く、次いで「父母・祖父母等の親族」「友人(子育て中の仲間など)や知人」「小学校の先生」がいずれも 44.4%、「役場健康係(保健師、栄養士)」「認定こども園の先生」がともに 22.2%となっています。



子育てに関して、不安感や負担感を感じることがありますか。(就学前:問 33、小学生:問 23)

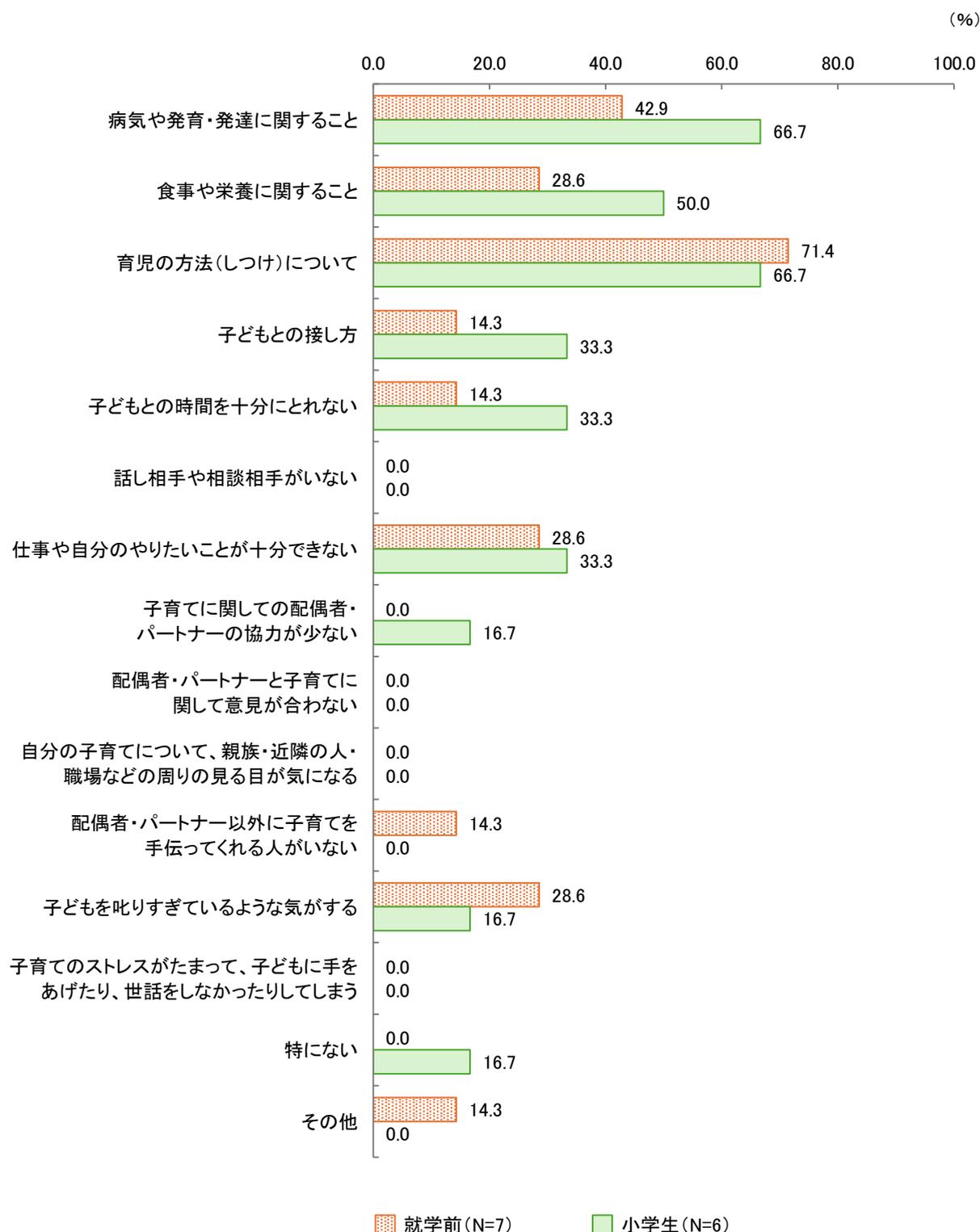
子育てに関しての不安や負担についてみると、就学前では「あまり不安や負担は感じない」が52.4%と最も高く、次いで「何となく不安や負担を感じる」が 33.3%、「まったく感じない」が 14.3%となっています。

小学生では「あまり不安や負担は感じない」が 33.3%と最も高く、次いで「何となく不安や負担を感じる」「まったく感じない」がともに 27.8%、「非常に不安や負担を感じる」が 5.6%となっています。



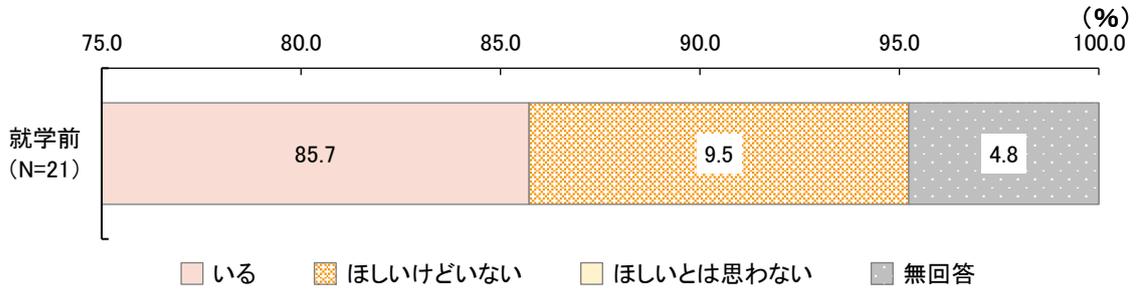
それはどのようなことですか。(就学前:問 33-1、小学生:問 23-1)

子育ての不安感や負担感の内容についてみると、就学前では「育児の方法(しつけ)について」が71.4%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が42.9%、「食事や栄養に関すること」「仕事や自分のやりたいことが十分できない」「子どもを叱りすぎているような気がする」がいずれも28.6%となっています。



あなたは同じくらいの子どもをもつ親同士のつきあいや子育て仲間がいますか。(就学前:問34)

子育て仲間の有無についてみると、「いる」が 85.7%と最も高く、次いで「ほしいけどいない」が 9.5%となっています。

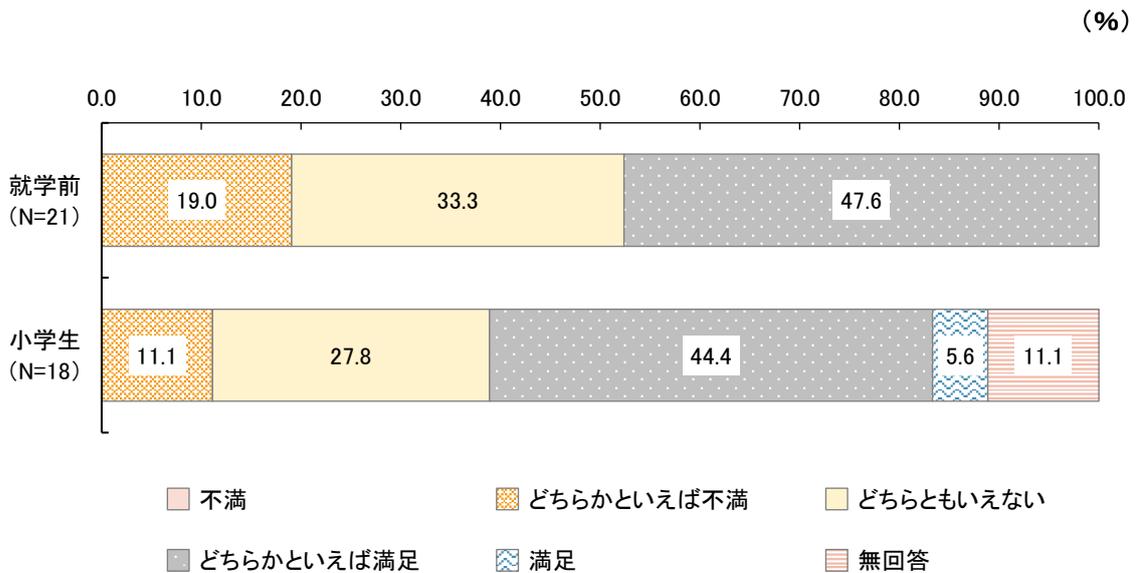


### 町の子育て環境について

上砂川町は、子育てをしやすい町だと思いますか。満足度についてお聞きします。(就学前:問35、小学生:問24)

本町の子育て環境の満足度についてみると、就学前では「どちらかといえば満足」が 47.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 33.3%、「どちらかといえば不満」が 19.0%となっています。

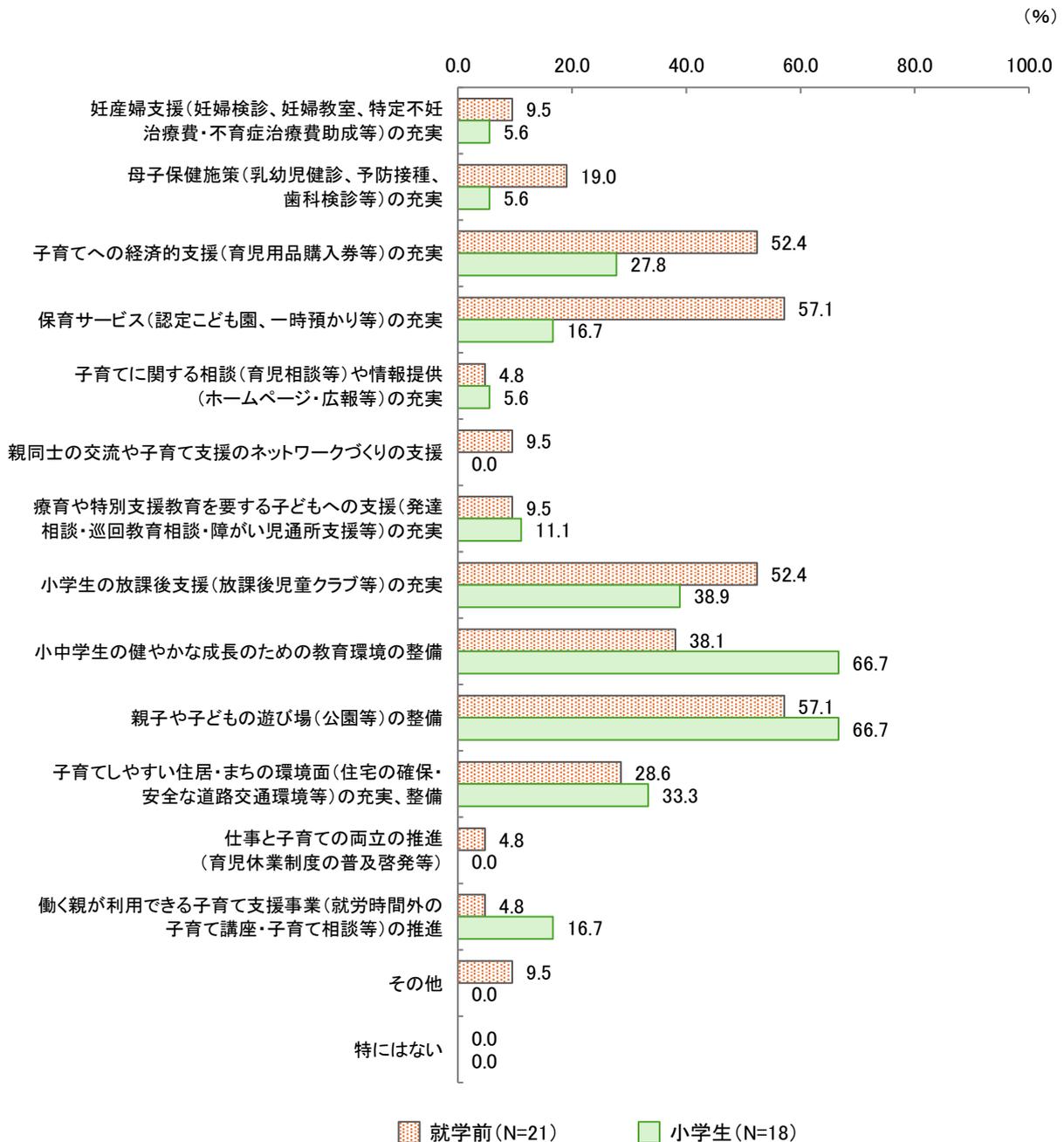
小学生では「どちらかといえば満足」が 44.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.8%、「どちらかといえば不満」が 11.1%となっています。



町に対してより充実を図ってほしいと思う施策はどのようなことですか。(就学前:問 36、小学生:問 25)

本町の子育て支援に期待することについてみると、就学前では「保育サービス(認定こども園、一時預かり等)の充実」「親子や子どもの遊び場(公園等)の整備」がともに 57.1%と最も高く、次いで「子育てへの経済的支援(育児用品購入券等)の充実」「小学生の放課後支援(放課後児童クラブ等)の充実」がともに 52.4%、「小中学生の健やかな成長のための教育環境の整備」が 38.1%となっています。

小学生では「小中学生の健やかな成長のための教育環境の整備」「親子や子どもの遊び場(公園等)の整備」がともに 66.7%と最も高く、次いで「小学生の放課後支援(放課後児童クラブ等)の充実」が 38.9%、「子育てしやすい住居・まちの環境面(住宅の確保・安全な道路交通環境等)の充実、整備」が 33.3%となっています。



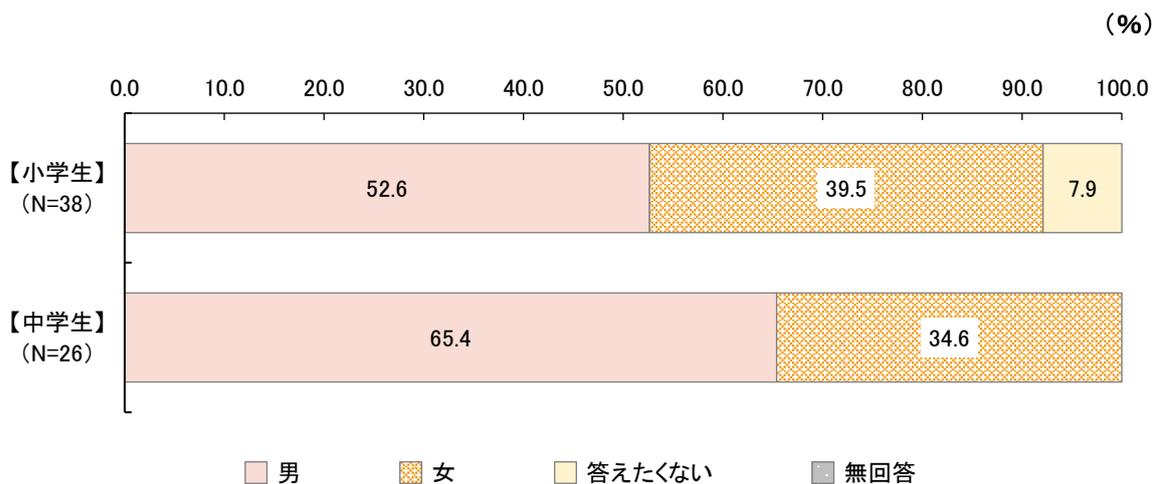
### Ⅲ 調査結果(意識調査:小学4～6年生、中学生、高校生)

あなたのことについて教えてください。

あなたの性別について教えてください。(小学生:問2、中学生:問2)

性別についてみると、小学生では「男」が52.6%と最も高く、次いで「女」が39.5%、「答えたくない」が7.9%となっています。

中学生では「男」が65.4%と最も高く、次いで「女」が34.6%となっています。

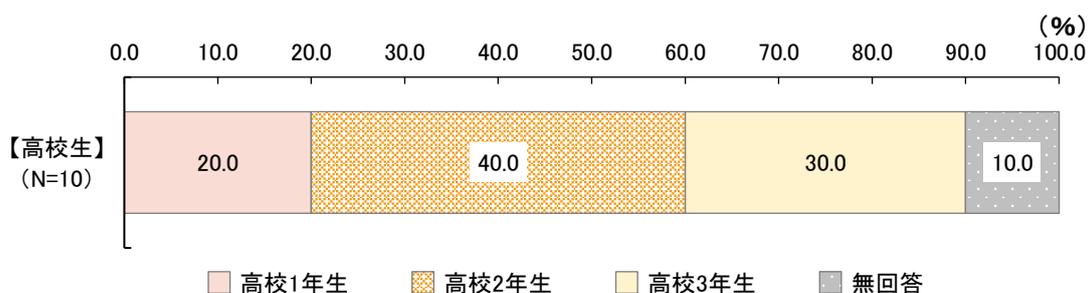
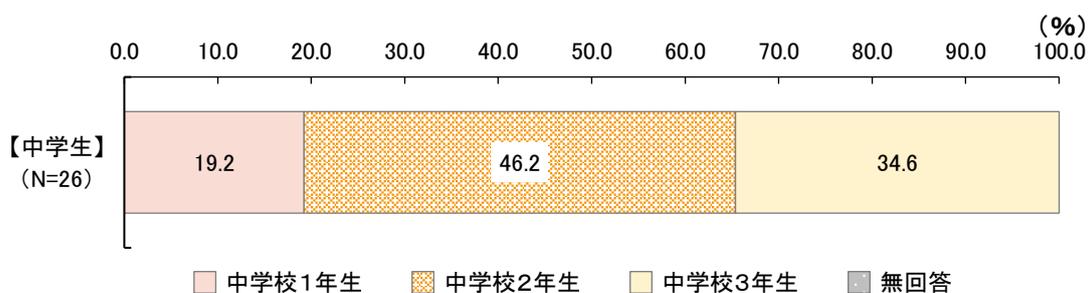
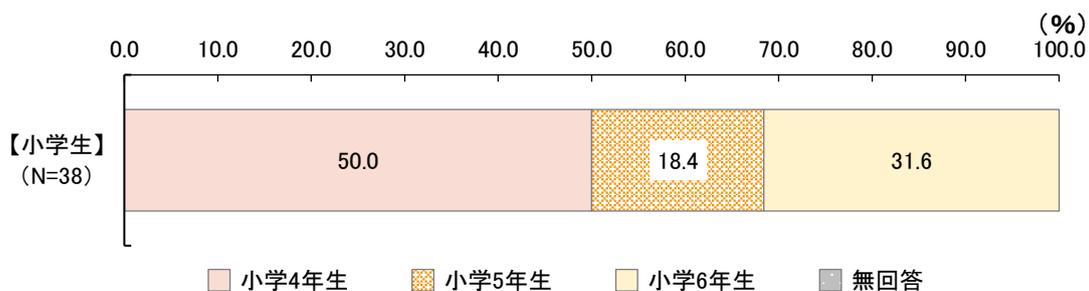


あなたの学年を教えてください。(小学生:問3、中学生:問3、高校生:問2)

学年についてみると、小学生では「小学校4年生」が 50.0%と最も高く、ついで「小学校6年生」が 31.6%、「小学5年生」が 18.4%となっています。

中学生では「中学校2年生」が 46.2%と最も高く、次いで「中学校3年生」が 34.6%、「中学校1年生」が 19.2%となっています。

高校生では「高校2年生」が 40.0%と最も高く、次いで「高校3年生」が 30.0%、「高校1年生」が 20.0%となっています。

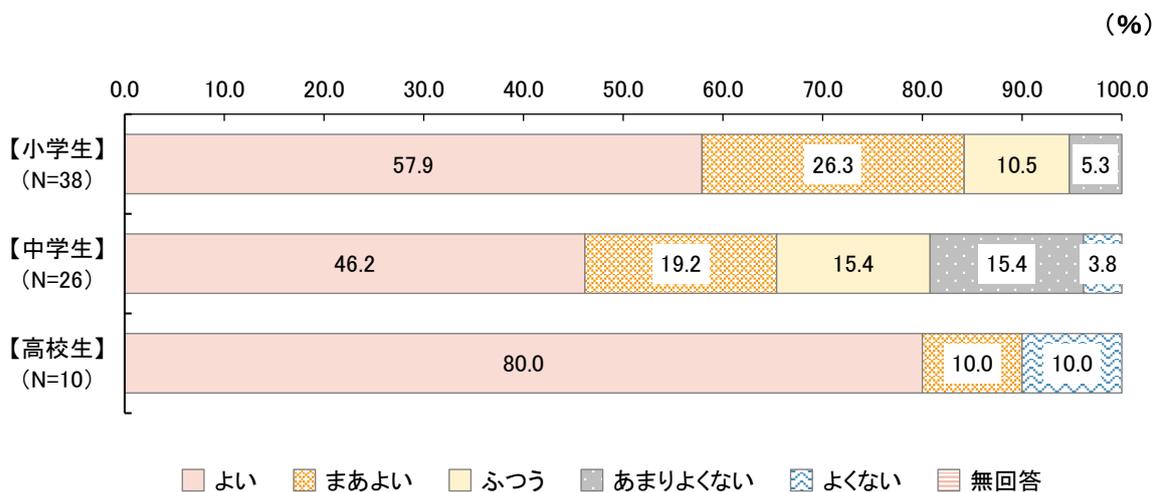


あなたの健康状態について教えてください。(小学生:問4、中学生:問4、高校生:3)

現在の健康状態についてみると、小学生では「よい」が 57.9%と最も高く、次いで「まあよい」が 26.3%、「ふつう」が 10.5%となっています。

中学生では「よい」が 46.2%と最も高く、次いで「まあよい」が 19.2%、「ふつう」「あまりよくない」がともに 15.4%となっています。

高校生では「よい」が 80.0%と最も高く、次いで「まあよい」「よくない」がともに 10.0%となっています。

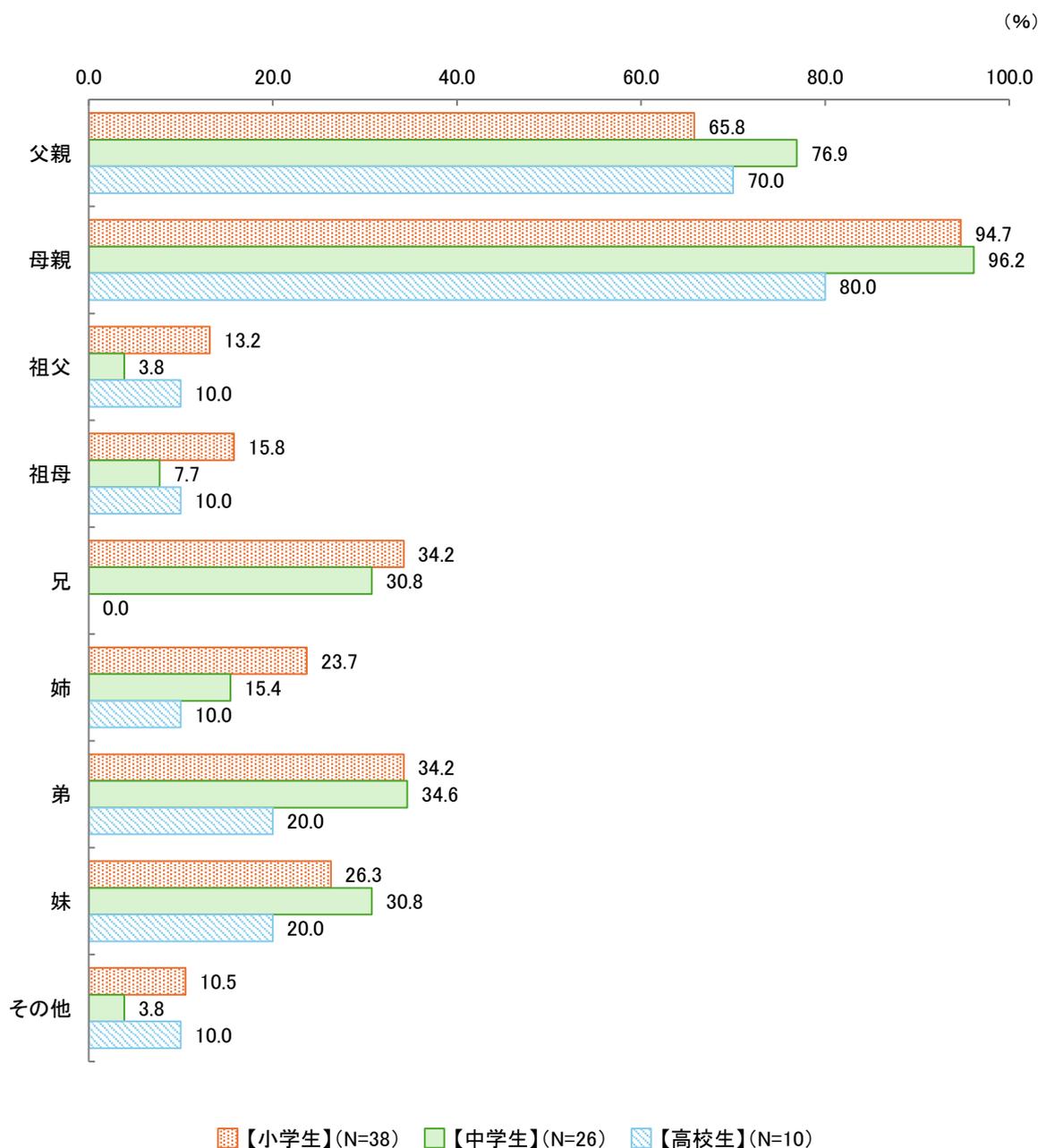


(2) 現在、一緒に住んでいる家族(単身赴任している父母等を除く)は、あなたを含めて誰ですか。(小学生:問5(2)、中学生:問5(2)、高校生:問4(2))

現在の同居家族についてみると、小学生では「母親」が 94.7%と最も高く、次いで「父親」が 65.8%、「兄」「妹」がともに 34.2%となっています。

中学生では「母親」が 96.2%と最も高く、次いで「父親」が 76.9%、「弟」が 34.6%となっています。

高校生では「母親」が 80.0%と最も高く、次いで「父親」が 70.0%、「弟」「妹」がともに 20.0%となっています。

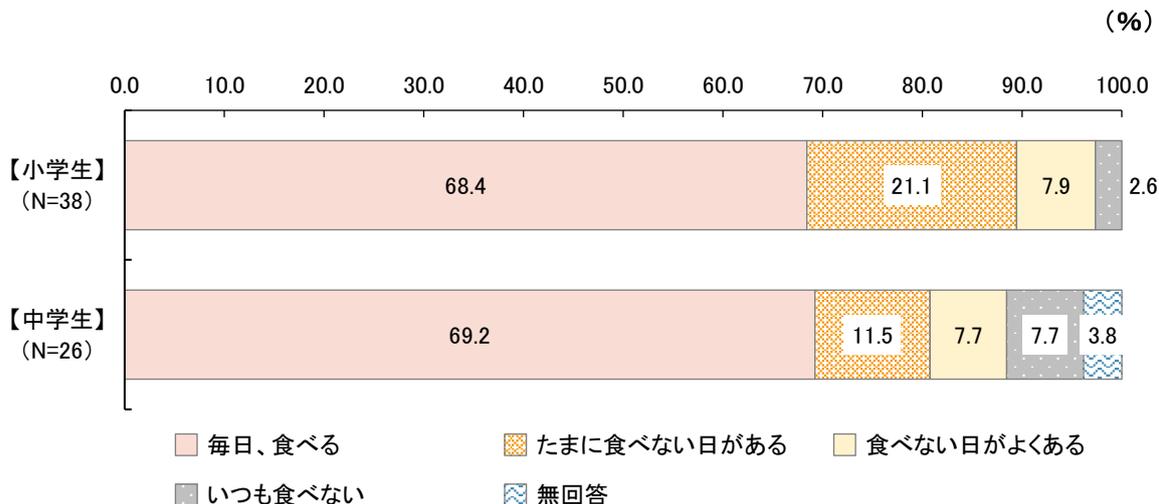


## ふだんの生活について

あなたは、平日(学校に行く日)は毎日、朝ごはんを食べますか。(小学生:問6、中学生:問6)

学校に行く日の朝食の摂取状況についてみると、小学生では「毎日、食べる」が 68.4%と最も高く、次いで「たまに食べない日がある」が 21.1%、「食べない日がよくある」が 7.9%となっています。

中学生では「毎日、食べる」が 69.2%と最も高く、次いで「たまに食べない日がある」が 11.5%、「食べない日がよくある」「いつも食べない」がともに 7.7%となっています。

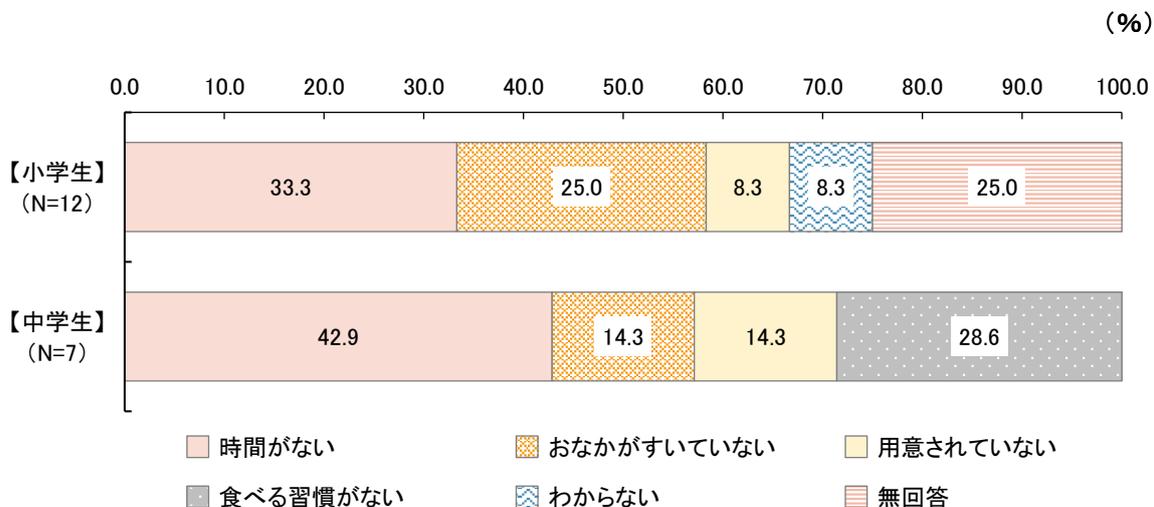


※問6で「2」～「4」と回答した方におたずねします

あなたが朝ごはんを食べない理由は何ですか。(小学生:問6-1、中学生:問6-1)

朝食を食べない理由についてみると、小学生では「時間がない」が 33.3%と最も高く、ついで「おなかがすいていない」が 25.0%、「用意されていない」「わからない」がともに 8.3%となっています。

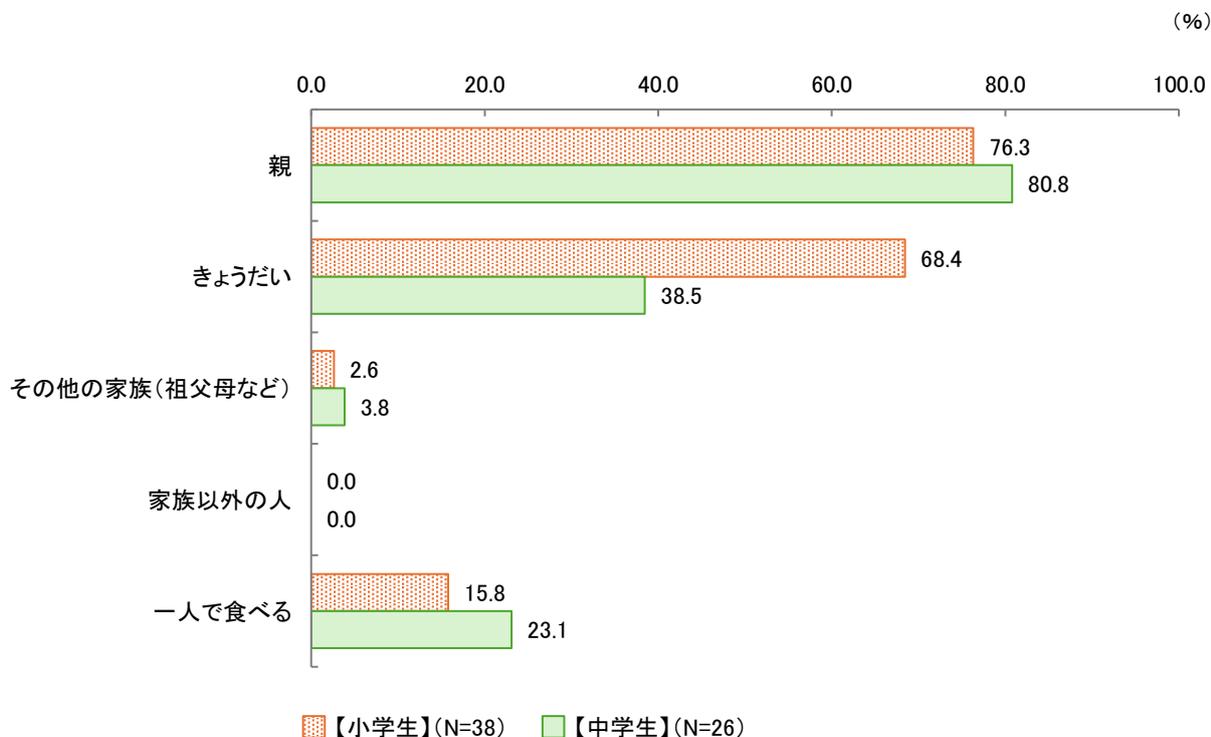
中学生では「時間がない」が 42.9%と最も高く、次いで「食べる習慣がない」が 28.6%、「おなかがすいていない」「用意されていない」がともに 14.3%となっています。



あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんを誰と食べますか。(小学生:問7、中学生:問7)

一緒に夕ごはんを食べる相手についてみると、小学生では「親」が 76.3%と最も高く、次いで「きょうだい」が 68.4%、「一人で食べる」が 15.8%となっています。

中学生では「親」が 80.8%と最も高く、次いで「きょうだい」が 38.5%、「一人で食べる」が 23.1%となっています。

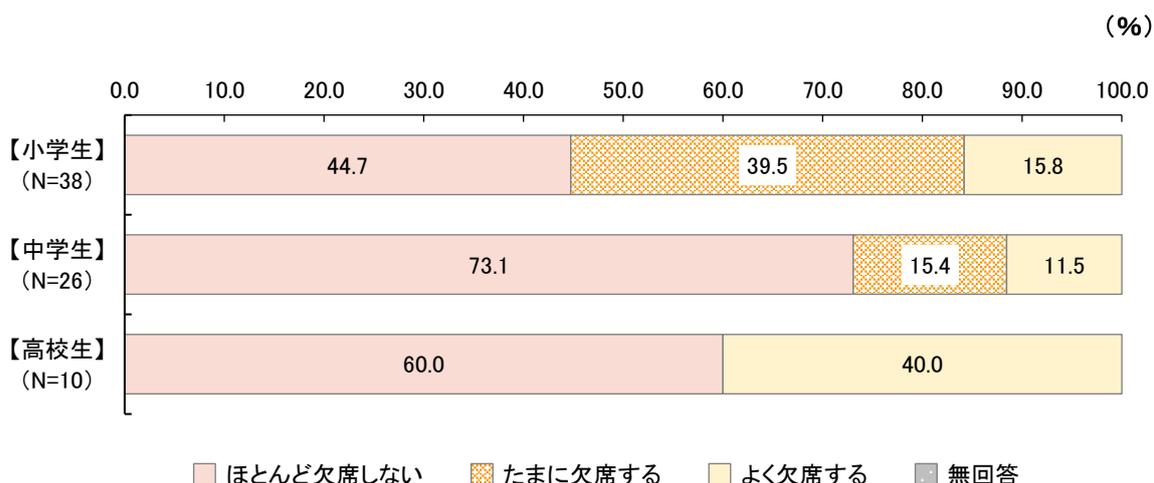


学校への出席状況について教えてください。(小学生:問8、中学生:問8、高校生:問5)

学校への出席状況についてみると、小学生では「ほとんど欠席しない」が 44.7%と最も高く、次いで「たまに欠席する」が 39.5%、「よく欠席する」が 15.8%となっています。

中学生では「ほとんど欠席しない」が 73.1%と最も高く、次いで「たまに欠席する」が 15.4%、「よく欠席する」が 11.5%となっています。

高校生では「ほとんど欠席しない」が 60.0%と最も高く、次いで「よく欠席する」が 40.0%となっています。



学校への遅刻や早退の状況について教えてください。(小学生:問9、中学生:問9、高校生:問6)

学校への遅刻や早退の状況についてみると、小学生では「ほとんどしない」が 68.4%と最も高く、次いで「たまにする」が 31.6%となっています。

中学生では「ほとんどしない」が 73.1%と最も高く、次いで「たまにする」が 26.9%となっています。

高校生では「ほとんどしない」が 90.0%と最も高くなっています。



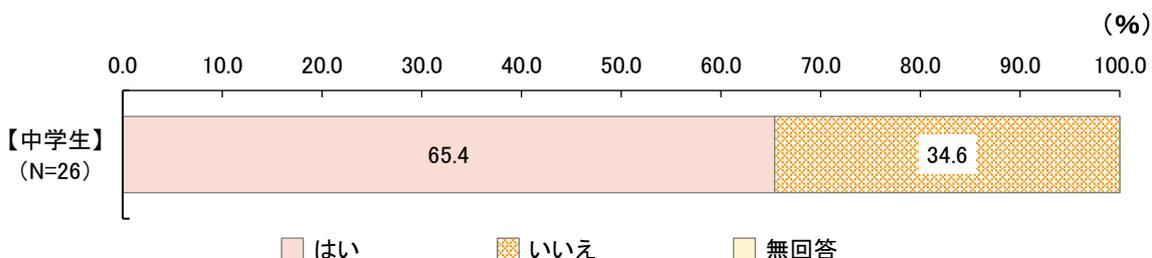
放課後子ども教室(4～6年生のバトミントン教室)や習い事(野球・ピアノなど)に参加していますか。(小学生:問 10)

放課後子ども教室(4～6年生のバトミントン教室)や習い事(野球・ピアノなど)への参加についてみると、「はい」が76.3%、「いいえ」が23.7%となっています。



クラブ活動・部活動や習い事(野球・ピアノなど)に参加していますか。(中学生:問 10)

クラブ活動・部活動や習い事(野球・ピアノなど)への参加についてみると、「はい」が65.4%、「いいえ」が34.6%となっています。



クラブ活動、もしくは部活動(学校外での習いごとをふくむ)に参加していますか。(高校生:問 7)

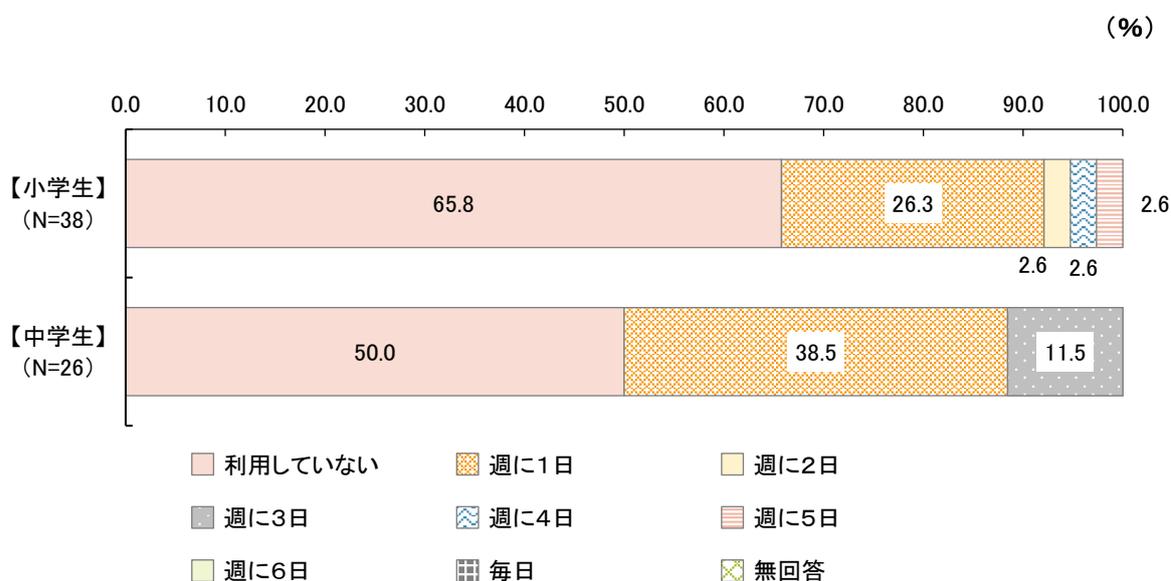
クラブ活動、もしくは部活動(学校外での習いごとをふくむ)への参加についてみると、「はい」が80.0%、「いいえ」が10.0%となっています。



あなたは、学習塾や家庭教師を利用していますか。利用している場合、1週間に何日利用していますか。(小学生:問 11、中学生:問 11)

学習塾や家庭教師の利用状況についてみると、小学生では「利用していない」が65.8%と最も高く、次いで「週に1日」が26.3%、「週に2日」「週に4日」「週に5日」がいずれも2.6%となっています。

中学生では「利用していない」が50.0%と最も高く、次いで「週に1日」が38.5%、「週に3日」が11.5%となっています。

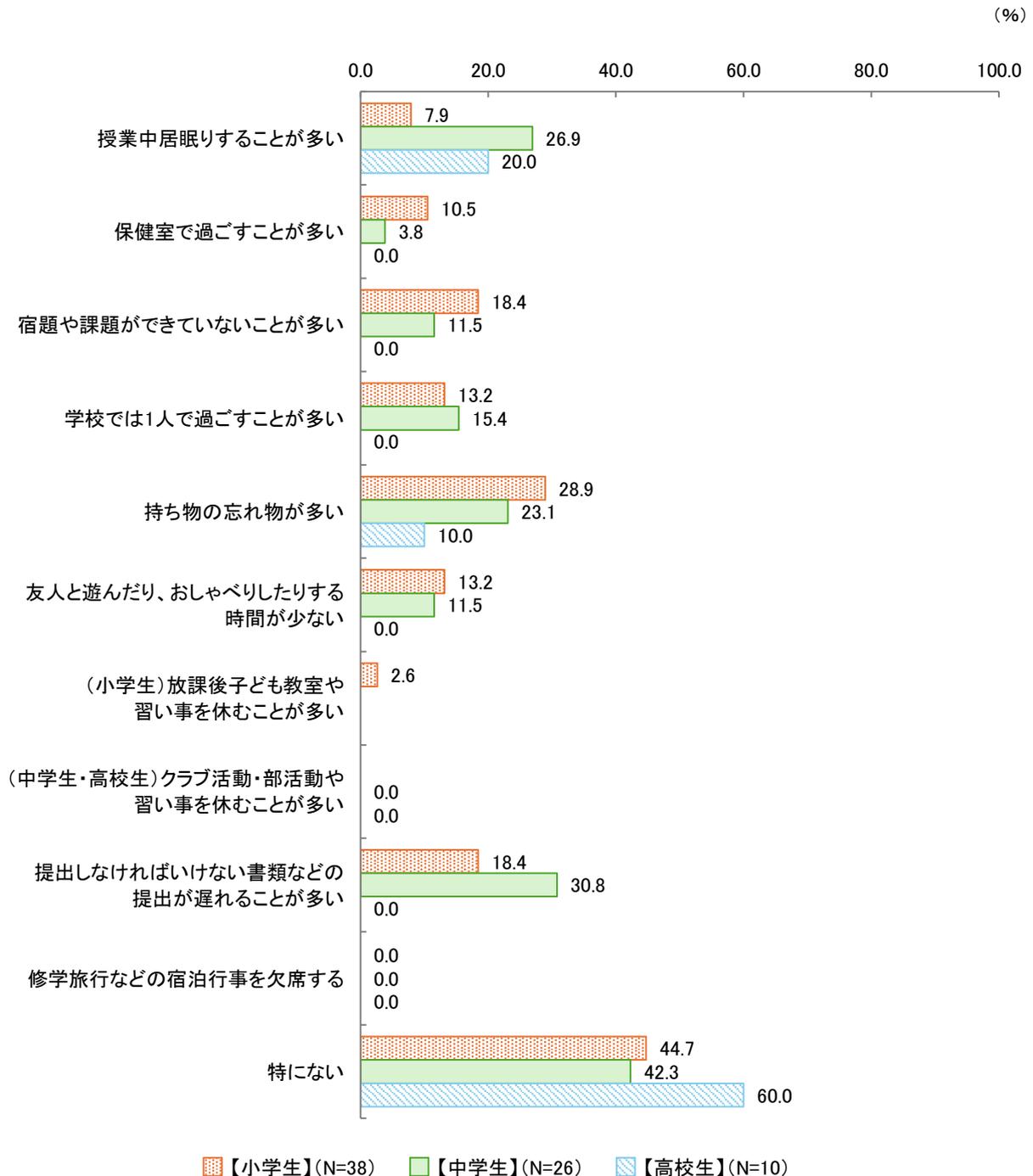


ふだんの学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。(小学生:問 12、中学生:問 12、高校生:問8)

ふだんの学校生活の様子についてみると、小学生では「特にない」が 44.7%と最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が 28.9%、「宿題や課題ができていないことが多い」「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」がともに 18.4%となっています。

中学生では「特にない」が 42.3%と最も高く、次いで「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が 30.8%、「授業中居眠りすることが多い」が 26.9%となっています。

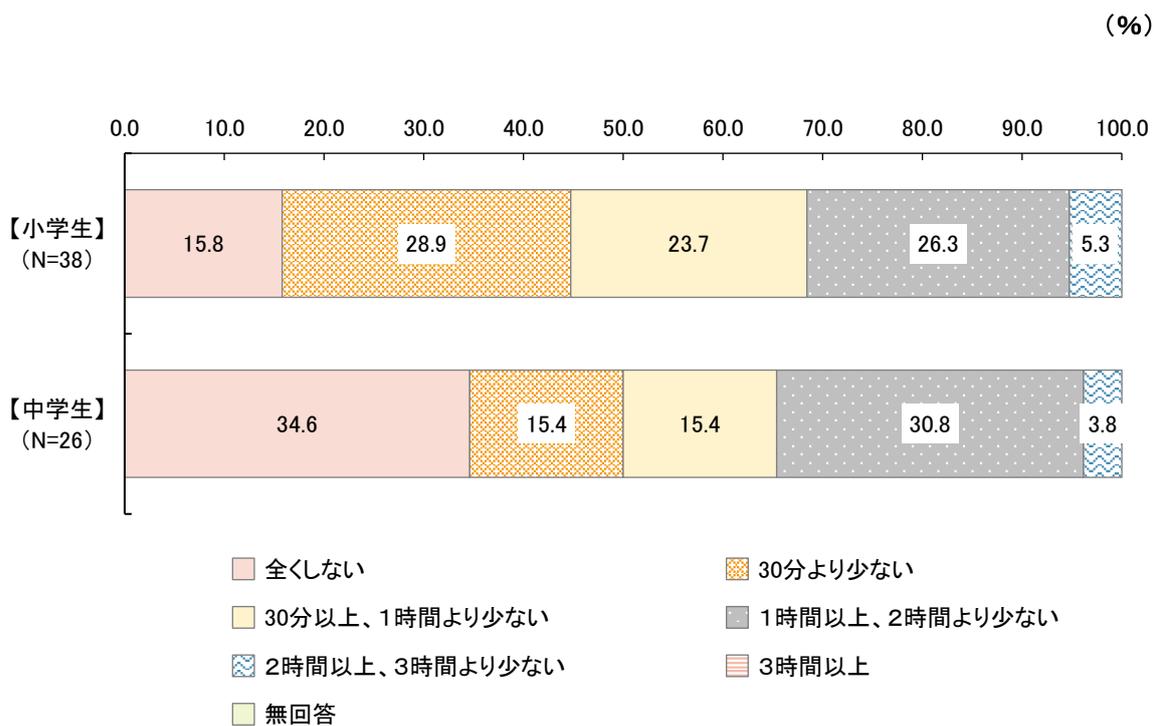
高校生では「特にない」が 60.0%と最も高く、次いで「授業中居眠りすることが多い」が 20.0%、「持ち物の忘れ物が多い」が 10.0%となっています。



あなたは、放課後1日どれくらいの時間、勉強をしますか。(家や学習塾)(小学生:問 13、中学生:問 13)

学校の授業以外の勉強時間についてみると、小学生では「30分より少ない」が28.9%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が26.3%、「30分以上、1時間より少ない」が23.7%となっています。

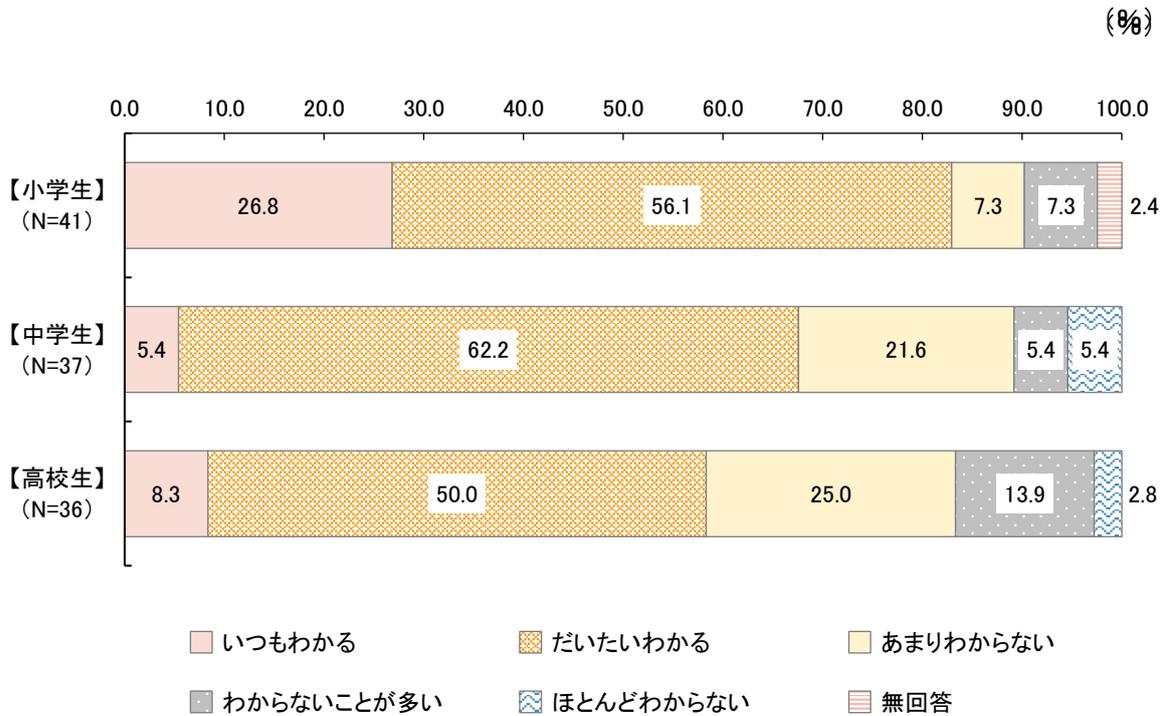
中学生では「全くしない」が34.6%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が30.8%、「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」がともに15.4%となっています。



学校の勉強についてわかりますか。(小学生:問 14、中学生:問 14)

学校の勉強の理解度についてみると、小学生では「だいたいわかる」が 50.0%と最も高く、次いで「よくわかる」が 42.1%、「ほとんどわからない」が 5.3%となっています。

中学生では「だいたいわかる」が 65.4%と最も高く、次いで「よくわかる」が 26.9%、「あまりわからない」が 7.7%となっています。

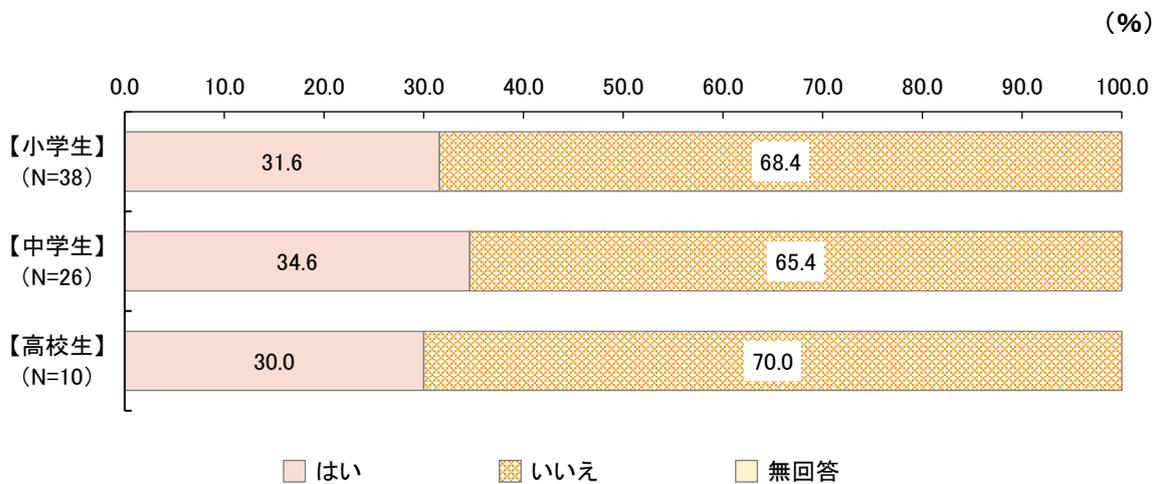


あなたには、悩んでいることはありますか。(小学生:問 15、中学生:問 15、高校生:問9)

悩みの有無についてみると、小学生では「はい」が 31.6%、「いいえ」が 68.4%となっています。

中学生では「はい」が 34.6%、「いいえ」が 65.4%となっています。

高校生では「はい」が 30.0%、「いいえ」が 70.0%となっています。



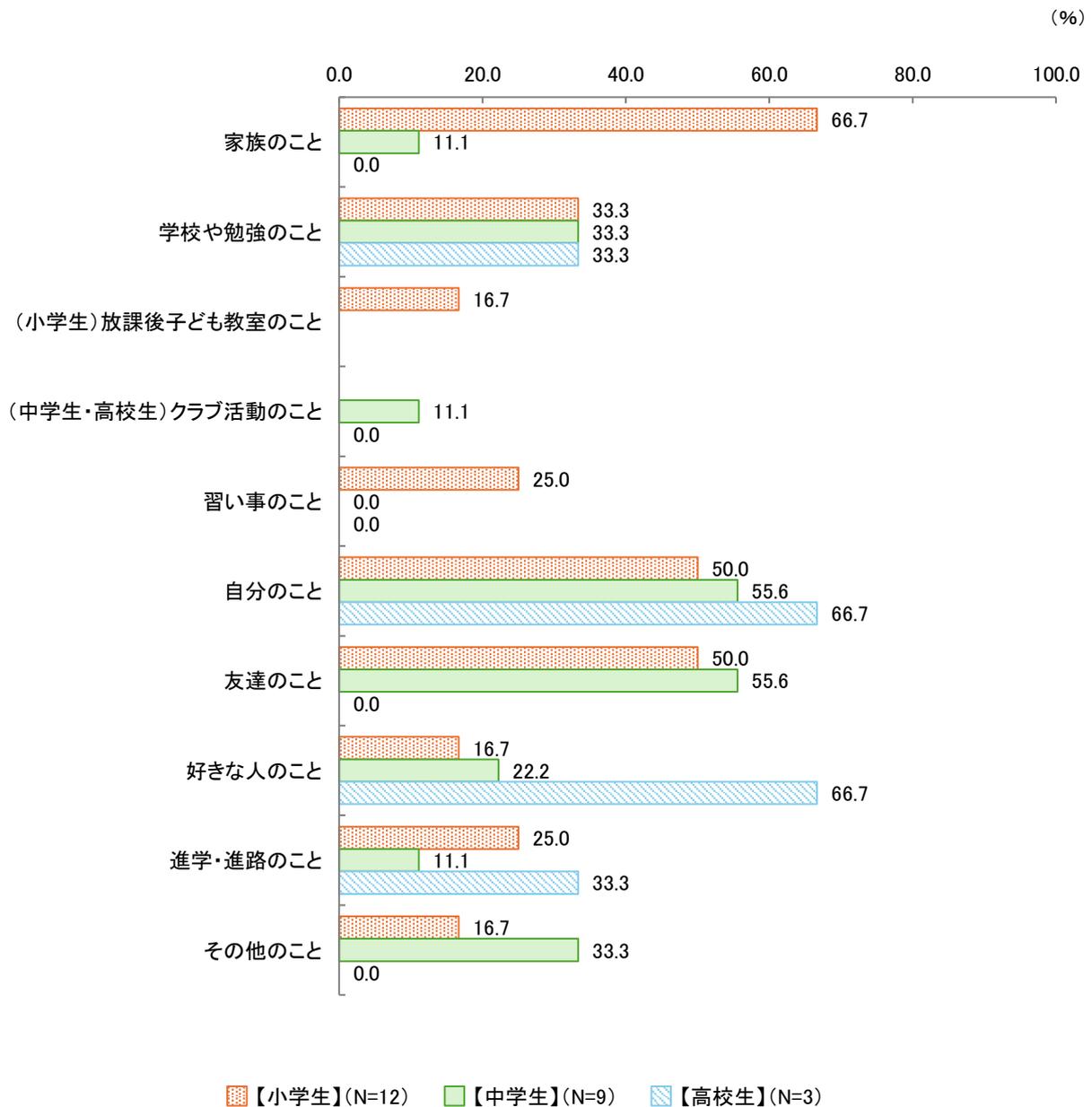
※問 15 で「1. はい」と答えた方にうかがいます

悩んでいることは何ですか。(小学生:問 15-1、中学生:問 15-1、高校生:問9-1)

悩んでいることについてみると、小学生では「家族のこと」が 66.7%と最も高く、次いで「自分のこと」「友達のこと」がともに 50.0%、「学校や勉強のこと」が 33.3%となっています。

中学生では「自分のこと」「友達のこと」がともに 55.6%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」「その他のこと」がともに 33.3%、「好きな人のこと」が 22.2%となっています。

高校生では「自分のこと」「好きな人のこと」がともに 66.7%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」「進学・進路のこと」がともに 33.3%となっています。



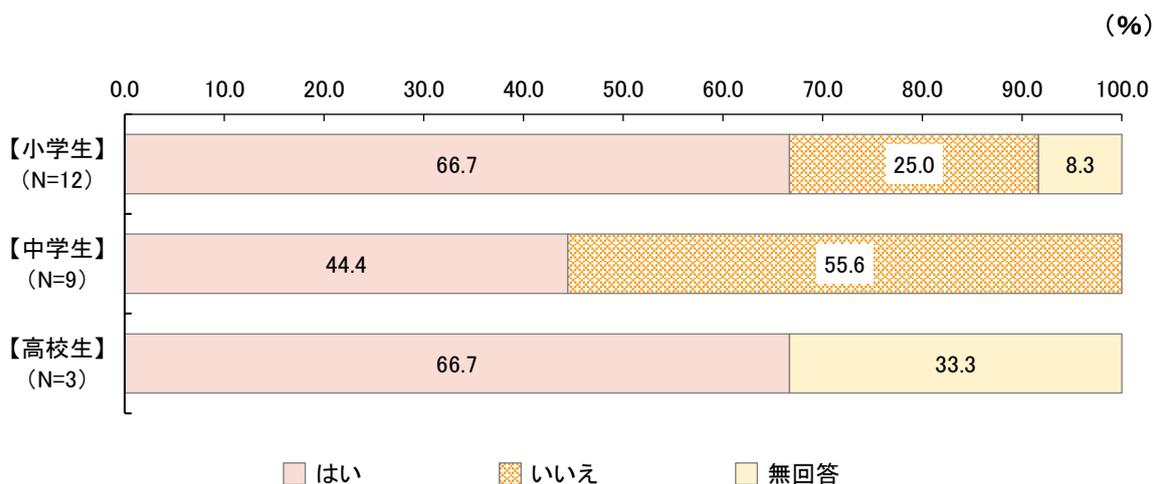
※問 15 で「1. はい」と答えた方にうかがいます

あなたには、悩んでいることを相談できる人がいますか。(小学生:問 15-2、中学生:問 15-2、高校生:問9-2)

悩みの相談相手の有無についてみると、小学生では「はい」が 66.7%、「いいえ」が 25.0%となっています。

中学生では「はい」が 44.4%、「いいえ」が 55.6%となっています。

高校生では「はい」が 66.7%となっています。



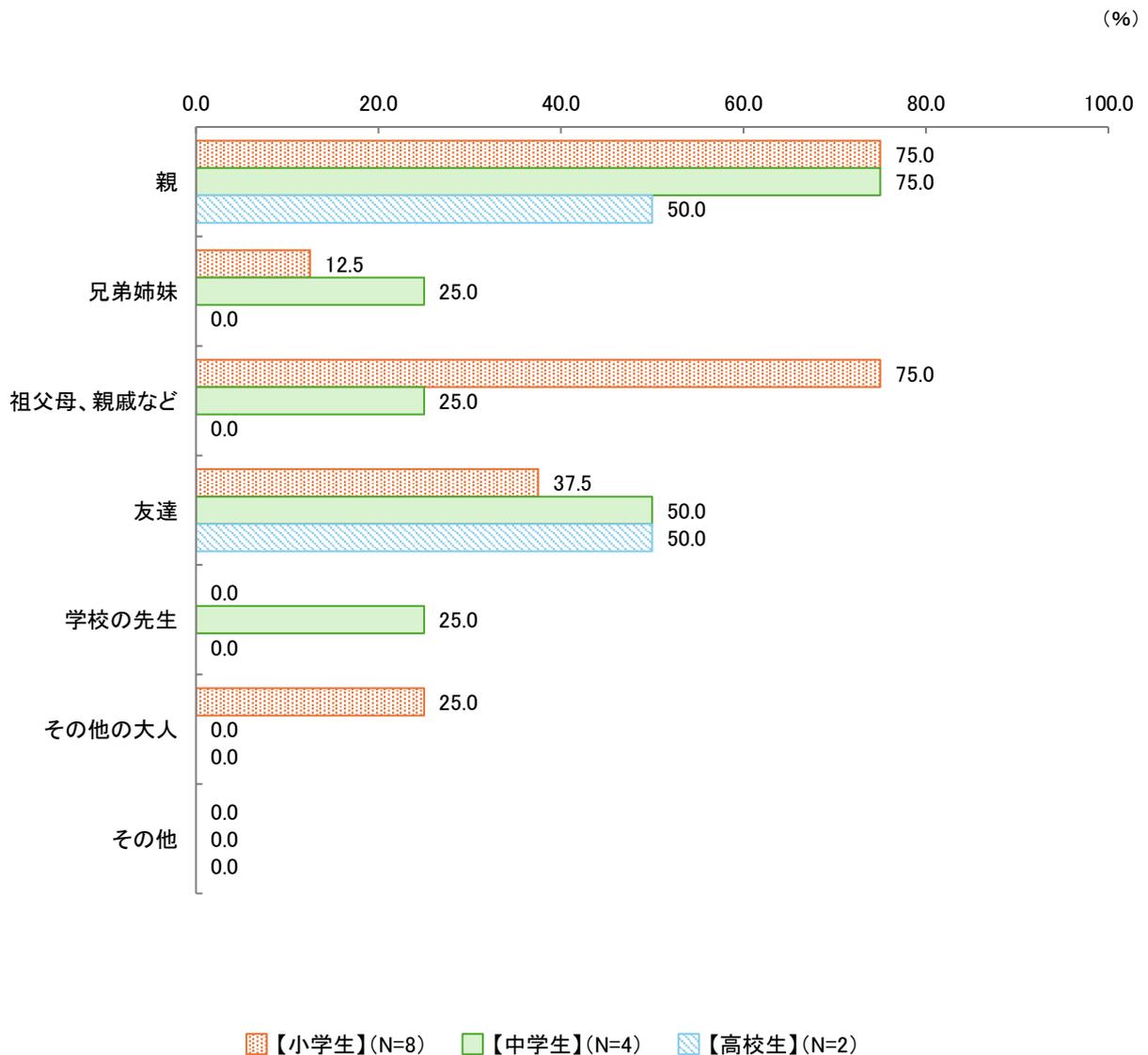
※問 15-2 で「1. はい」と答えた方にうかがいます

あなたは、悩んでいることなどがあった場合、だれに相談していますか。(小学生:問 15-3、中学生:問 15-3、高校生:問9-3)

悩みの相談相手についてみると、小学生では「親」「祖父母、親戚など」がともに 75.0%と最も高く、次いで「友達」が 37.5%、「その他の大人」が 25.0%となっています。

中学生では「親」が 75.0%と最も高く、次いで「友達」が 50.0%、「兄弟姉妹」「祖父母、親戚など」「学校の先生」がいずれも 25.0%となっています。

高校生では「親」「友達」が 50.0%と最も高くなっています。



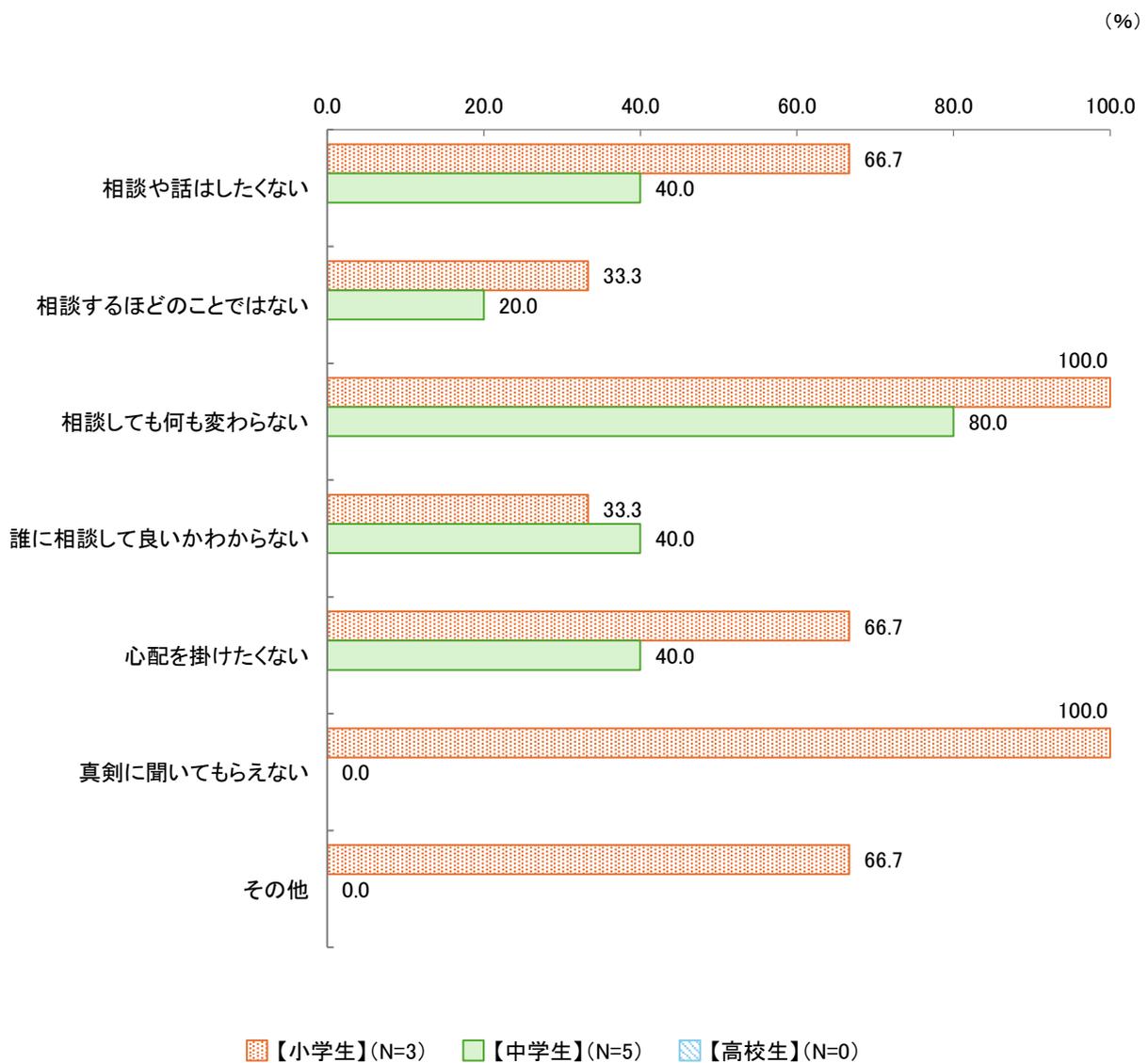
※問 15-2 で「2. いいえ」と答えた方にうかがいます

悩みについて、相談できる人がいないのはどうしてですか。(小学生:問 15-4、中学生:問 15-4、高校生:問9-4)

悩みについて、相談できる人がいない理由についてみると、小学生では「相談しても何も変わらない」「真剣に聞いてもらえない」がともに 100.0%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」「心配を掛けたくない」がともに 66.7%、「相談するほどのことではない」「誰に相談して良いかわからない」がともに 33.3%となっています。

中学生では「相談しても何も変わらない」が 80.0%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」「誰に相談して良いかわからない」「心配を掛けたくない」がいずれも 40.0%、「相談するほどのことではない」が 20.0%となっています。

高校生では該当者はありませんでした。



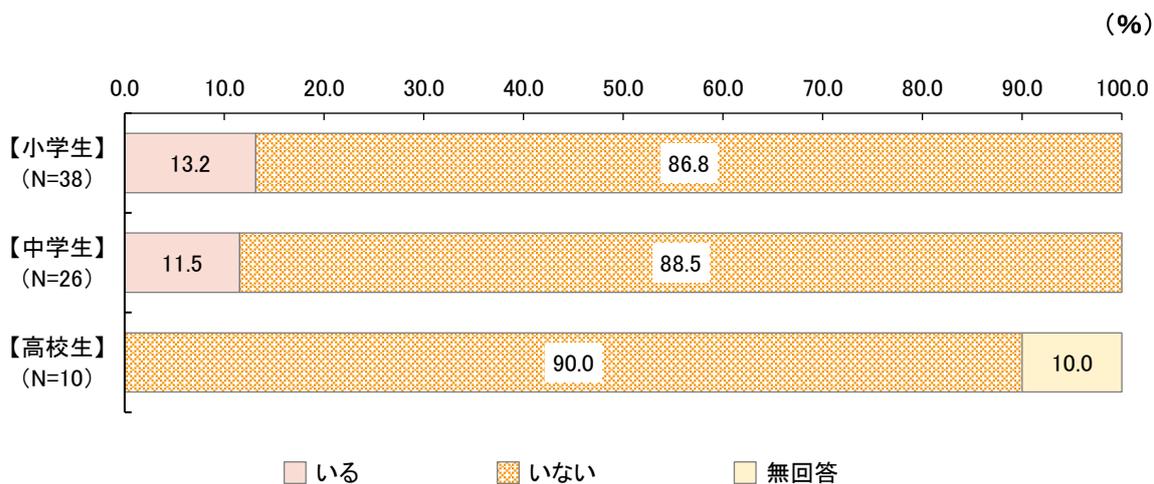
## 家庭や家族のことについて

家族の中にあなたが「お世話」をしている人はいますか。(小学生:問 16、中学生:問 16、高校生:問 10)

お世話をしている家族の有無についてみると、小学生では「いる」が 13.2%、「いない」が 86.8%となっています。

中学生では「いる」が 11.5%、「いない」が 88.5%となっています。

高校生では「いない」が 90.0%となっています。



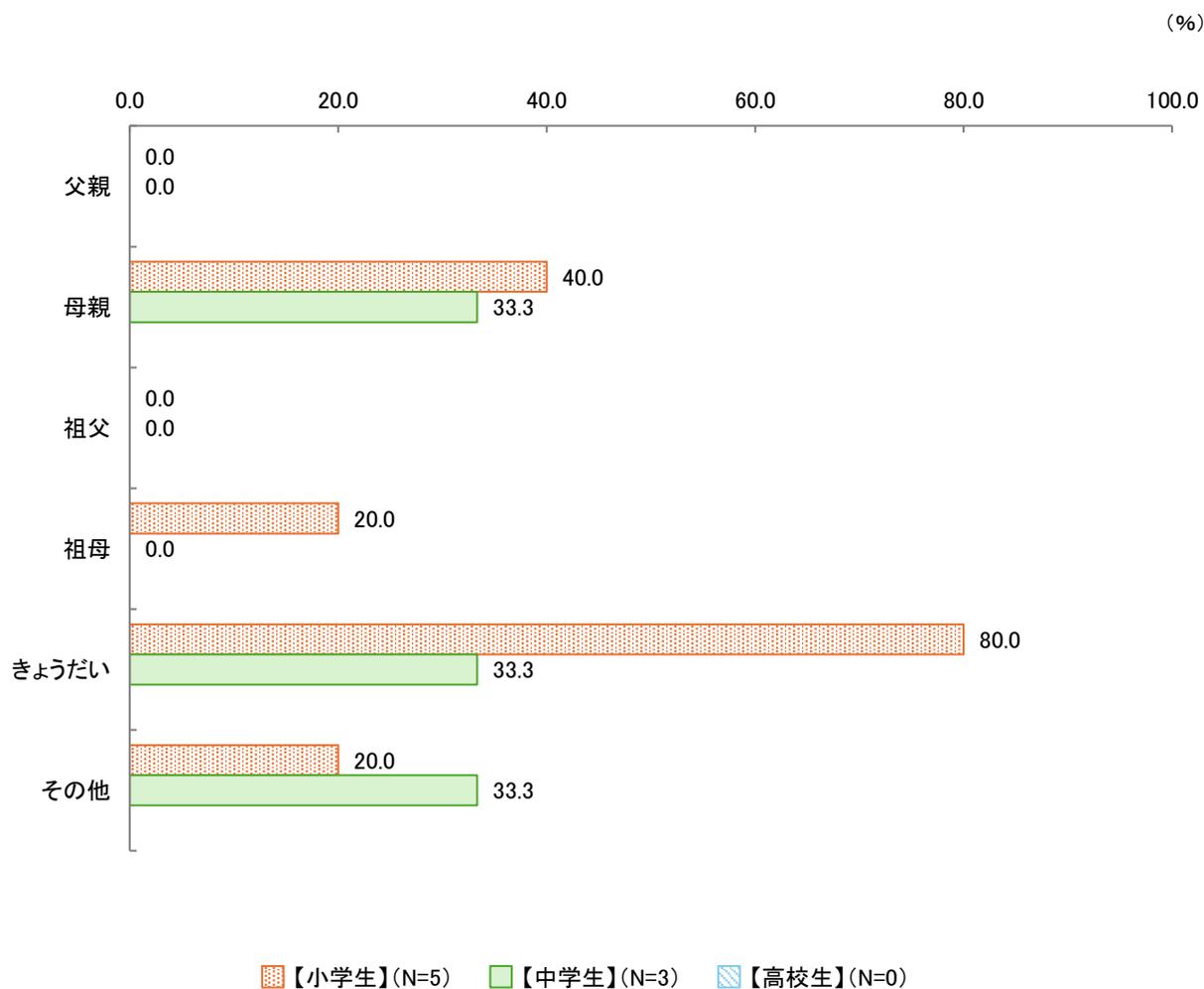
※問 16(小学生・中学生)、問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

お世話の状況について教えてください。お世話を必要としている方は次のどなたですか。(小学生:問 17、中学生:問 17、高校生:問 11)

お世話を必要としている方についてみると、小学生では「きょうだい」が 80.0%と最も高く、次いで「母親」が 40.0%、「祖母」「その他」がともに 20.0%となっています。

中学生では「母親」「きょうだい」「その他」がいずれも 33.3%と最も高くなっています。

高校生では該当者はありませんでした。



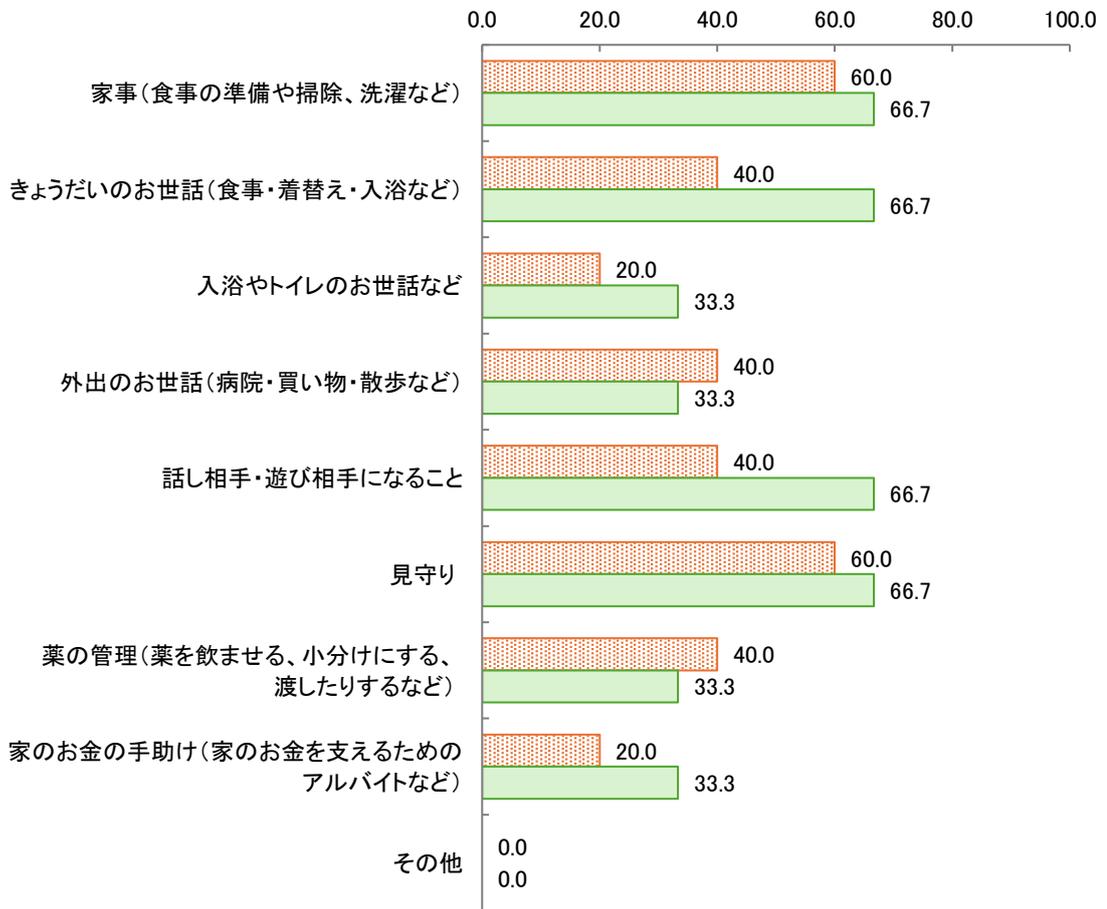
※問 16(小学生・中学生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたがしているお世話の内容を教えてください。(小学生:問 18、中学生:問 18)

お世話の内容についてみると、小学生では「家事(食事の準備や掃除、洗濯など)」「見守り」がともに 60.0%と最も高く、次いで「きょうだいのお世話(食事・着替え・入浴など)」「外出のお世話(病院・買い物・散歩など)」「話し相手・遊び相手になること」「薬の管理(薬を飲ませる、小分けにする、渡したりするなど)」がいずれも 40.0%、「入浴やトイレのお世話など」「家のお金の手助け(家のお金を支えるためのアルバイトなど)」がともに 20.0%となっています。

中学生では「家事(食事の準備や掃除、洗濯など)」「きょうだいのお世話(食事・着替え・入浴など)」「話し相手・遊び相手になること」「見守り」がいずれも 66.7%と最も高く、次いで「入浴やトイレのお世話など」「外出のお世話(病院・買い物・散歩など)」「薬の管理(薬を飲ませる、小分けにする、渡したりするなど)」「家のお金の手助け(家のお金を支えるためのアルバイトなど)」がいずれも 33.3%となっています。

(%)



■【小学生】(N=5) ■【中学生】(N=3)

※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

お世話を必要としている方の状況を教えてください。(高校生:問 12)

該当者はありませんでした。

※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたがしているお世話の内容を教えてください。(高校生:問 13)

該当者はありませんでした。

※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。(高校生:問 14)

該当者はありませんでした。

※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたがお世話を始めたのは何歳の時からですか。(高校生:問 15)

該当者はありませんでした。

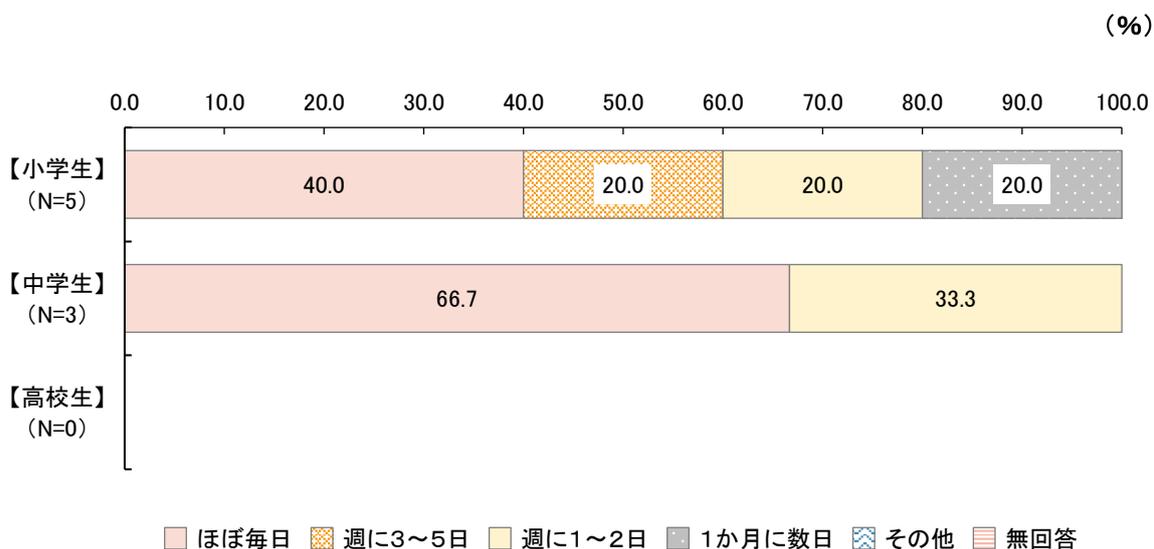
※問 16(小学生・中学生)、問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

お世話をしている日数を教えてください。(小学生:問 19、中学生:問 19、高校生:問 16)

お世話をしている日数についてみると、小学生では「ほぼ毎日」が 40.0%と最も高く、次いで「週に3～5日」「週に1～2日」「1か月に数日」がいずれも 20.0%となっています。

中学生では「ほぼ毎日」が 66.7%と最も高く、次いで「週に1～2日」が 18.9%となっています。

高校生では該当者はありませんでした。



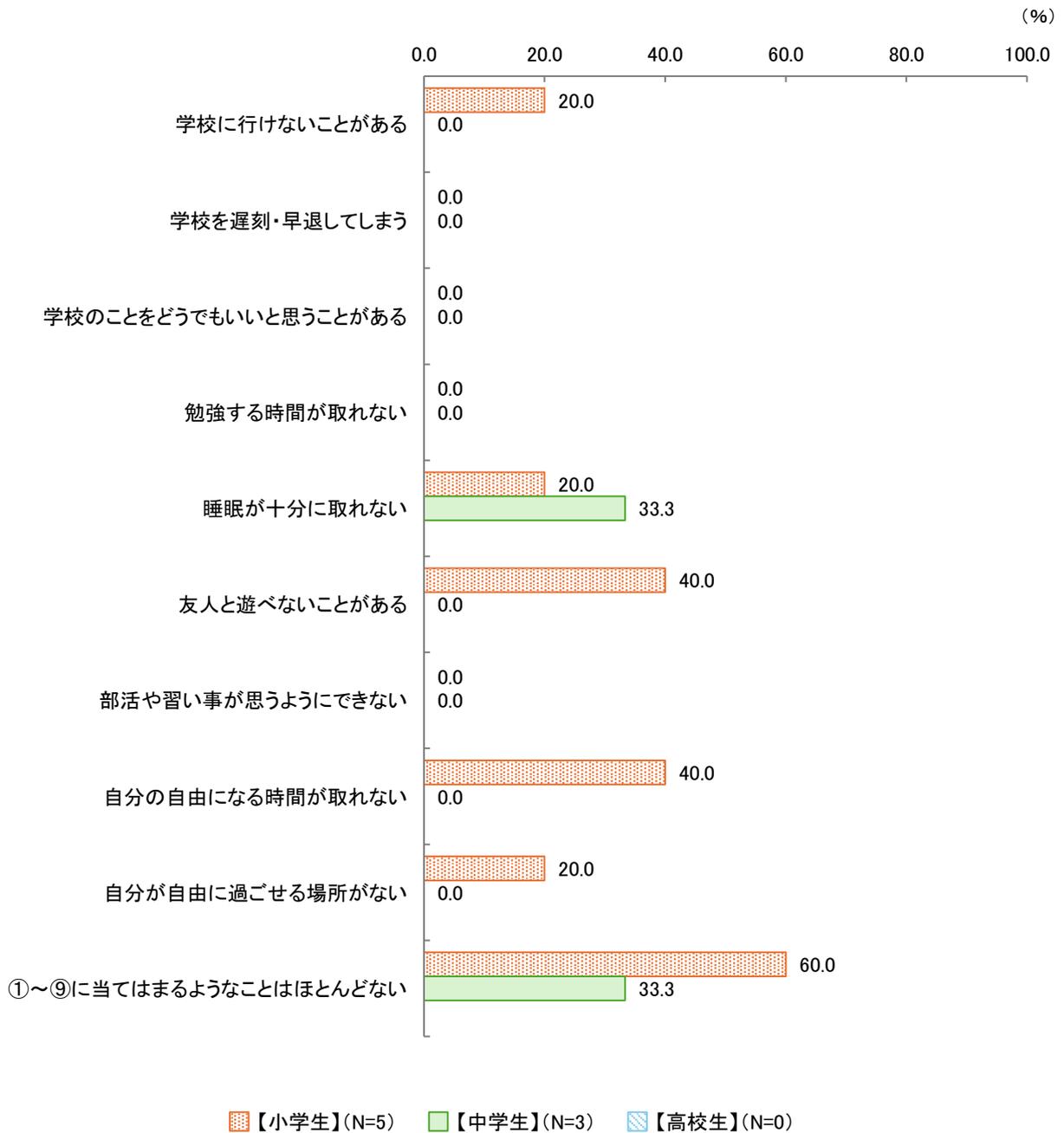
※問 16(小学生・中学生)、問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたは、お世話をしていることで、次のようなことはありますか。(小学生:問 20、中学生:問 20、高校生:問 17)

お世話をするすることで生じることについてみると、小学生では「①～⑨に当てはまるようなことはほとんどない」が 60.0%と最も高く、次いで「友人と遊べないことがある」「自分の自由になる時間が取れない」がともに 40.0%、「学校に行けないことがある」「睡眠が十分に取れない」「自分が自由に過ごせる場所がない」がいずれも 20.0%となっています。

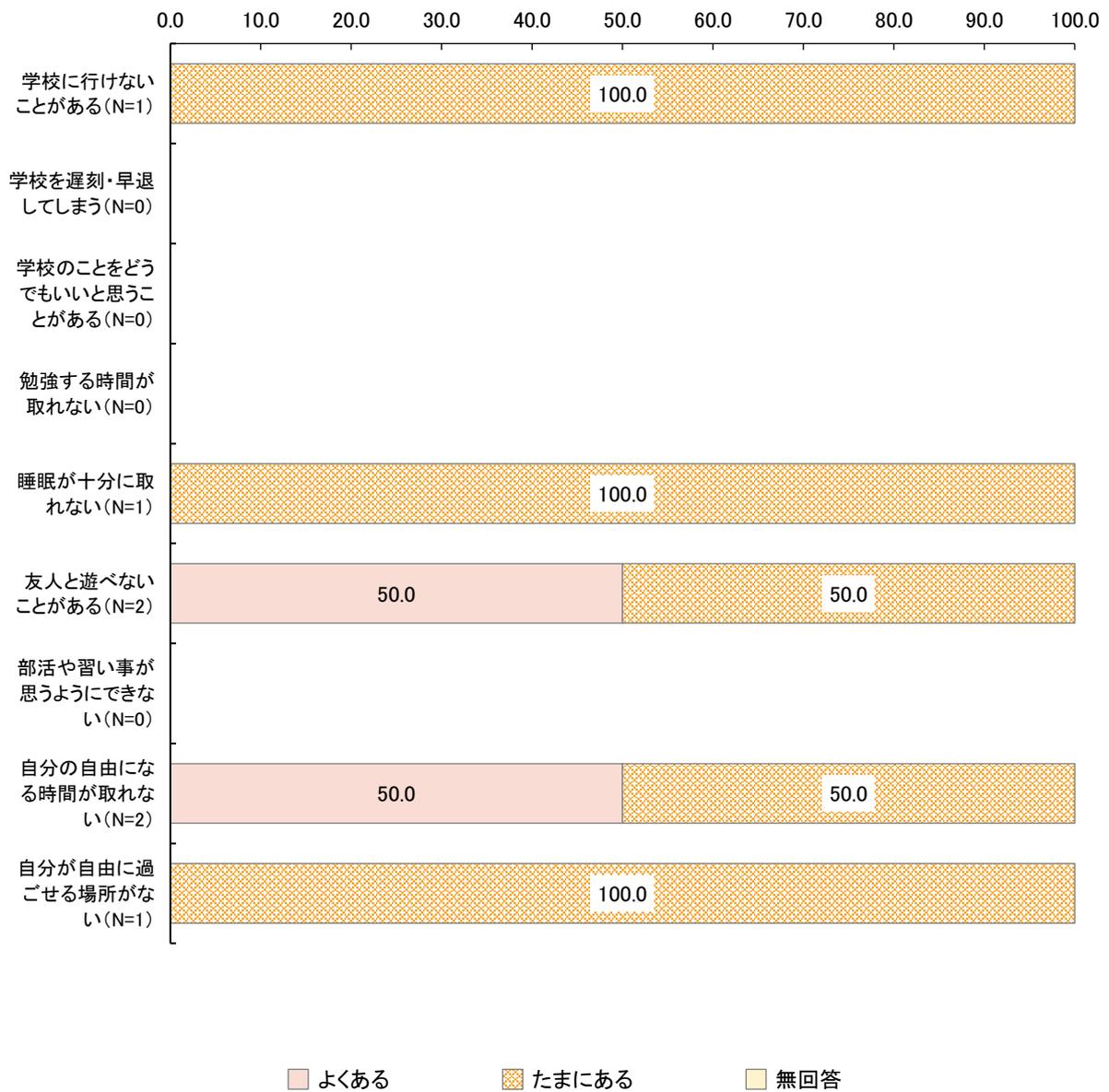
中学生では「睡眠が十分に取れない」「①～⑨に当てはまるようなことはほとんどない」がともに 33.3%と最も高くなっています。

高校生では該当者はありませんでした。



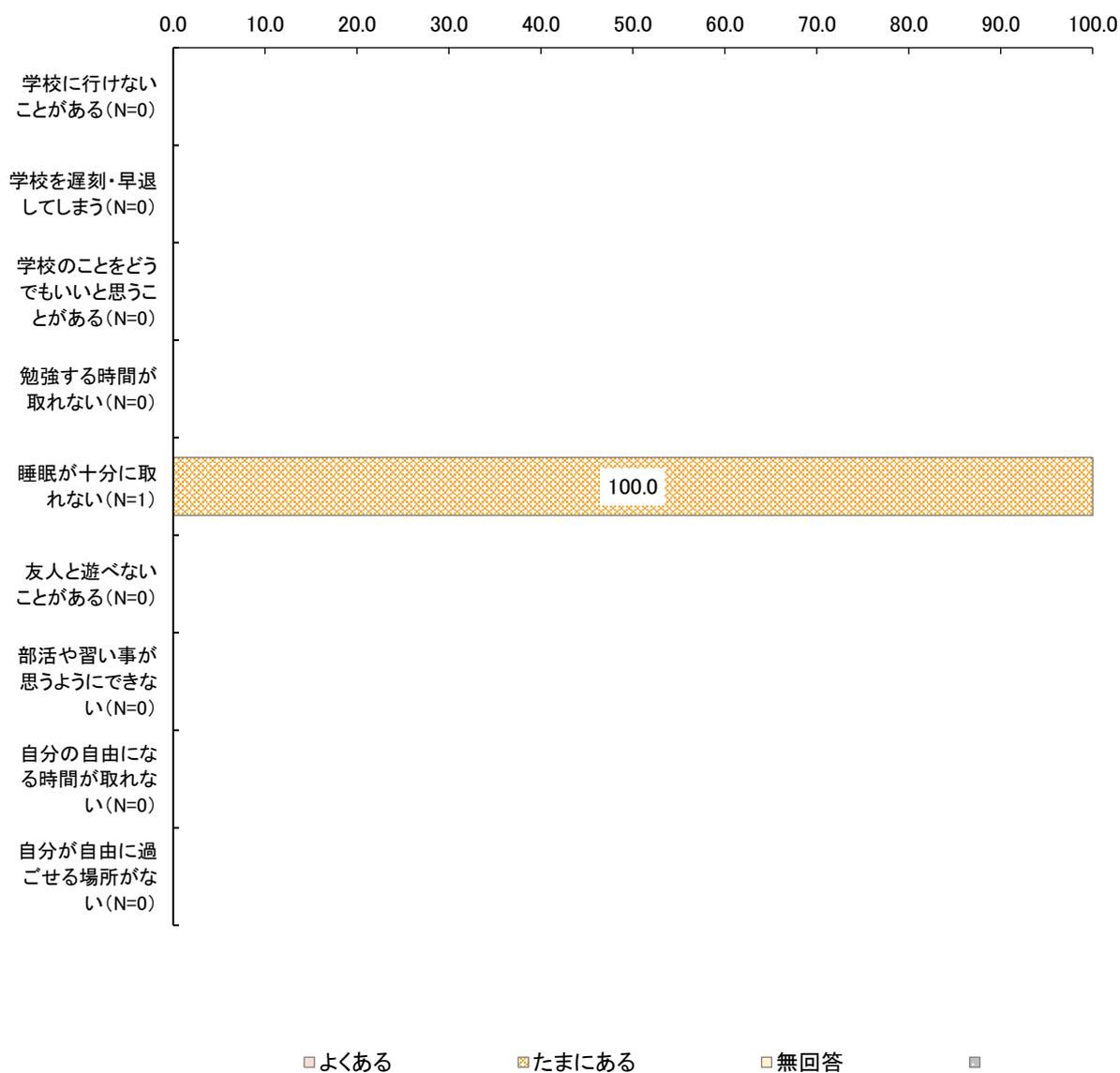
【小学生】

(%)



【中学生】

(%)



※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたがお世話をしていることが影響して、今後の進路について考えていることをお答えください。(高校生:問 18)

該当者はありませんでした。

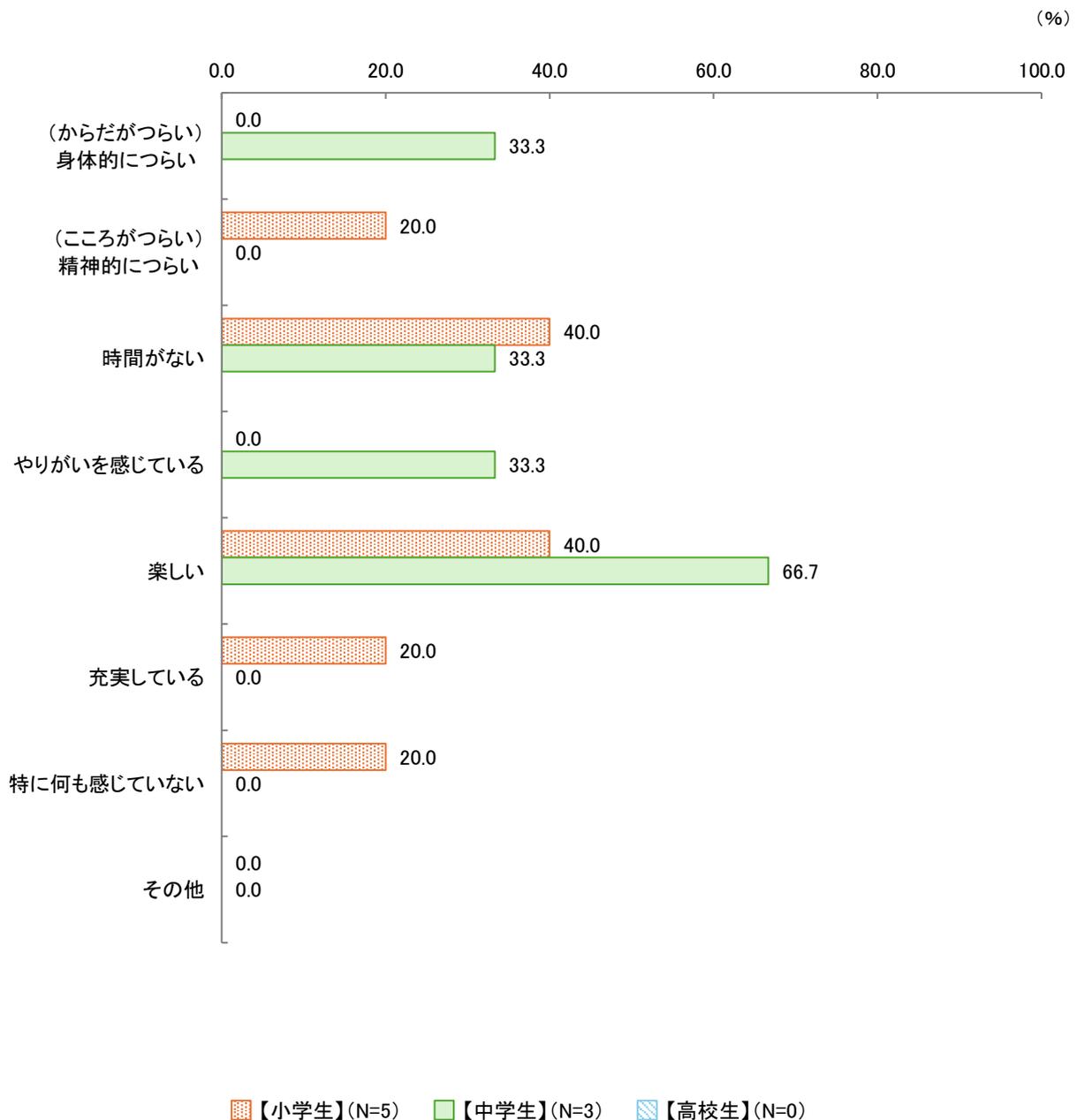
※問 16(小学生・中学生)、問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたは、お世話をする事について、次のようなことを感じていますか。(小学生:問 21、中学生:問 21、高校生:問 19)

お世話をする事で感じる事についてみると、小学生では「時間がない」「楽しい」がともに 40.0%と最も高く、次いで「こころがつらい」「充実している」「特に何も感じていない」がいずれも 20.0%となっています。

中学生では「楽しい」が 66.7%と最も高く、次いで「身体的につらい」「時間がない」「やりがいを感じている」がいずれも 33.3%となっています。

高校生では該当者はありませんでした。



※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたは、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したりしたことはありますか。(高校生:問 20)

該当者はありませんでした。

※問 20(高校生)で「1. ある」と回答した方にうかがいます

それは誰ですか。(高校生:問 21)

該当者はありませんでした。

※問 20(高校生)で「2. ない」と回答した方にうかがいます

相談しない理由を教えてください。(高校生:問 22)

該当者はありませんでした。

※問 10(高校生)で「1. いる」と答えた方にうかがいます

あなたは、お世話をしていることに関して、学校の先生や周りの大人にしてほしいこと(支援してほしいこと)はありますか。(高校生:問 23)

該当者はありませんでした。

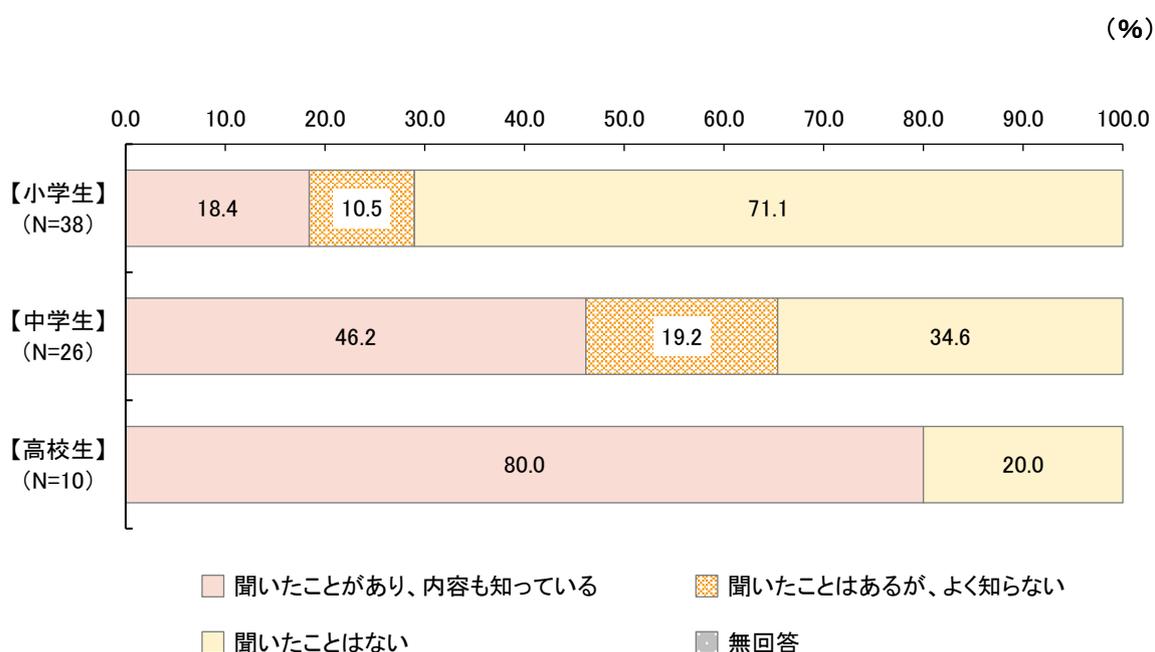
## ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(小学生:問 22、中学生:問 22、高校生:問 24)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度についてみると、小学生では「聞いたことはない」が71.1%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が18.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が10.5%となっています。

中学生では「聞いたことがあり、内容も知っている」が46.2%と最も高く、次いで「聞いたことはない」が34.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が19.2%となっています。

高校生では「聞いたことがあり、内容も知っている」が80.0%と最も高く、次いで「聞いたことはない」が20.0%となっています。



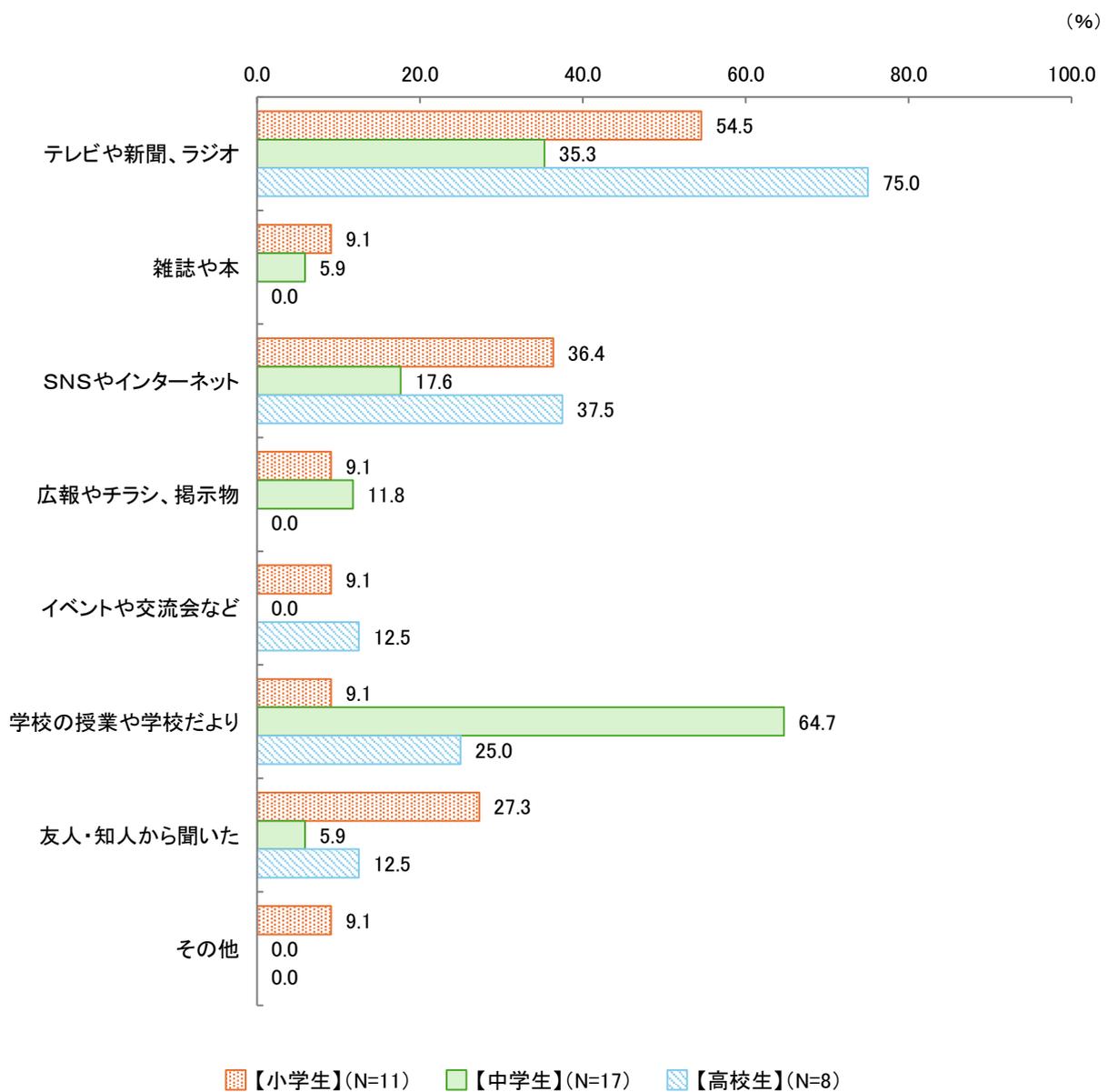
※問 22(小学生・中学生)、問 24(高校生)で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた方にうかがいます

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(小学生:問 23、中学生:問 23、高校生:問 25)

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについてみると、小学生では「テレビや新聞、ラジオ」が54.5%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」が36.4%、「友人・知人から聞いた」が27.3%となっています。

中学生では「学校の授業や学校だより」が64.7%と最も高く、次いで「テレビや新聞、ラジオ」が35.3%、「SNSやインターネット」が17.6%となっています。

高校生では「テレビや新聞、ラジオ」が75.0%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」が37.5%、「学校の授業や学校だより」が25.0%となっています。

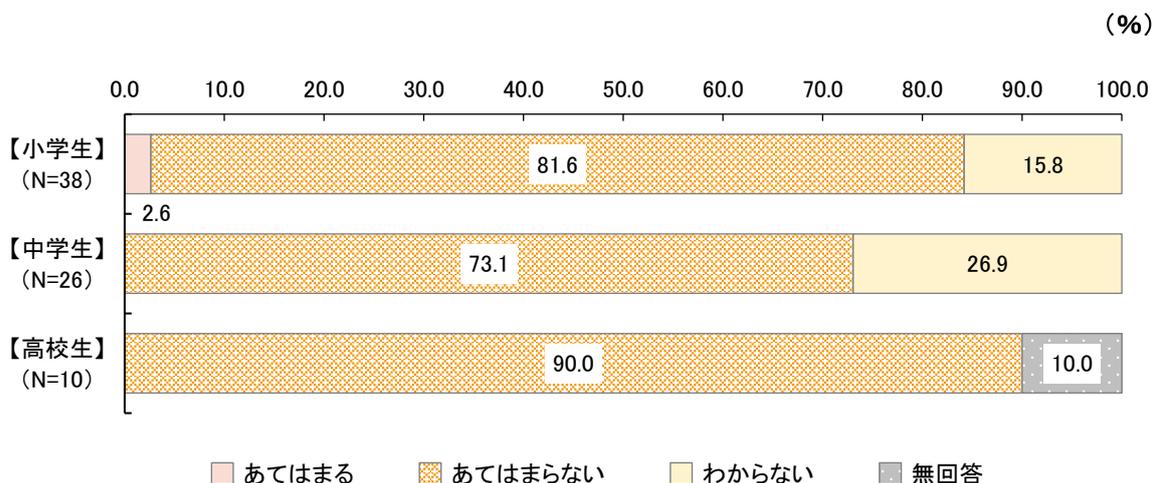


あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(小学生:問 24、中学生:問 24、高校生:問 26)

自分がヤングケアラーにあてはまるかについてみると、小学生では「あてはまらない」が 81.6%と最も高く、次いで「わからない」が 15.8%、「あてはまる」が 2.6%となっています。

中学生では「あてはまらない」が 73.1%と最も高く、次いで「わからない」が 26.9%となっています。

高校生では「あてはまらない」が 90.0%と最も高くなっています。

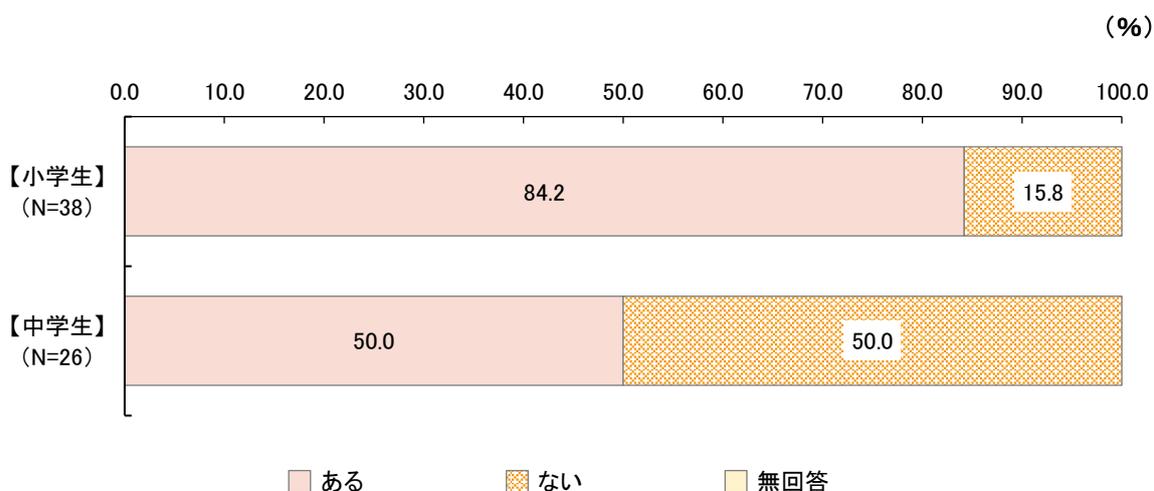


## 将来について

あなたには将来の夢がありますか。(小学生:問 25、中学生:問 25)

将来の夢の有無についてみると、小学生では「ある」が 84.2%、「ない」が 15.8%となっています。

中学生では「ある」「ない」がともに 50.0%となっています。

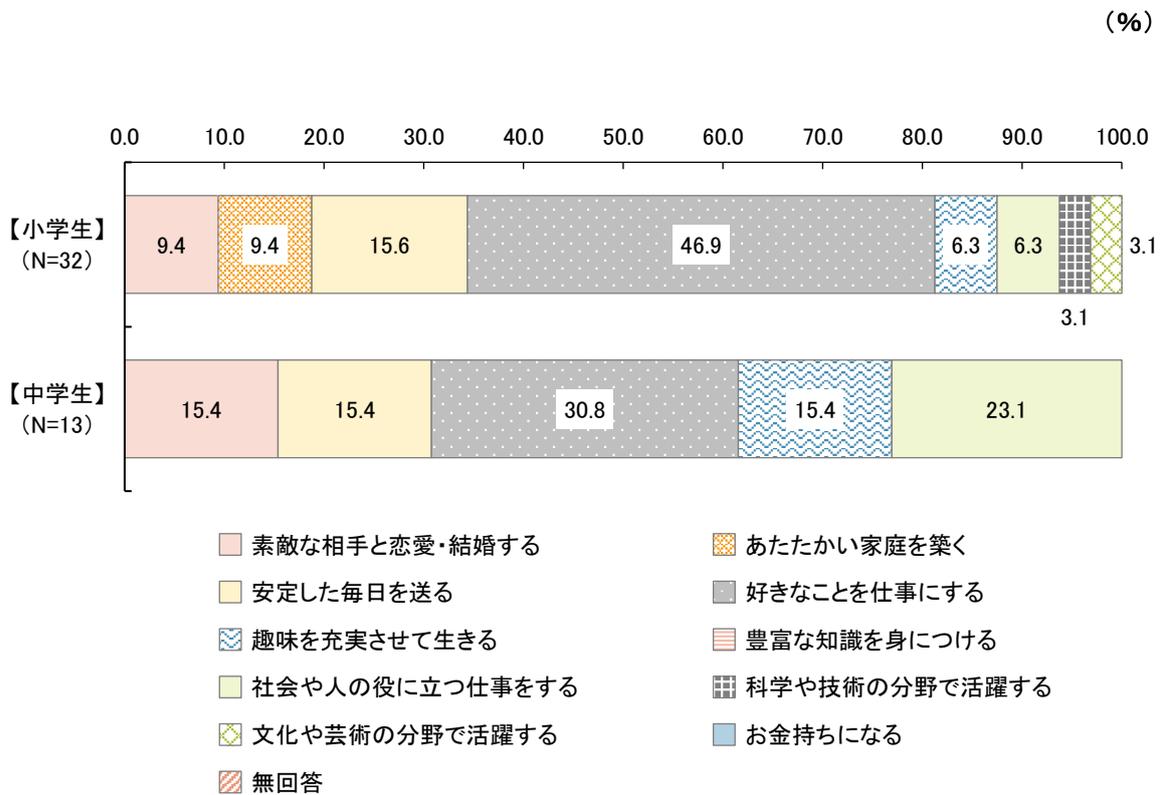


※問 25 で「1. ある」と答えた方にうかがいます。

あなたの将来の夢は何ですか。最も近いものをお答えください。(小学生:問 25-1、中学生:問 25-1)

将来の夢についてみると、小学生では「好きなことを仕事にする」が 46.9%と最も高く、次いで「安定した毎日を送る」が 15.6%、「素敵な相手と恋愛・結婚する」「あたたかい家庭を築く」がともに 9.4%となっています。

中学生では「好きなことを仕事にする」が 30.8%と最も高く、次いで「社会や人の役に立つ仕事をする」が 23.1%、「素敵な相手と恋愛・結婚する」「安定した毎日を送る」「趣味を充実させて生きる」がいずれも 15.4%となっています。

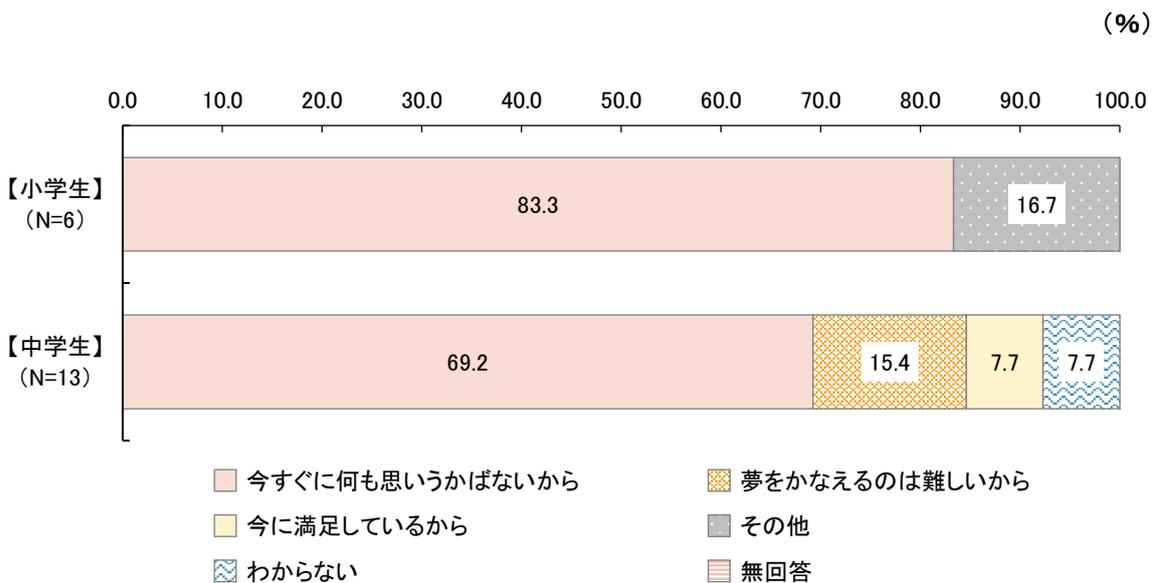


※問 25 で将来の夢が「2. ない」と答えた方にうかがいます。

将来の夢がない理由を教えてください。(小学生:問 25-2、中学生:問 25-2)

将来の夢がない理由についてみると、小学生では「今すぐに何も思いうかばないから」が 83.3%と最も高く、次いで「その他」が 16.7%となっています。

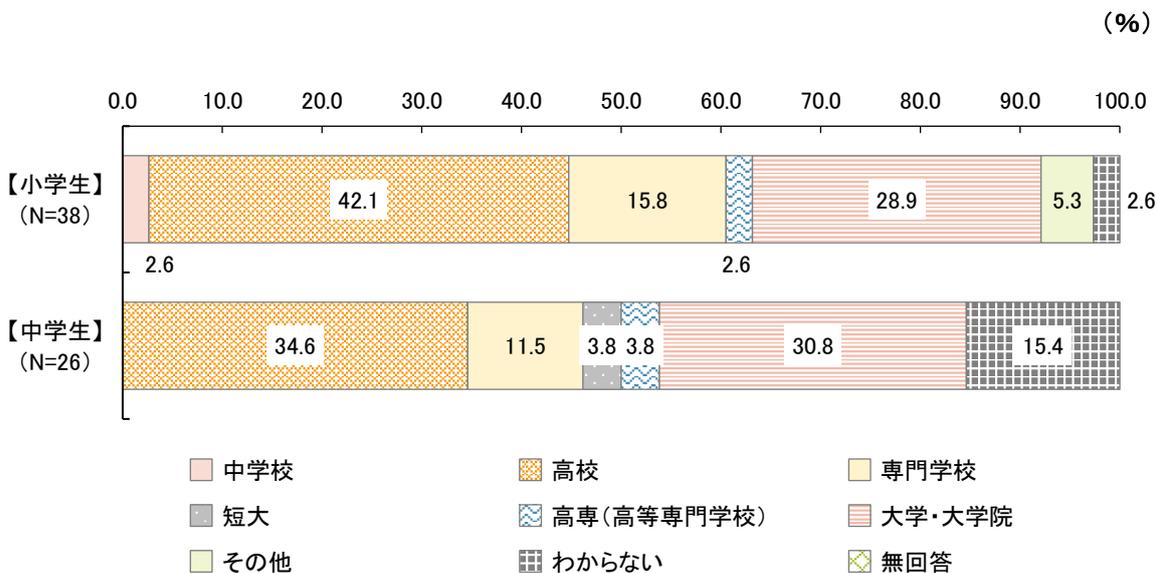
中学生では「今すぐに何も思いうかばないから」が 69.2%と最も高く、次いで「夢をかなえるのは難しいから」が 15.4%、「今に満足しているから」「わからない」がともに 7.7%となっています。



あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(小学生:問 26、中学生:問 26)

希望の進学先についてみると、小学生では「高校」が 42.1%と最も高く、次いで「大学・大学院」が 28.9%、「専門学校」が 15.8%となっています。

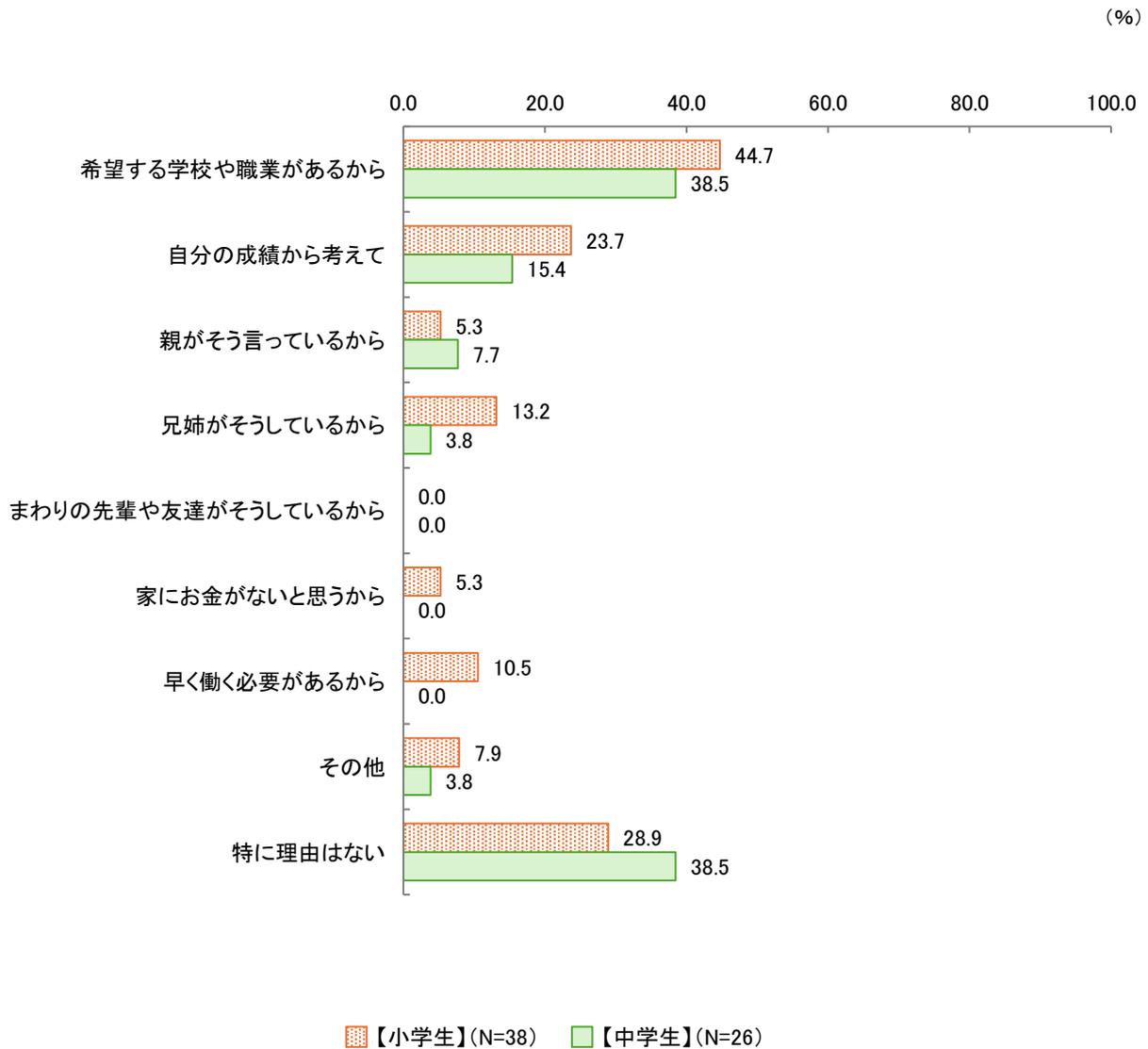
中学生では「高校」が 34.6%と最も高く、次いで「大学・大学院」が 30.8%、「わからない」が 15.4%となっています。



その理由は何ですか。(小学生:問 26-1、中学生:問 26-1)

希望の進学先を選んだ理由についてみると、小学生では「希望する学校や職業があるから」が 44.7%と最も高く、次いで「特に理由はない」が 28.9%、「自分の成績から考えて」が 23.7%となっています。

中学生では「希望する学校や職業があるから」「特に理由はない」がともに 38.5%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が 15.4%、「親がそう言っているから」が 7.7%となっています。

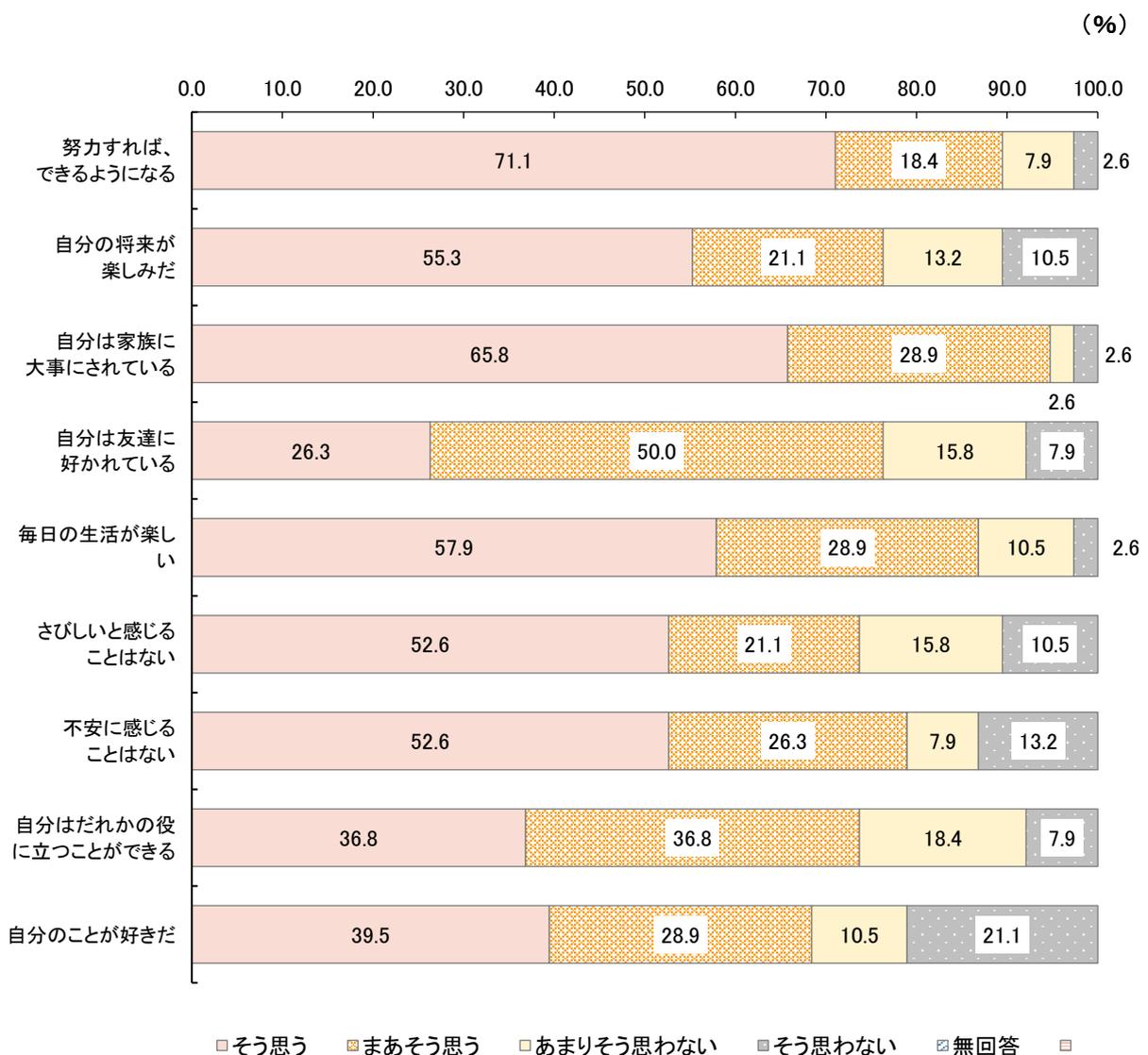


## 日常生活の中で感じていることについて

あなたが日常生活の中で感じていることについて、教えてください。(小学生:問 27、中学生:問 27)

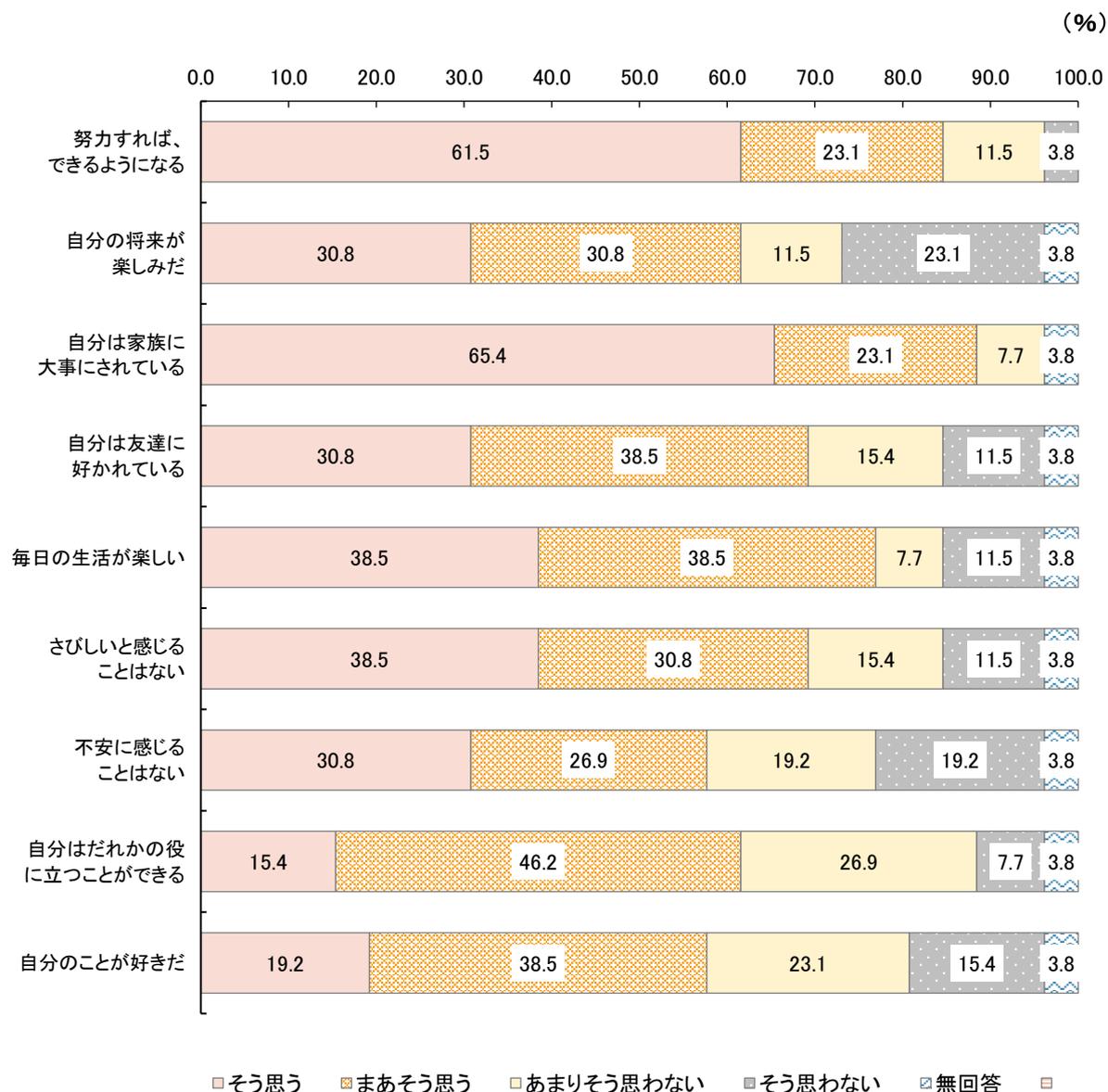
### 【小学生】

日常生活の中で感じていることについてみると、小学生では「思う(そう思う+まあそう思う)」の割合が「自分は家族に大事にされている」で9割台、「努力すれば、できるようになる」「毎日の生活が楽しい」で8割台、「自分の将来が楽しみだ」「自分は友達に好かれている」「さびしいと感じることはない」「不安に感じることはない」「自分はだれかの役に立つことができる」で7割台、「自分のことが好きだ」で6割台を占め、全体的に自己肯定感が高くなっています。



## 【中学生】

中学生では「思う(そう思う+まあそう思う)」の割合が「努力すれば、できるようになる」「自分は家族に大事にされている」で8割台、「毎日の生活が楽しい」で7割台、「自分の将来が楽しみだ」「自分は友達に好かれている」「さびしいと感じることはない」「自分はだれかの役に立つことができる」で6割台、「不安を感じることはない」「自分のことが好きだ」で5割台を占め、全体的に自己肯定感が高くなっています。



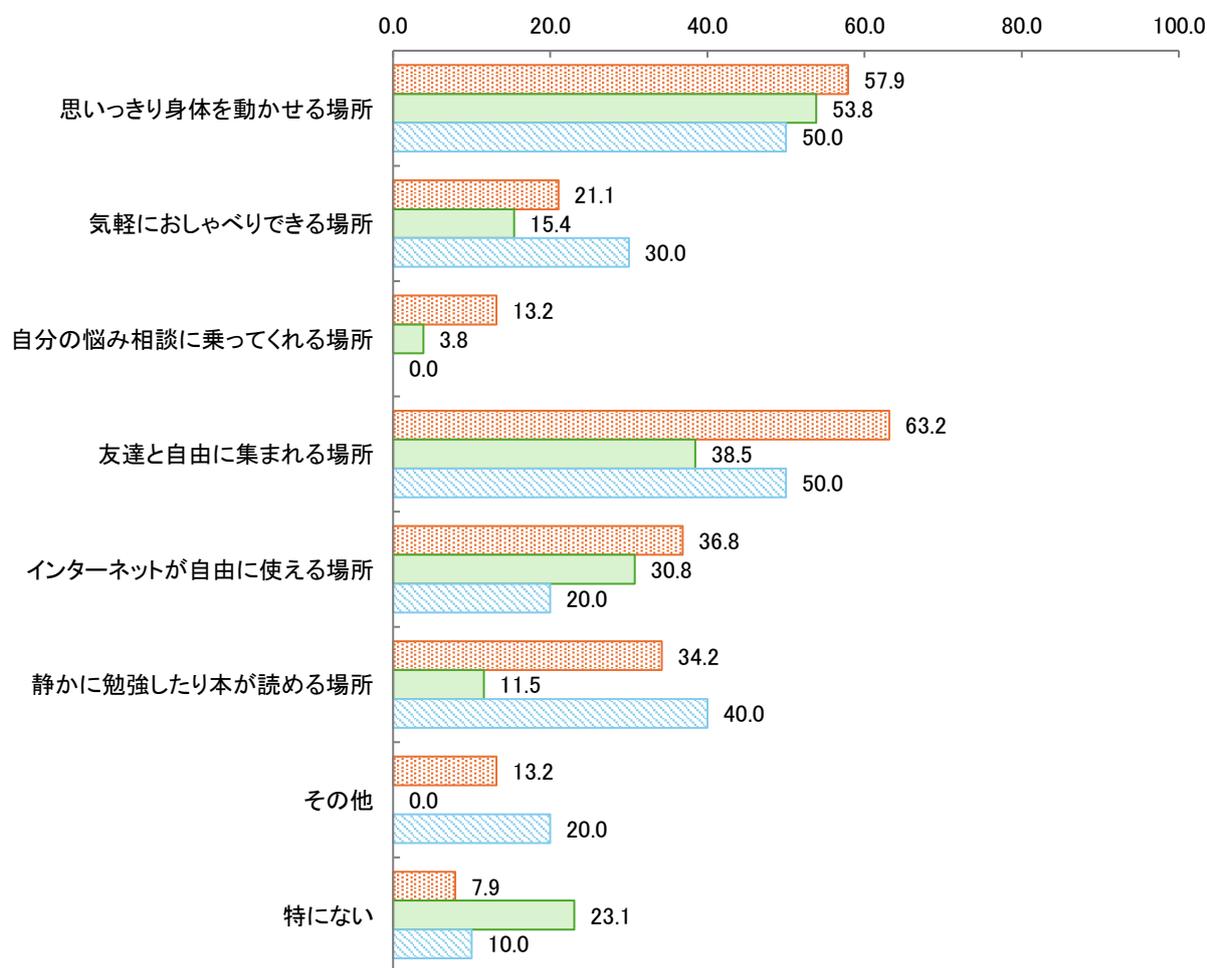
あなたは上砂川町にどのような場所があれば良いと思いますか。(小学生:問 28、中学生:問 28、高校生:問 27)

上砂川町にあれば良い場所についてみると、小学生では「友達と自由に集まれる場所」が 63.2%と最も高く、次いで「思いっきり身体を動かせる場所」が 57.9%、「インターネットが自由に使える場所」が 36.8%となっています。

中学生では「思いっきり身体を動かせる場所」が 53.8%と最も高く、次いで「友達と自由に集まれる場所」が 38.5%、「インターネットが自由に使える場所」が 30.8%となっています。

高校生では「思いっきり身体を動かせる場所」「友達と自由に集まれる場所」がともに 50.0%と最も高く、次いで「静かに勉強したり本が読める場所」が 40.0%、「気軽におしゃべりできる場所」が 30.0%となっています。

(%)



【小学生】(N=38) 【中学生】(N=26) 【高校生】(N=10)

